

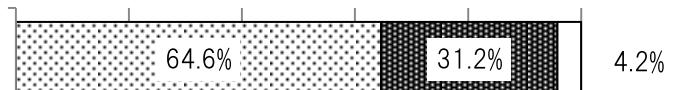
第1部

調査結果

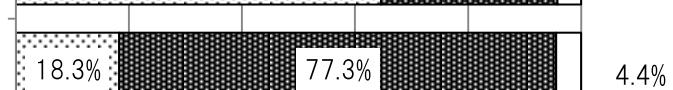
問1 人権に関する宣言や法律には、いろいろありますが、あなたは、次のような宣言や条約・条例をご存じですか。

人権に関する宣言や法律の認知度

A 世界人権宣言



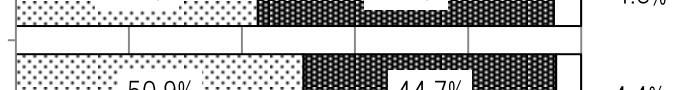
B 水平社宣言



C 子どもの権利条約



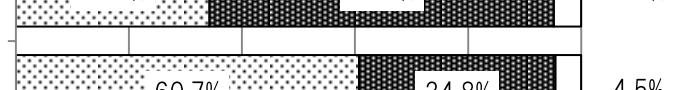
D 人種差別撤廃条約



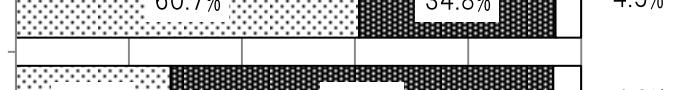
E 同和対策審議会答申



F 男女共同参画社会基本法



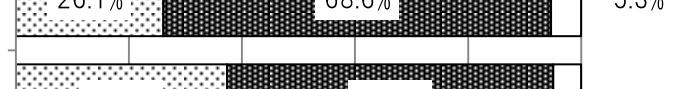
G 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律[障害者差別解消法](2016年4月施行)



H 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律



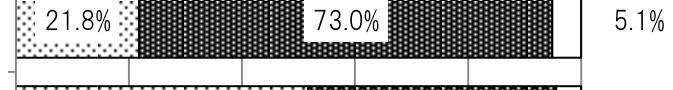
I ハンセン病問題の解決の促進に関する法律



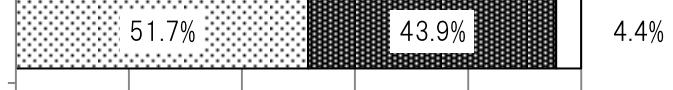
J 鈴鹿市人権擁護に関する条例



K 非核平和都市宣言(鈴鹿市)



L 人権尊重都市宣言(鈴鹿市)



□ 知っている

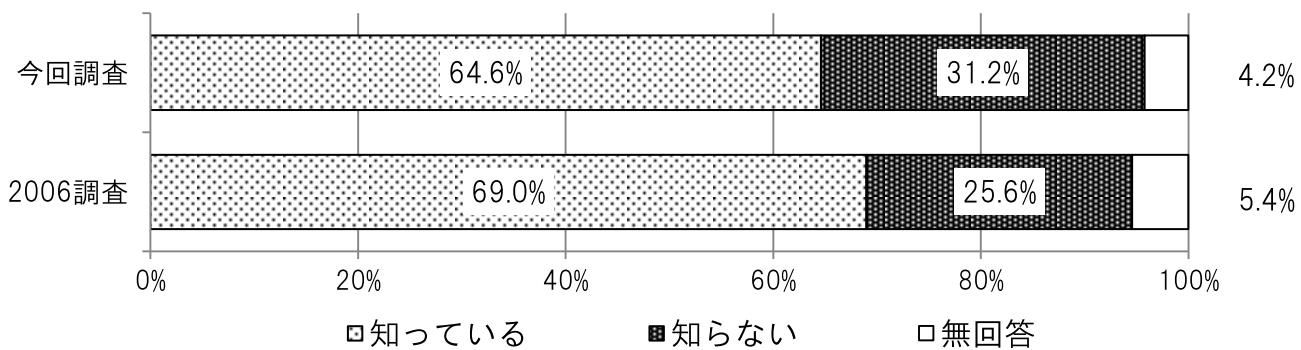
■ 知らない

□ 無回答

人権に関する宣言や法律について、「知っている」で最も割合が高かったのは、「A 世界人権宣言」64.6%、2番目は「F 男女共同参画社会基本法」60.7%、3番目は「K 非核平和都市宣言（鈴鹿市）」51.7%となっている。最も割合が低かったのは、「B 水平社宣言」18.3%となっている。

「J 鈴鹿市人権擁護に関する条例」は21.8%と、2番目に低い割合となっており、この条例の市民への周知は十分と言えない。

A 世界人権宣言



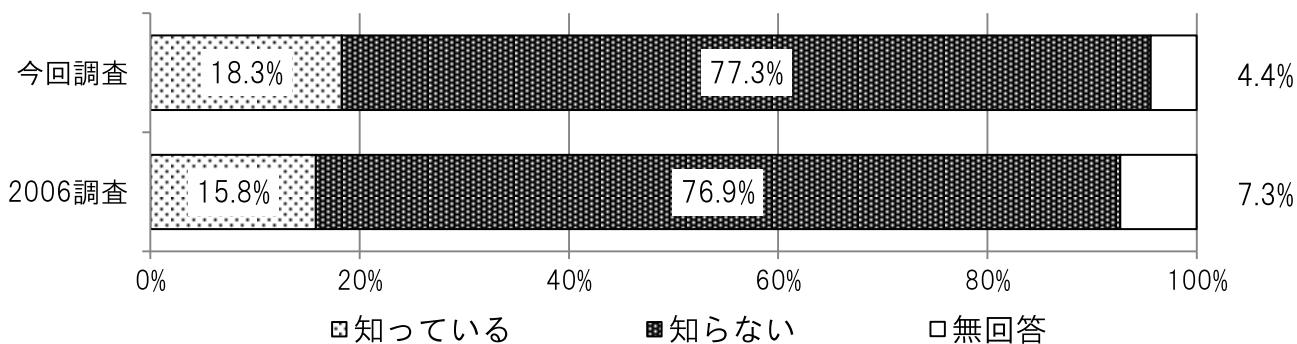
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	375	169	16	560
		%	67.0%	30.2%	2.9%	100.0%
性別	女性	数	452	226	36	714
		%	63.3%	31.7%	5.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	7	7	1	15
		%	46.7%	46.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	77	26	1	104
		%	74.0%	25.0%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	114	56	2	172
		%	66.3%	32.6%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	143	71	4	218
		%	65.6%	32.6%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	131	68	4	203
		%	64.5%	33.5%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	198	86	9	293
		%	67.6%	29.4%	3.1%	100.0%
	70 歳以上	数	172	91	34	297
		%	57.9%	30.6%	11.4%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が 4.4 ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」で 20 歳代の割合が、唯一 7 割を超えており、30~60 歳代は 6 割台となっている。

B 水平社宣言



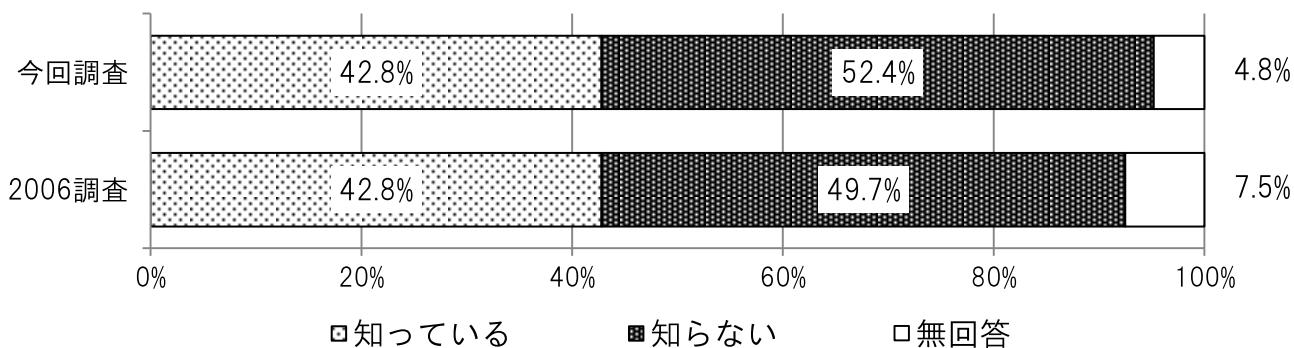
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	119	424	17	560
		%	21.3%	75.7%	3.0%	100.0%
性別	女性	数	114	562	38	714
		%	16.0%	78.7%	5.3%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	11	1	15
		%	20.0%	73.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	27	77	0	104
		%	26.0%	74.0%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	30	140	2	172
		%	17.4%	81.4%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	39	175	4	218
		%	17.9%	80.3%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	31	169	3	203
		%	15.3%	83.3%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	62	221	10	293
		%	21.2%	75.4%	3.4%	100.0%
	70 歳以上	数	48	212	37	297
		%	16.2%	71.4%	12.5%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が 2.5 ポイント高くなっている。

性別では、「知っている」で女性より男性の方が 5.3 ポイント高くなっている。

年齢では、「知っている」で 20 歳代と 60 歳代が 2 割を超えており、「知らない」では 30~50 歳代が 8 割を越えている。

C 子どもの権利条約



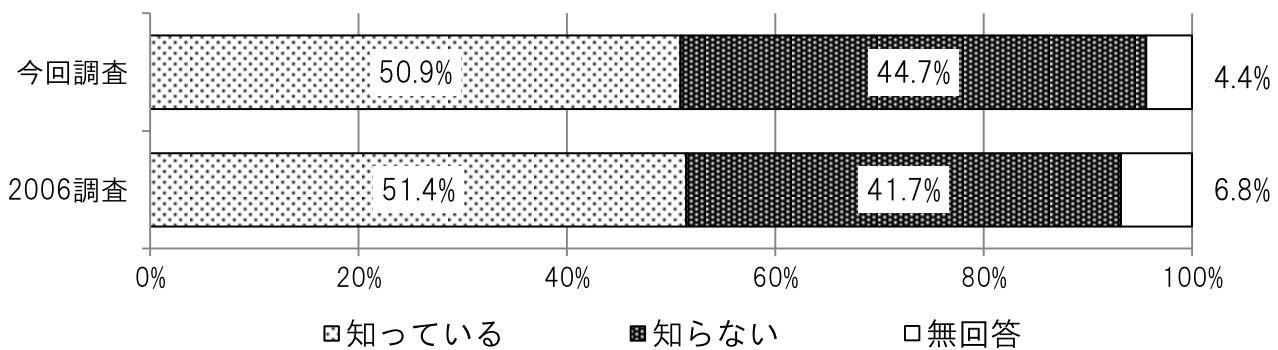
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	202	337	21	560
		%	36.1%	60.2%	3.8%	100.0%
性別	女性	数	344	330	40	714
		%	48.2%	46.2%	5.6%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	7	7	1	15
		%	46.7%	46.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	61	42	1	104
		%	58.7%	40.4%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	81	89	2	172
		%	47.1%	51.7%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	84	130	4	218
		%	38.5%	59.6%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	89	111	3	203
		%	43.8%	54.7%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	129	152	12	293
		%	44.0%	51.9%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	107	150	40	297
		%	36.0%	50.5%	13.5%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」の差はなく、同じ割合となっている。

性別では、「知っている」で男性より女性のほうが 12.1 ポイント高くなっている。また、「知らない」で女性より男性のほうが 14.0 ポイント高くなっている。

年齢では、「知っている」で 20 歳代が唯一 58.7% と、6 割近くになっている。「知っている」の割合が一番低いのは 70 歳以上で 36.0%、20 歳代との差は 22.7 ポイントと大きな差が見られた。

D 人種差別撤廃条約



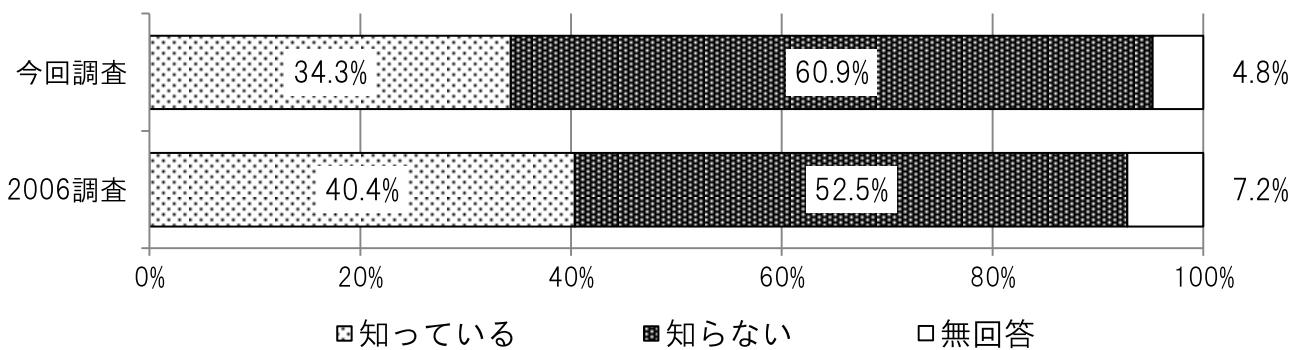
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	293	249	18	560
		%	52.3%	44.5%	3.2%	100.0%
性別	女性	数	355	322	37	714
		%	49.7%	45.1%	5.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	7	6	2	15
		%	46.7%	40.0%	13.3%	100.0%
年齢	20 歳代	数	63	41	0	104
		%	60.6%	39.4%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	94	76	2	172
		%	54.7%	44.2%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	98	116	4	218
		%	45.0%	53.2%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	90	111	2	203
		%	44.3%	54.7%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	160	121	12	293
		%	54.6%	41.3%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	152	108	37	297
		%	51.2%	36.4%	12.5%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が0.5 ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」で最も割合が高かったのは、20 歳代で 60.6% と 6 割となっている。最も低かったのは 50 歳代の 44.3% で、20 歳代との差は、16.3 ポイントとなっている。

E 同和対策審議会答申



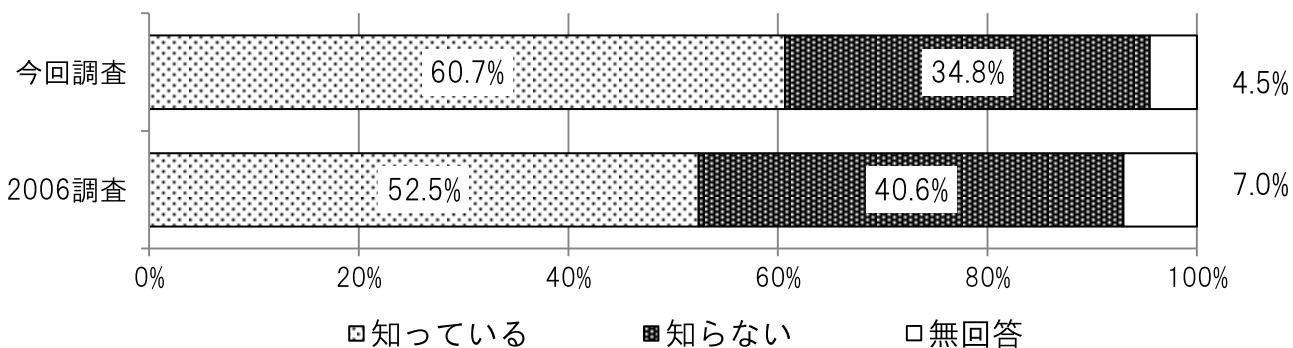
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	201	342	17	560
		%	35.9%	61.1%	3.0%	100.0%
性別	女性	数	236	435	43	714
		%	33.1%	60.9%	6.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	4	9	2	15
		%	26.7%	60.0%	13.3%	100.0%
年齢	20 歳代	数	15	89	0	104
		%	14.4%	85.6%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	33	136	3	172
		%	19.2%	79.1%	1.7%	100.0%
	40 歳代	数	53	161	4	218
		%	24.3%	73.9%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	67	132	4	203
		%	33.0%	65.0%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	149	134	10	293
		%	50.9%	45.7%	3.4%	100.0%
	70 歳以上	数	125	131	41	297
		%	42.1%	44.1%	13.8%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が6.1ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知らない」で20歳代が唯一8割を超えており、30歳代も79.1%となっており、若い世代が「知らない」の割合が高くなっている。また、「知っている」で最も割合が高かったのは、60歳代で50.9%、次いで70歳以上が42.1%となっている。

F 男女共同参画社会基本法



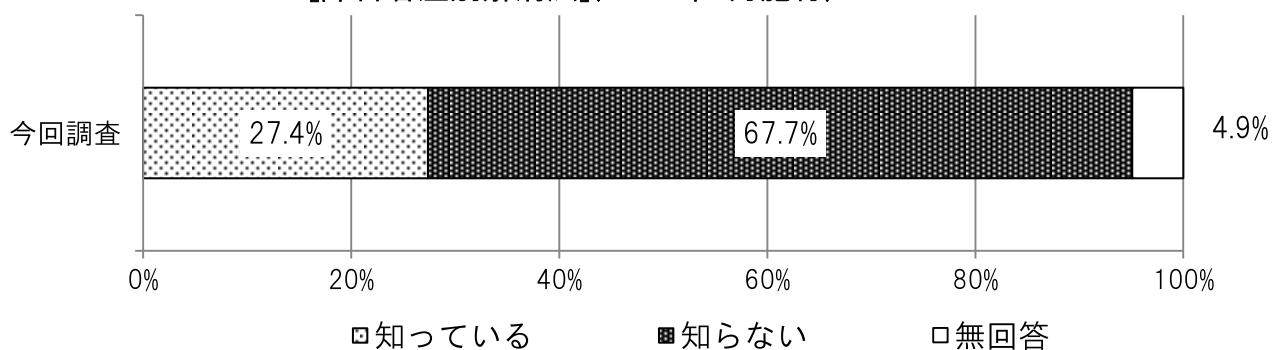
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	353	190	17	560
		%	63.0%	33.9%	3.0%	100.0%
性別	女性	数	425	251	38	714
		%	59.5%	35.2%	5.3%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	7	2	15
		%	40.0%	46.7%	13.3%	100.0%
年齢	20 歳代	数	87	17	0	104
		%	83.7%	16.3%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	94	75	3	172
		%	54.7%	43.6%	1.7%	100.0%
	40 歳代	数	143	72	3	218
		%	65.6%	33.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	119	79	5	203
		%	58.6%	38.9%	2.5%	100.0%
	60 歳代	数	178	103	12	293
		%	60.8%	35.2%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	164	98	35	297
		%	55.2%	33.0%	11.8%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が8.2ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」で20歳代が唯一8割を超え、特に高くなっている。30歳代～70歳以上は、5～6割前後となっている。

G 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律
[障害者差別解消法](2016年4月施行)



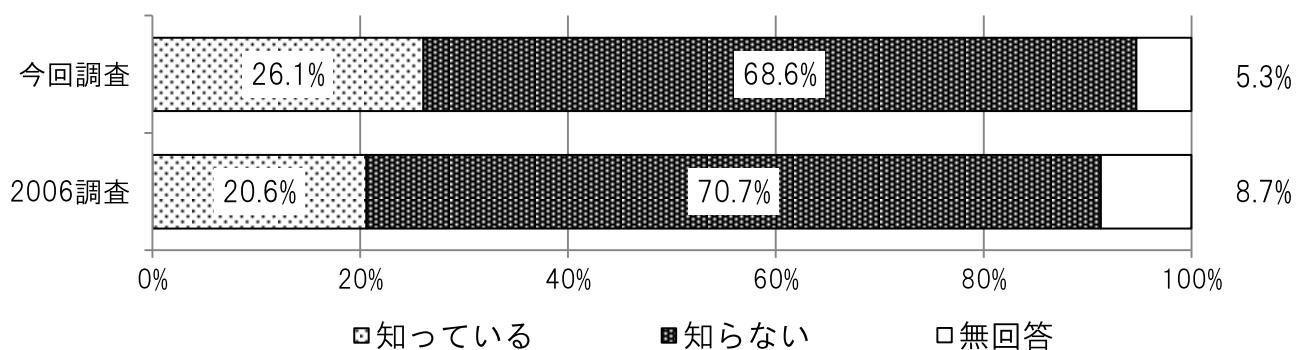
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	164	378	18	560
		%	29.3%	67.5%	3.2%	100.0%
性別	女性	数	187	483	44	714
		%	26.2%	67.6%	6.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	12	1	15
		%	13.3%	80.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	19	85	0	104
		%	18.3%	81.7%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	37	133	2	172
		%	21.5%	77.3%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	56	158	4	218
		%	25.7%	72.5%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	54	146	3	203
		%	26.6%	71.9%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	90	190	13	293
		%	30.7%	64.8%	4.4%	100.0%
	70 歳以上	数	98	158	41	297
		%	33.0%	53.2%	13.8%	100.0%

2016年(平成28年)4月から施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、「知っている」が27.4%で、法施行前の調査ではあるが、3割近くが知っている。今後、認知されていくことが期待される。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」が60歳代、70歳以上が3割を超えており、年代があがるにつれ、「知っている」の割合が高くなっている。

H 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律



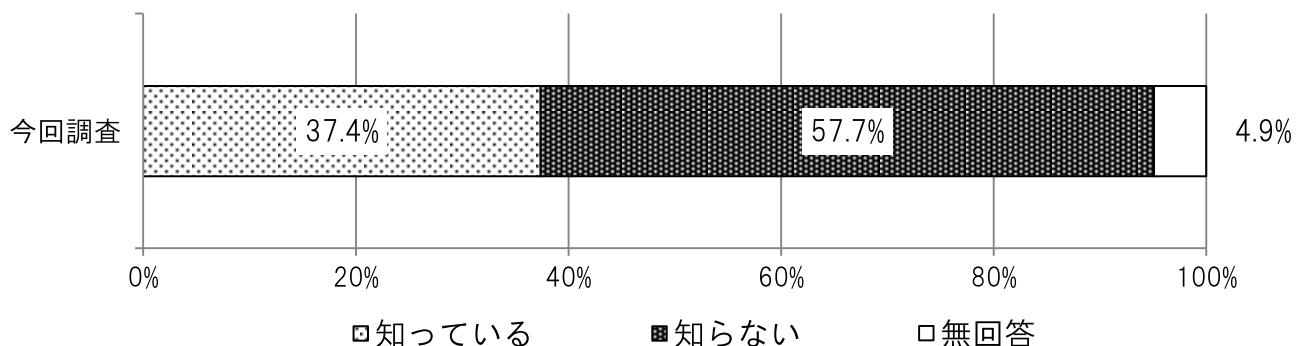
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	138	400	22	560
		%	24.6%	71.4%	3.9%	100.0%
性別	女性	数	196	474	44	714
		%	27.5%	66.4%	6.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	11	1	15
		%	20.0%	73.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	29	75	0	104
		%	27.9%	72.1%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	38	131	3	172
		%	22.1%	76.2%	1.7%	100.0%
	40 歳代	数	58	156	4	218
		%	26.6%	71.6%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	54	147	2	203
		%	26.6%	72.4%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	86	192	15	293
		%	29.4%	65.5%	5.1%	100.0%
	70 歳以上	数	72	181	44	297
		%	24.2%	60.9%	14.8%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が5.5 ポイント高くなっている。

性別では、「知らない」で女性より男性の方が5.0 ポイント高くなっている。

年齢では、「知っている」では、すべての年代で3割を下回っている。

Ⅰ ハンセン病問題の解決の促進に関する法律

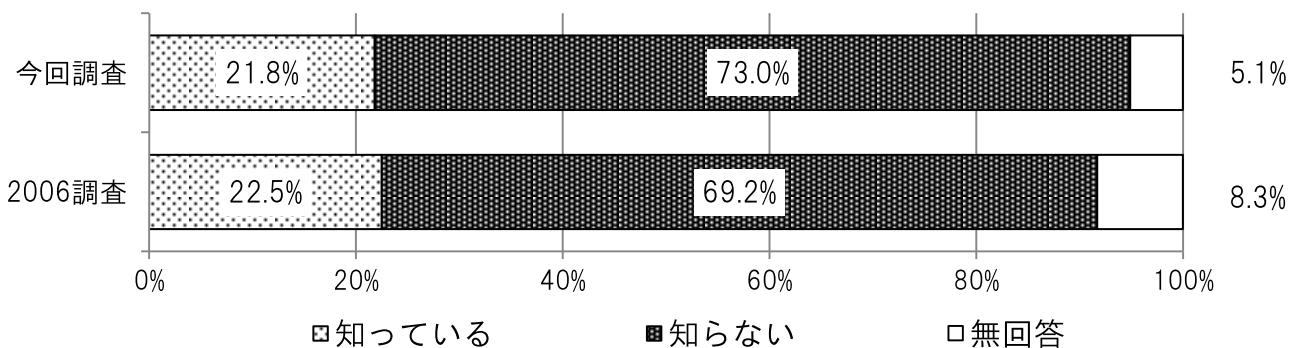


			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	222	318	20	560
		%	39.6%	56.8%	3.6%	100.0%
性別	女性	数	255	417	42	714
		%	35.7%	58.4%	5.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	11	1	15
		%	20.0%	73.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	21	83	0	104
		%	20.2%	79.8%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	51	119	2	172
		%	29.7%	69.2%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	80	133	5	218
		%	36.7%	61.0%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	91	110	2	203
		%	44.8%	54.2%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	119	162	12	293
		%	40.6%	55.3%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	119	136	42	297
		%	40.1%	45.8%	14.1%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」で 50 歳代が 44.8% と最も高くなっている。4 割を超えているのは、50 歳代～70 歳以上となっている。「知らない」で、20 歳代が 8 割近くとなっており、若い世代の認知が低くなっている。

J 鈴鹿市人権擁護に関する条例



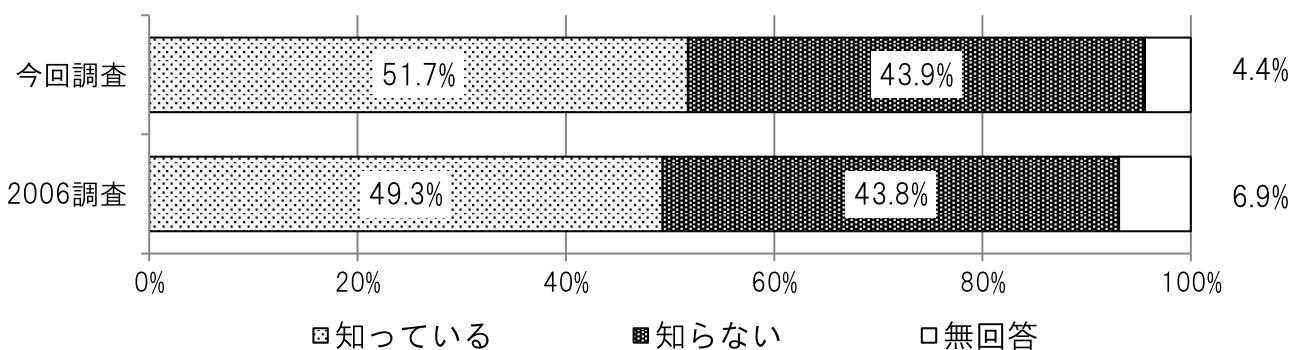
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	128	410	22	560
		%	22.9%	73.2%	3.9%	100.0%
性別	女性	数	151	520	43	714
		%	21.1%	72.8%	6.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	1	13	1	15
		%	6.7%	86.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	12	92	0	104
		%	11.5%	88.5%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	17	153	2	172
		%	9.9%	89.0%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	37	175	6	218
		%	17.0%	80.3%	2.8%	100.0%
	50 歳代	数	29	171	3	203
		%	14.3%	84.2%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	90	189	14	293
		%	30.7%	64.5%	4.8%	100.0%
	70 歳以上	数	95	161	41	297
		%	32.0%	54.2%	13.8%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が0.7ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「知っている」で、60歳代、70歳以上が3割を超えており。20歳代、30歳代は1割前後と認知度が低くなっている。特に若い世代に鈴鹿市の人権条例が認知されていないことが伺える。

K 非核平和都市宣言(鈴鹿市)



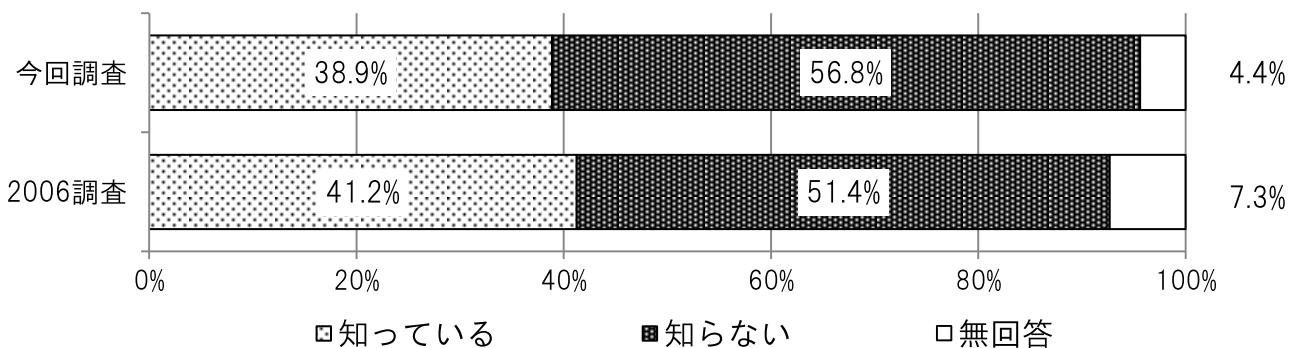
			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	322	222	16	560
		%	57.5%	39.6%	2.9%	100.0%
性別	女性	数	341	334	39	714
		%	47.8%	46.8%	5.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	8	1	15
		%	40.0%	53.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	52	52	0	104
		%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	74	97	1	172
		%	43.0%	56.4%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	114	100	4	218
		%	52.3%	45.9%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	98	102	3	203
		%	48.3%	50.2%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	172	110	11	293
		%	58.7%	37.5%	3.8%	100.0%
	70 歳以上	数	158	102	37	297
		%	53.2%	34.3%	12.5%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が 2.4 ポイント高くなっている。

性別では、「知っている」で、女性より男性の方が 9.7 ポイント高くなっている。

年齢では、「知っている」で、5 割を超えたのは、20 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳以上で、その中でも 60 歳代は 58.7% と最も高くなっている。30 歳代は、「知っている」が 43.0% と最も低くなっている。

L 人権尊重都市宣言(鈴鹿市)



			知っている	知らない	無回答	計
性別	男性	数	239	305	16	560
		%	42.7%	54.5%	2.9%	100.0%
性別	女性	数	261	414	39	714
		%	36.6%	58.0%	5.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	12	1	15
		%	13.3%	80.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	32	72	0	104
		%	30.8%	69.2%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	49	122	1	172
		%	28.5%	70.9%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	86	128	4	218
		%	39.4%	58.7%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	71	129	3	203
		%	35.0%	63.5%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	125	157	11	293
		%	42.7%	53.6%	3.8%	100.0%
	70 歳以上	数	137	123	37	297
		%	46.1%	41.4%	12.5%	100.0%

前回調査との比較では、「知っている」が2.3ポイント低くなっている。

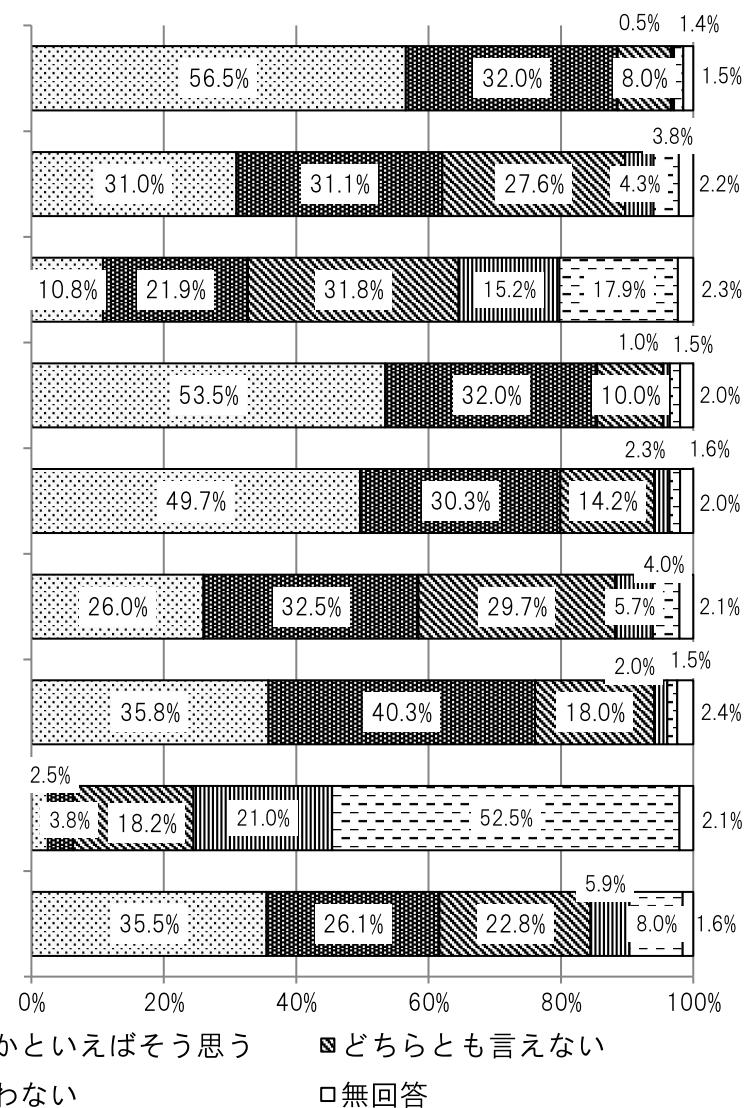
性別では、「知っている」で、女性より男性の方が6.1ポイント高くなっている。

年齢では、「知っている」で、60歳代、70歳以上が4割を超えており、「知らない」で、30歳代が7割と最も高くなっている。

問2 人権や差別をめぐつていろいろな考え方がありますが、あなたはどのようにお考えですか。

差別・人権に関する考え方

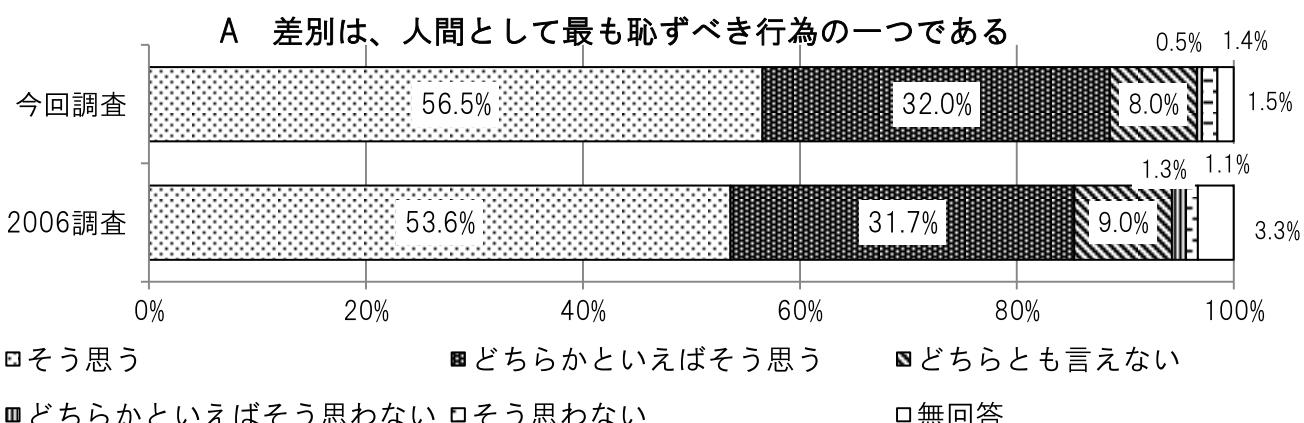
- A 差別は、人間として最も恥すべき行為の一つである
- B 差別は法律で禁止する必要がある
- C 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない
- D 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある
- E あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある
- F 人権や権利ばかり主張して、がまんすることができない者が増えている
- G 誰もが自分の人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ
- H 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない
- I 思いやりや、やさしさをみんながもてば人権問題は解決する



A、B、D、E、G の考え方について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「A 差別は、人間として最も恥すべき行為の一つである」88.5%、「D 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある」85.5%、「E あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある」80.0%といずれも 8 割を超えており。また、「G 誰もが自分の人権についてもっとも学ぶ機会をもつべきだ」も 76.1%と 8 割近くの市民が人権について学ぶ機会が必要であるとしている。さらに「B 差別は法律で禁止する必要がある」は 62.1%となっている。

C、F、H、I の考え方について「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、「C 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない」33.1%で、「F 人権や権利ばかり主張して、がまんすることができない者が増えている」は 9.7%と 1 割にも満たない。「I 思いやりや、やさしさをみんながもてば人権問題は解決する」で 13.9%となっている。しかし「H 人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない」は 73.5%と 7 割を超えており。

この結果から、差別は恥すべきもので、差別された人の声を聴き、人権を学ぶことが大切であると考えている市民が多いことが分かる。また、人権問題を自分事ととらえる市民が多いことが分かる。

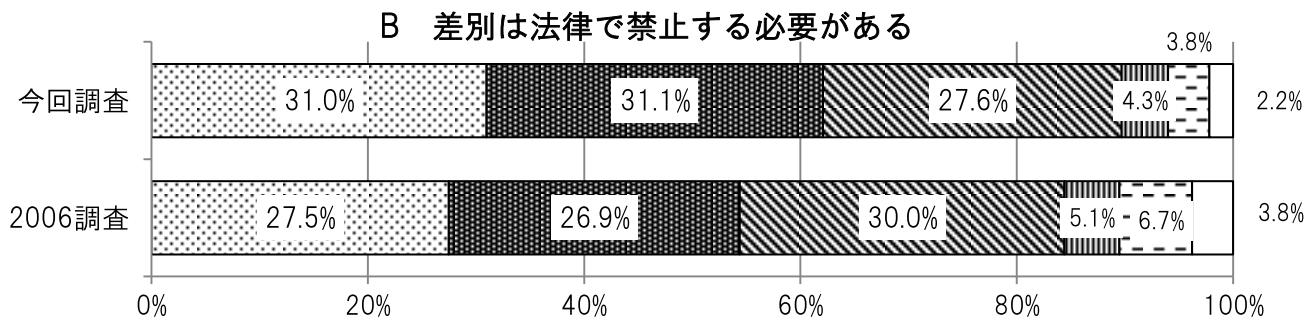


			そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち ら と も 言 え な い	どち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答	計
性別	男性	数	311	183	42	5	13	6	560
		%	55.5%	32.7%	7.5%	0.9%	2.3%	1.1%	100.0%
性別	女性	数	408	225	62	2	4	13	714
		%	57.1%	31.5%	8.7%	0.3%	0.6%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる 人	数	7	7	1	0	0	0	15
		%	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	51	38	8	1	5	1	104
		%	49.0%	36.5%	7.7%	1.0%	4.8%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	83	66	17	2	4	0	172
		%	48.3%	38.4%	9.9%	1.2%	2.3%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	111	80	21	1	3	2	218
		%	50.9%	36.7%	9.6%	0.5%	1.4%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	112	67	20	1	2	1	203
		%	55.2%	33.0%	9.9%	0.5%	1.0%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	188	81	18	2	2	2	293
		%	64.2%	27.6%	6.1%	0.7%	0.7%	0.7%	100.0%
	70 歳以上	数	182	80	20	0	2	13	297
		%	61.3%	26.9%	6.7%	0.0%	0.7%	4.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、3.2 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、すべての年齢で 8 割を超えており、特に 60 歳代では 9 割を超えている。20 歳代が「そう思わない」4.8%と他の年齢とくらべて最も高くなっている。



□ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ どちらとも言えない

■ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない

□ 無回答

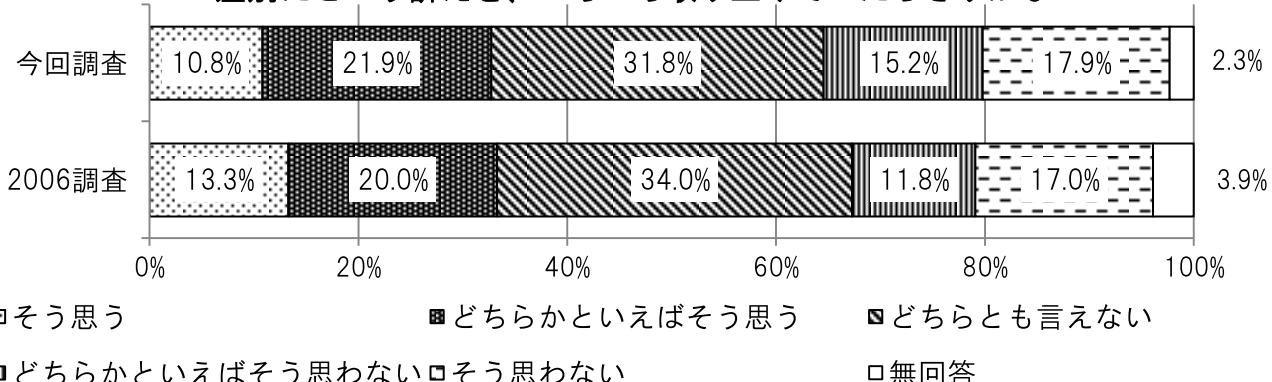
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらとも言えない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	計	
性別	男性	数	194	165	138	20	31	12	560
		%	34.6%	29.5%	24.6%	3.6%	5.5%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	202	226	215	36	19	16	714
		%	28.3%	31.7%	30.1%	5.0%	2.7%	2.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	7	6	0	0	0	15
		%	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	27	28	35	5	8	1	104
		%	26.0%	26.9%	33.7%	4.8%	7.7%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	40	58	56	8	9	1	172
		%	23.3%	33.7%	32.6%	4.7%	5.2%	0.6%	100.0%
年齢	40 歳代	数	58	73	68	11	6	2	218
		%	26.6%	33.5%	31.2%	5.0%	2.8%	0.9%	100.0%
年齢	50 歳代	数	60	61	66	6	9	1	203
		%	29.6%	30.0%	32.5%	3.0%	4.4%	0.5%	100.0%
年齢	60 歳代	数	109	94	62	18	8	2	293
		%	37.2%	32.1%	21.2%	6.1%	2.7%	0.7%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	104	83	71	8	10	21	297
		%	35.0%	27.9%	23.9%	2.7%	3.4%	7.1%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、7.7 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、40 歳代～70 歳以上で 6 割前後となっており、特に 60 歳代では 69.3% と 7 割近くになっている。一方 20 歳代では「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が唯一 1 割を超えていている。

C 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない

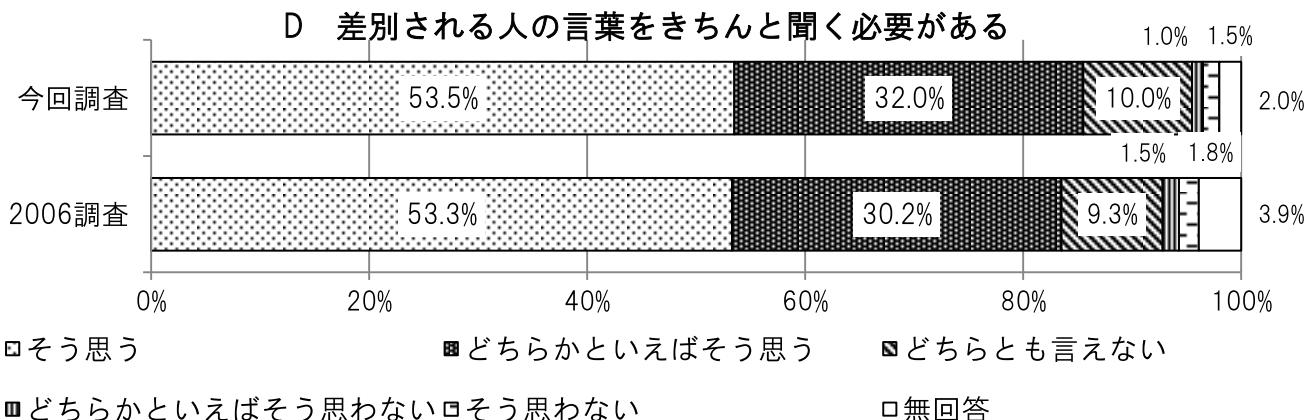


		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わな い	そ う思 わな い	無回答	計
性別	男性	数	76	121	153	93	104	13 560
		%	13.6%	21.6%	27.3%	16.6%	18.6%	2.3% 100.0%
性別	女性	数	62	160	247	102	127	16 714
		%	8.7%	22.4%	34.6%	14.3%	17.8%	2.2% 100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	1	4	7	2	1	0 15
		%	6.7%	26.7%	46.7%	13.3%	6.7%	0.0% 100.0%
年齢	20 歳代	数	24	26	24	15	14	1 104
		%	23.1%	25.0%	23.1%	14.4%	13.5%	1.0% 100.0%
年齢	30 歳代	数	19	42	58	29	24	0 172
		%	11.0%	24.4%	33.7%	16.9%	14.0%	0.0% 100.0%
年齢	40 歳代	数	15	49	74	41	37	2 218
		%	6.9%	22.5%	33.9%	18.8%	17.0%	0.9% 100.0%
年齢	50 歳代	数	21	34	75	37	35	1 203
		%	10.3%	16.7%	36.9%	18.2%	17.2%	0.5% 100.0%
年齢	60 歳代	数	19	61	98	44	69	2 293
		%	6.5%	20.8%	33.4%	15.0%	23.5%	0.7% 100.0%
年齢	70 歳以上	数	42	73	75	32	52	23 297
		%	14.1%	24.6%	25.3%	10.8%	17.5%	7.7% 100.0%

前回調査との比較では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、4.3ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、20 歳代が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」48.1%と 5 割近くになっており、他の年齢と比べて最も高くなっている。「差別だという訴えを、取り上げていたらきりがない」を肯定している 20 歳代が半数近くいる。

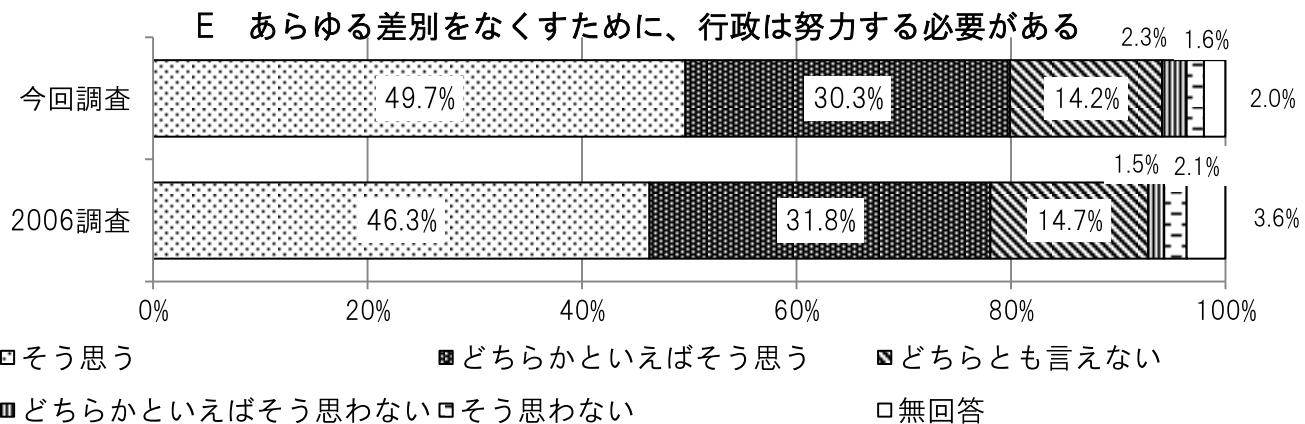


		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	302	177	53	10	6	12	560
		%	53.9%	31.6%	9.5%	1.8%	1.1%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	378	233	74	2	14	13	714
		%	52.9%	32.6%	10.4%	0.3%	2.0%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	11	3	1	0	0	0	15
		%	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	67	25	10	0	1	1	104
		%	64.4%	24.0%	9.6%	0.0%	1.0%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	91	64	15	1	1	0	172
		%	52.9%	37.2%	8.7%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
年齢	40 歳代	数	108	80	25	2	1	2	218
		%	49.5%	36.7%	11.5%	0.9%	0.5%	0.9%	100.0%
年齢	50 歳代	数	106	64	27	0	5	1	203
		%	52.2%	31.5%	13.3%	0.0%	2.5%	0.5%	100.0%
年齢	60 歳代	数	169	90	24	5	3	2	293
		%	57.7%	30.7%	8.2%	1.7%	1.0%	0.7%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	145	92	28	4	9	19	297
		%	48.8%	31.0%	9.4%	1.3%	3.0%	6.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、2.0 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、すべての年齢で 8 割前後となっている。中でも、30 歳代は約 9 割と最も高くなっている。

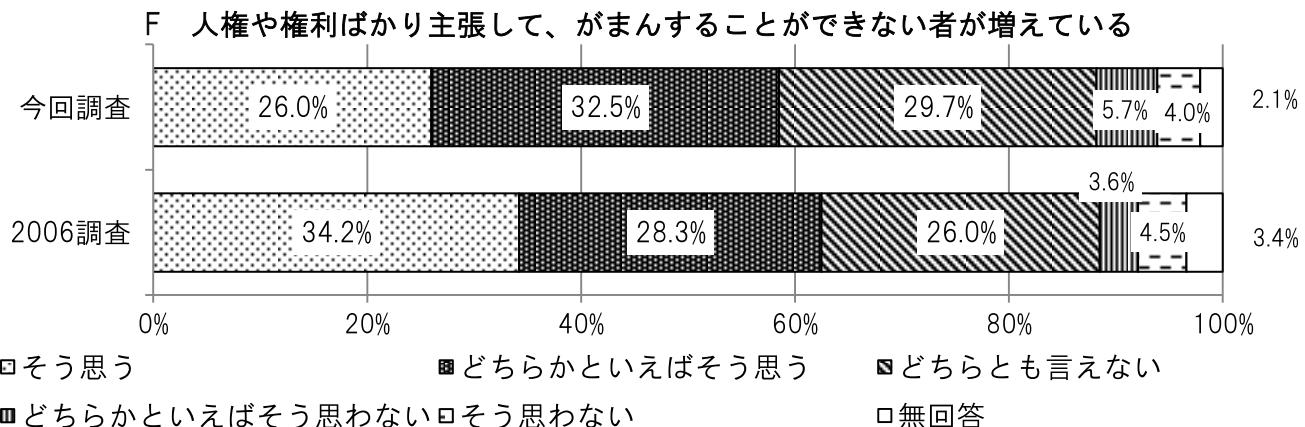


		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち ら と も 言 え な い	どち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答	計	
性別	男性	数	271	169	81	17	10	12	560
		%	48.4%	30.2%	14.5%	3.0%	1.8%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	360	217	102	11	11	13	714
		%	50.4%	30.4%	14.3%	1.5%	1.5%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	9	4	1	1	0	0	15
		%	60.0%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	44	40	15	1	3	1	104
		%	42.3%	38.5%	14.4%	1.0%	2.9%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	84	57	25	5	1	0	172
		%	48.8%	33.1%	14.5%	2.9%	0.6%	0.0%	100.0%
年齢	40 歳代	数	108	66	36	4	2	2	218
		%	49.5%	30.3%	16.5%	1.8%	0.9%	0.9%	100.0%
年齢	50 歳代	数	99	71	25	2	4	2	203
		%	48.8%	35.0%	12.3%	1.0%	2.0%	1.0%	100.0%
年齢	60 歳代	数	158	83	39	8	3	2	293
		%	53.9%	28.3%	13.3%	2.7%	1.0%	0.7%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	144	75	44	8	8	18	297
		%	48.5%	25.3%	14.8%	2.7%	2.7%	6.1%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、1.9 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 8 割前後となっているが、70 歳以上が唯一約 7 割となっている。

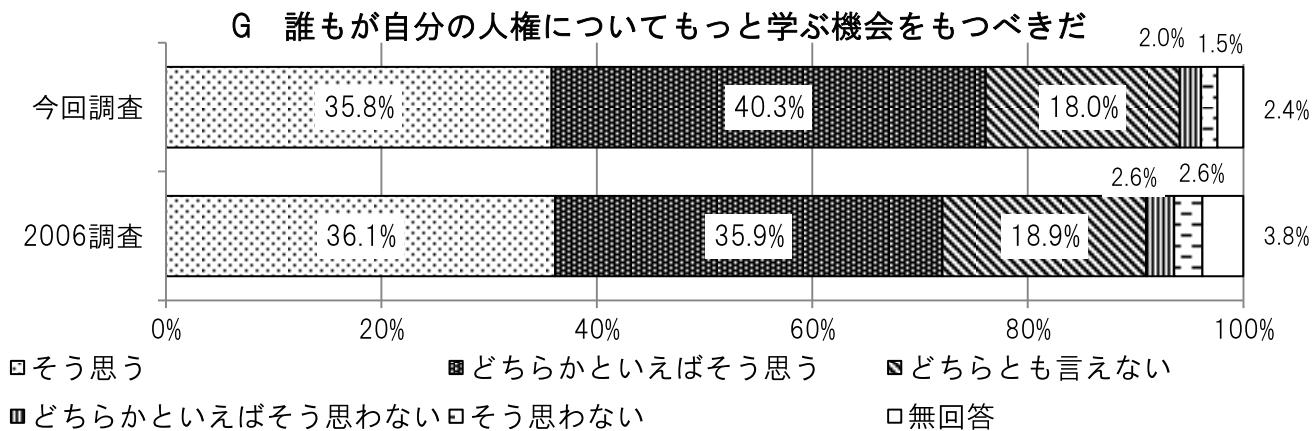


		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	170	183	138	33	24	12	560
		%	30.4%	32.7%	24.6%	5.9%	4.3%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	162	230	241	38	28	15	714
		%	22.7%	32.2%	33.8%	5.3%	3.9%	2.1%	100.0%
性別	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる 人	数	1	7	5	2	0	0	15
		%	6.7%	46.7%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	28	30	36	5	4	1	104
		%	26.9%	28.8%	34.6%	4.8%	3.8%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	49	48	64	9	2	0	172
		%	28.5%	27.9%	37.2%	5.2%	1.2%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	55	80	62	12	7	2	218
		%	25.2%	36.7%	28.4%	5.5%	3.2%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	49	65	71	8	9	1	203
		%	24.1%	32.0%	35.0%	3.9%	4.4%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	84	93	80	17	18	1	293
		%	28.7%	31.7%	27.3%	5.8%	6.1%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	69	103	68	23	12	22	297
		%	23.2%	34.7%	22.9%	7.7%	4.0%	7.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、1.6ポイント高くなっている。

性別では、女性よりの男性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、8.2 ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて 6 割を超えたのは、40 歳代と 60 歳代であった。

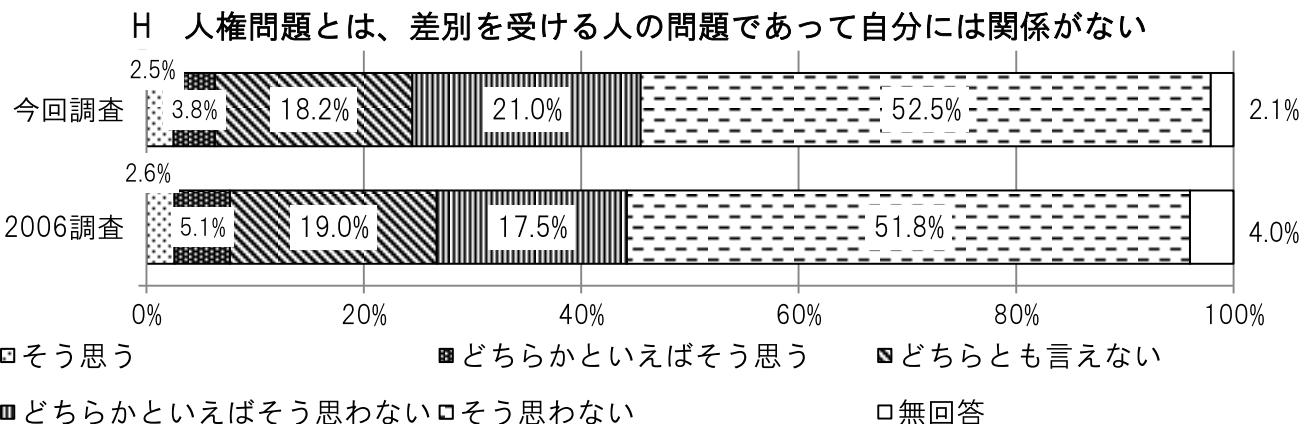


		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	203	227	97	14	8	11	560
		%	36.3%	40.5%	17.3%	2.5%	1.4%	2.0%	100.0%
性別	女性	数	252	285	134	12	12	19	714
		%	35.3%	39.9%	18.8%	1.7%	1.7%	2.7%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	6	6	3	0	0	0	15
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	35	42	20	6	0	1	104
		%	33.7%	40.4%	19.2%	5.8%	0.0%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	60	72	34	3	3	0	172
		%	34.9%	41.9%	19.8%	1.7%	1.7%	0.0%	100.0%
年齢	40 歳代	数	76	101	33	4	1	3	218
		%	34.9%	46.3%	15.1%	1.8%	0.5%	1.4%	100.0%
年齢	50 歳代	数	77	86	34	4	1	1	203
		%	37.9%	42.4%	16.7%	2.0%	0.5%	0.5%	100.0%
年齢	60 歳代	数	112	118	48	3	9	3	293
		%	38.2%	40.3%	16.4%	1.0%	3.1%	1.0%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	99	100	64	6	6	22	297
		%	33.3%	33.7%	21.5%	2.0%	2.0%	7.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、4.1 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、40 歳代～60 歳代で 8 割前後となっており、20 歳代と 30 歳代は 7 割を超えていた。70 歳以上が唯一 67.0% と最も低くなっていたり、最も高い 40 歳代との差は、14.2 ポイントであった。

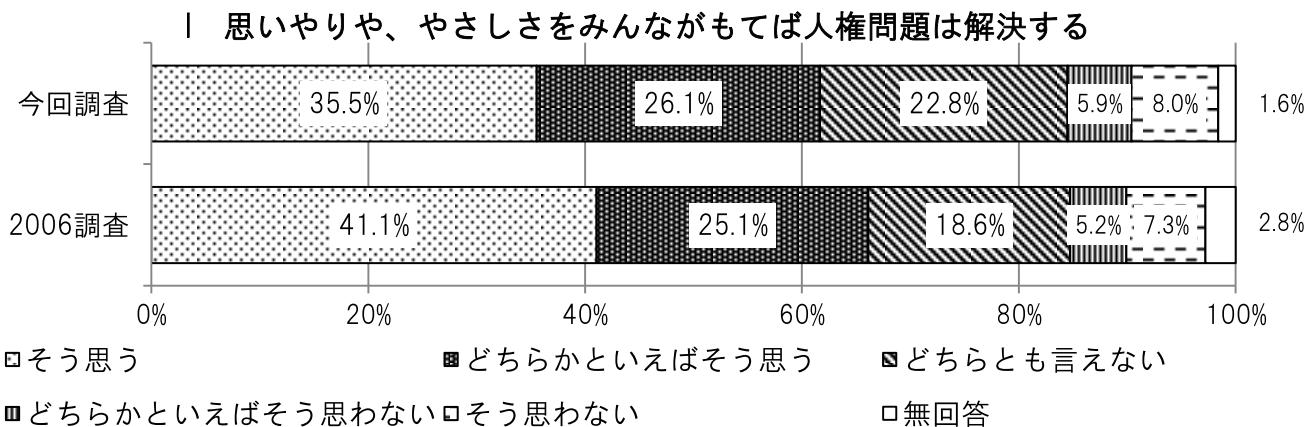


		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらとも言えない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	計	
性別	男性	数	22	21	96	120	290	11	560
		%	3.9%	3.8%	17.1%	21.4%	51.8%	2.0%	100.0%
性別	女性	数	9	25	135	147	383	15	714
		%	1.3%	3.5%	18.9%	20.6%	53.6%	2.1%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	0	0	4	5	6	0	15
		%	0.0%	0.0%	26.7%	33.3%	40.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	3	0	13	24	63	1	104
		%	2.9%	0.0%	12.5%	23.1%	60.6%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	1	3	30	48	90	0	172
		%	0.6%	1.7%	17.4%	27.9%	52.3%	0.0%	100.0%
年齢	40 歳代	数	3	5	53	46	109	2	218
		%	1.4%	2.3%	24.3%	21.1%	50.0%	0.9%	100.0%
年齢	50 歳代	数	5	5	39	39	114	1	203
		%	2.5%	2.5%	19.2%	19.2%	56.2%	0.5%	100.0%
年齢	60 歳代	数	4	16	44	64	163	2	293
		%	1.4%	5.5%	15.0%	21.8%	55.6%	0.7%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	15	17	55	50	140	20	297
		%	5.1%	5.7%	18.5%	16.8%	47.1%	6.7%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、4.2ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせて、8割を超えているのは、20歳代と30歳代だった。最も低かったのは70歳以上で63.9%と、最も高い20歳代との差は19.8ポイントと大きな差が見られた。



			そう思 う	どちら かとい えればそ う思う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計
性別	男性	数	196	141	120	32	62	9	560
		%	35.0%	25.2%	21.4%	5.7%	11.1%	1.6%	100.0%
性別	女性	数	254	186	176	45	41	12	714
		%	35.6%	26.1%	24.6%	6.3%	5.7%	1.7%	100.0%
性別	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる 人	数	5	7	2	0	1	0	15
		%	33.3%	46.7%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	28	23	32	6	14	1	104
		%	26.9%	22.1%	30.8%	5.8%	13.5%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	44	48	46	13	21	0	172
		%	25.6%	27.9%	26.7%	7.6%	12.2%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	65	55	57	20	19	2	218
		%	29.8%	25.2%	26.1%	9.2%	8.7%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	63	63	51	13	12	1	203
		%	31.0%	31.0%	25.1%	6.4%	5.9%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	107	85	61	17	22	1	293
		%	36.5%	29.0%	20.8%	5.8%	7.5%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	146	63	48	8	16	16	297
		%	49.2%	21.2%	16.2%	2.7%	5.4%	5.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」は今回調査のほうが低くなっているが、「そう思わない」は今回調査のほうが高くなっている。

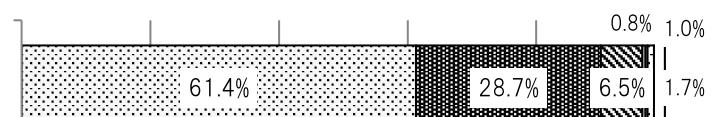
性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、50 歳代～70 歳以上は 6 割を超えており、年齢が上がるにつれ、やさしさを持って人権問題は解決すると思う人の割合が高くなっています。

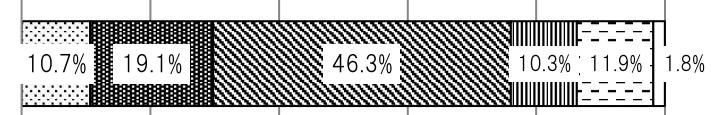
問3 人権に関する問題をめぐって、さまざまな意見があります。あなたはどのように思いますか。

人権問題に関する意見

A 交通機関や様々な施設において、障がい者も自由に利用できるように改善することは当然である



B 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



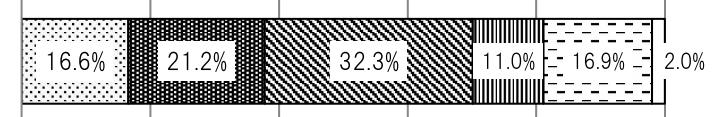
C 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ



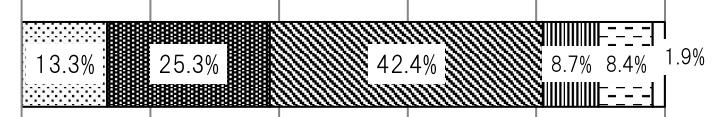
D 外国人は仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない



E 子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい



F 議員や管理職の女性の占める割合が低いのは問題だ



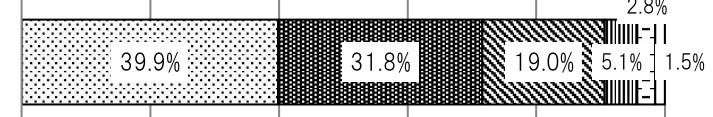
G 私は友人がHIV(エイズ)に感染していることが分かっても、これまでと同じようにつき合っていく



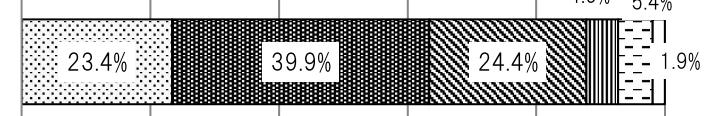
H 学校での体罰はやむを得ない



I 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ



J 認知症高齢者の自由に制限を加えることは時としてやむを得ない



K 同じ性の人同士(男性同士、女性同士)の恋愛・結婚も認めるべきだ



- そう思う
- どちらとも言えない
- そう思わない

- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- 無回答

A・Bは障がい者問題に関する項目

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「A 交通機関や様々な施設において、障がい者も自由に利用できるように改善することは当然である」では、90.1%と約9割となっており、「B 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ」では、29.8%と3割近くになっている。障がい者問題に関しては、9割の市民が、バリアフリーなどには理解を示しているが、雇用についての罰則には約4割の人は「どちらとも言えない」としている。

C・Dは外国人問題に関する項目

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、「C 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ」では、10.3%と約1割となっており、「D 外国人は仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない」では、56.6%と5割以上となっている。また「そう思わない」と回答した割合は、「D 外国人は仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない」では、33.4%と3割以上となっている。外国人問題に関しては、5割を超える人が日本の文化にとけ込むべきだとしているが、仕事に関しては、外国人という理由で待遇が悪いのは、おかしいとしている。

E・Fは女性問題に関する項目

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、「E 子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい」では、27.9%と約3割になっており、「F 議員や管理職の女性の占める割合が低いのは問題だ」では、17.1%となっている。E・Fの項目については、「どちらとも言えない」と回答している人も3~4割となっている。男女共同参画の観点から、子育てについては男性・女性関係なく関わるものだが、母親が育児に専念「すべき」「しない」「どちらともいえない」すべての回答において約3割ずつとなっている。また管理職の女性の占める割合については、約4割の人が「どちらともいえない」と回答している。

「G 私は友人がHIV(エイズ)に感染していることが分かっても、これまでと同じようにつき合っていける」は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると50.7%と約5割となっている。

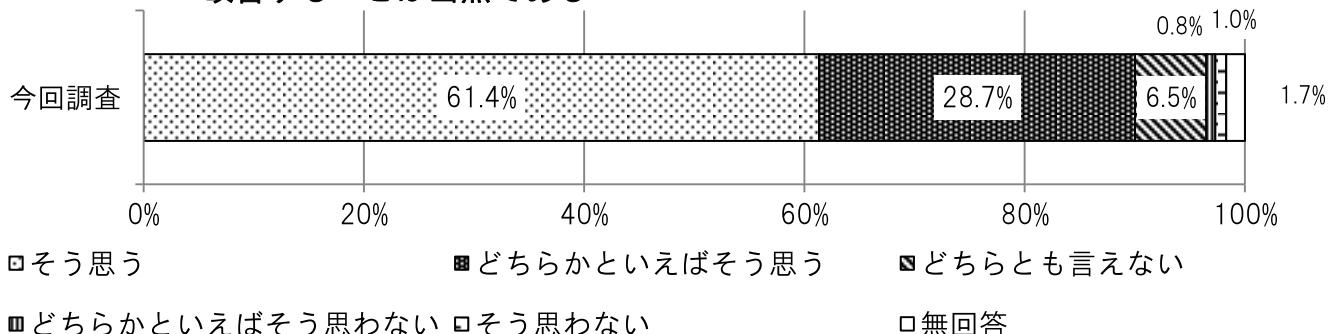
「H 学校での体罰はやむを得ない」は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると42.5%と約4割となっている。

「I 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ」は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると71.7%と約7割となっている。

「J 認知症高齢者の自由に制限を加えることは時としてやむを得ない」は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると63.3%と約6割となっている。

「K 同じ性の人同士(男性同士、女性同士)の恋愛・結婚も認めるべきだ」は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると43.9%と4割を超えている。

A 交通機関や様々な施設において、障がい者も自由に利用できるように改善することは当然である

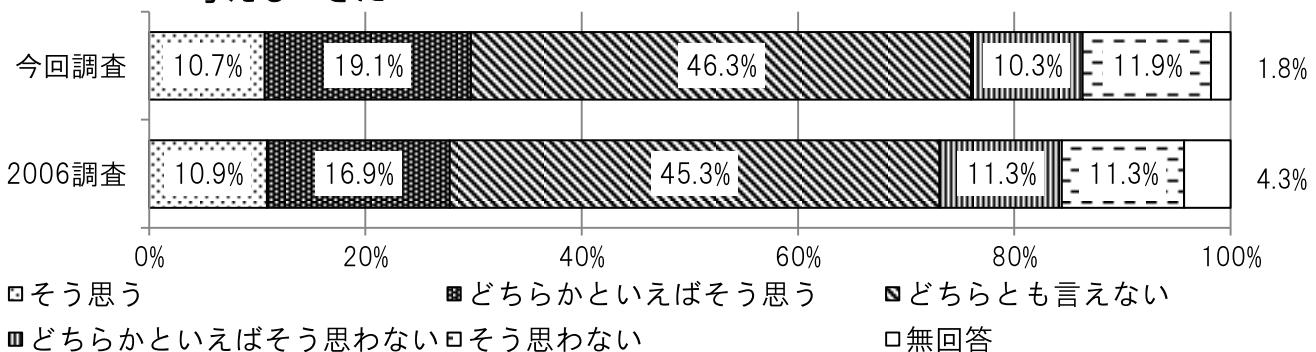


性別		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち ら と も 言 え な い	どち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答	計	
		数	%	数	%	数	%	数	
男性	男性	346	61.8%	156	27.9%	33	5.9%	5	1.6%
								9	2.0%
女性	女性	441	61.8%	206	28.9%	48	6.7%	4	0.6%
								4	1.5%
男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	10	66.7%	2	13.3%	3	20.0%	0	0.0%
	%							0	100.0%
年齢	20 歳代	73	70.2%	23	22.1%	3	2.9%	2	1.9%
								2	1.0%
30 歳代	数	105	61.0%	53	30.8%	13	7.6%	0	0.6%
	%							1	0.0%
40 歳代	数	139	63.8%	63	28.9%	11	5.0%	1	0.9%
	%							2	100.0%
50 歳代	数	122	60.1%	62	30.5%	14	6.9%	1	1.0%
	%							2	100.0%
60 歳代	数	196	66.9%	72	24.6%	19	6.5%	3	1.0%
	%							2	0.7%
70 歳以上	数	162	54.5%	90	30.3%	22	7.4%	3	1.0%
	%							4	1.3%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、すべての年齢で、8割を超えていく。

B 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



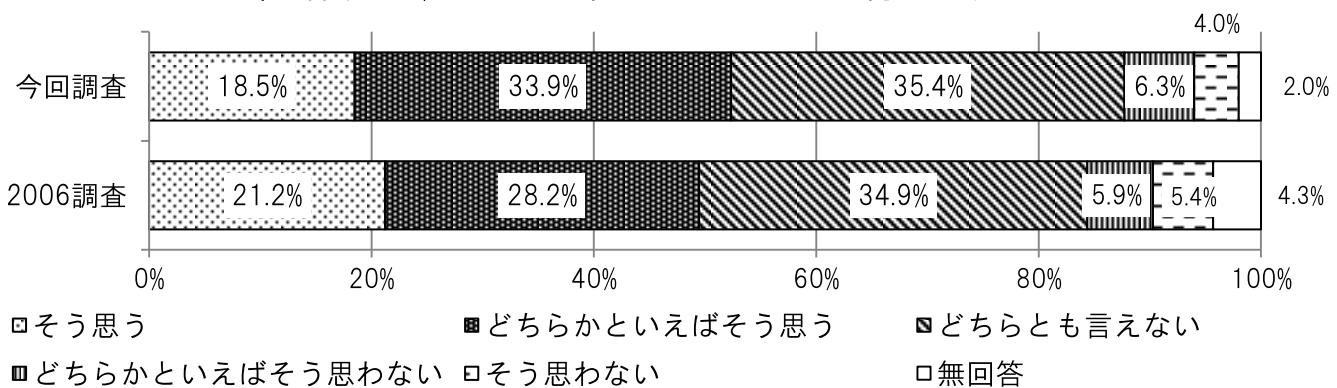
		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	84	118	212	63	72	11	560
		%	15.0%	21.1%	37.9%	11.3%	12.9%	2.0%	100.0%
性別	女性	数	52	125	374	70	81	12	714
		%	7.3%	17.5%	52.4%	9.8%	11.3%	1.7%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	2	4	7	1	1	0	15
		%	13.3%	26.7%	46.7%	6.7%	6.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	9	20	41	17	16	1	104
		%	8.7%	19.2%	39.4%	16.3%	15.4%	1.0%	100.0%
年齢	30 歳代	数	19	18	85	22	28	0	172
		%	11.0%	10.5%	49.4%	12.8%	16.3%	0.0%	100.0%
年齢	40 歳代	数	29	27	111	29	20	2	218
		%	13.3%	12.4%	50.9%	13.3%	9.2%	0.9%	100.0%
年齢	50 歳代	数	22	31	103	17	29	1	203
		%	10.8%	15.3%	50.7%	8.4%	14.3%	0.5%	100.0%
年齢	60 歳代	数	22	82	126	23	39	1	293
		%	7.5%	28.0%	43.0%	7.8%	13.3%	0.3%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	37	67	128	25	22	18	297
		%	12.5%	22.6%	43.1%	8.4%	7.4%	6.1%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、2.0 ポイント高くなっている。

性別では、男性より女性の方が、「どちらともいえない」が、14.5 ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、60 歳代、70 歳以上は 3 割を超えている。20 歳代、30 歳代では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が 3 割前後となっている。

C 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ



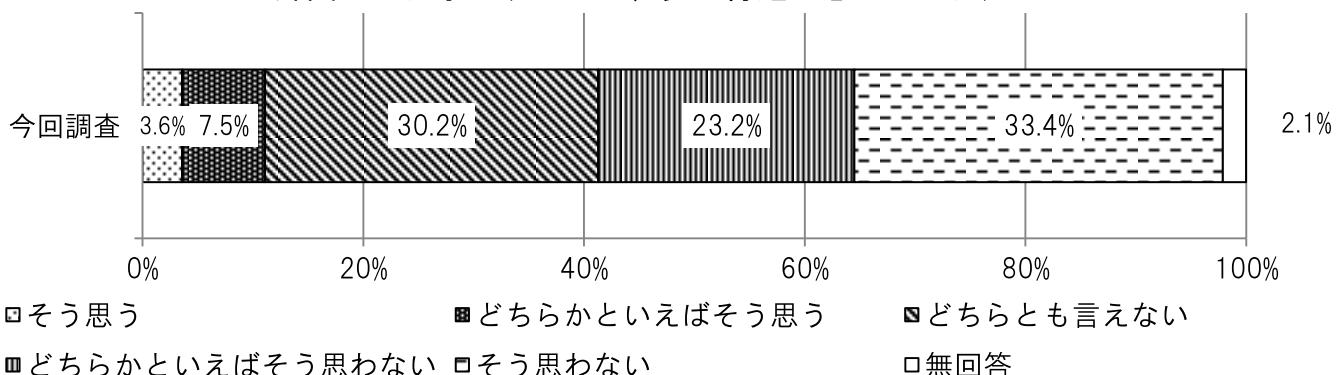
性別	年齢		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らとも 言 え ない	どち らかとい え ばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計			
		数	%	数	%	数	%	数	%			
男性	20 歳代	132	23.6%	194	34.6%	165	29.5%	34	6.1%	24	11	560
		107	15.0%	240	33.6%	280	39.2%	45	6.3%	28	14	714
女性	30 歳代	0	0.0%	5	33.3%	7	46.7%	3	20.0%	0	0	15
		26	15.1%	50	29.1%	70	40.7%	17	9.9%	9	0	172
男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	40 歳代	13	12.5%	19	18.3%	44	42.3%	18	17.3%	9	1	104
		29	13.3%	66	30.3%	101	46.3%	13	6.0%	7	2	218
年齢	50 歳代	40	19.7%	71	35.0%	72	35.5%	10	4.9%	9	1	203
		49	16.7%	129	44.0%	92	31.4%	11	3.8%	10	2	293
70 歳以上	60 歳代	81	27.3%	104	35.0%	75	25.3%	11	3.7%	8	18	297
		81	27.3%	104	35.0%	75	25.3%	11	3.7%	8	18	297

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、3.0 ポイント高くなっている。

性別では、女性よりの男性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、9.6 ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、60 歳代、70 歳以上が 6 割を超えている。年代が上がるにつれ、日本の文化にとけ込む努力をするべきだとする人の割合が高くなる傾向にある。

D 外国人は仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない

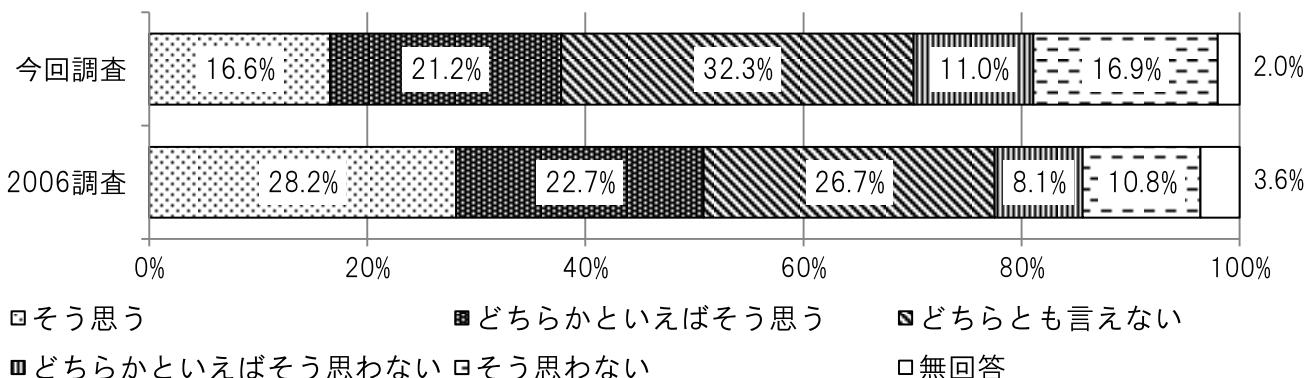


			そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち ら と も 言 え な い	どち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答	計
性別	男性	数	27	46	155	127	193	12	560
		%	4.8%	8.2%	27.7%	22.7%	34.5%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	20	51	225	169	235	14	714
		%	2.8%	7.1%	31.5%	23.7%	32.9%	2.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	0	0	8	2	5	0	15
		%	0.0%	0.0%	53.3%	13.3%	33.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	5	9	33	17	39	1	104
		%	4.8%	8.7%	31.7%	16.3%	37.5%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	4	9	51	53	55	0	172
		%	2.3%	5.2%	29.7%	30.8%	32.0%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	5	14	72	54	71	2	218
		%	2.3%	6.4%	33.0%	24.8%	32.6%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	11	13	60	49	69	1	203
		%	5.4%	6.4%	29.6%	24.1%	34.0%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	8	22	75	75	112	1	293
		%	2.7%	7.5%	25.6%	25.6%	38.2%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	14	31	94	50	87	21	297
		%	4.7%	10.4%	31.6%	16.8%	29.3%	7.1%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、30 歳代、60 歳代が 6 割を超えており、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、最も高かったのは 70 歳以上の 15.1%、次いで 20 歳代の 13.5% となっている。

E 子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい



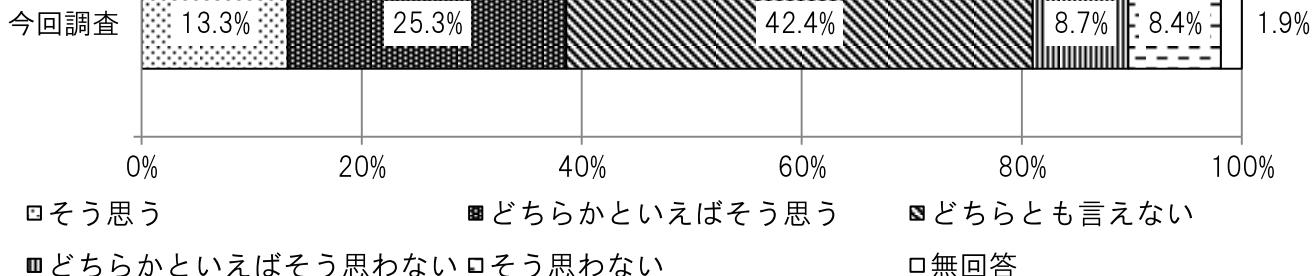
		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	105	134	169	65	76	11	560
		%	18.8%	23.9%	30.2%	11.6%	13.6%	2.0%	100.0%
	女性	数	108	137	243	75	138	13	714
		%	15.1%	19.2%	34.0%	10.5%	19.3%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	2	4	4	1	4	0	15
		%	13.3%	26.7%	26.7%	6.7%	26.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	15	28	35	10	15	1	104
		%	14.4%	26.9%	33.7%	9.6%	14.4%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	14	35	54	20	49	0	172
		%	8.1%	20.3%	31.4%	11.6%	28.5%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	15	45	79	31	46	2	218
		%	6.9%	20.6%	36.2%	14.2%	21.1%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	27	38	72	29	36	1	203
		%	13.3%	18.7%	35.5%	14.3%	17.7%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	53	63	95	32	49	1	293
		%	18.1%	21.5%	32.4%	10.9%	16.7%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	91	65	81	19	23	18	297
		%	30.6%	21.9%	27.3%	6.4%	7.7%	6.1%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、13.1 ポイント低くなっている。

性別では、女性より男性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、8.4 ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、唯一 70 歳以上が 5 割を超えており。さらに 20 歳代の 4 割が専念すべきだとしている。一方、30 歳代は 28.4%、40 歳代が 27.5% となっており、まさに 30 歳代、40 歳代が育児と仕事の両立中であり、男女関係なく育児するという考え方方が結果に現れていると推察される。

F 議員や管理職の女性の占める割合が低いのは問題だ

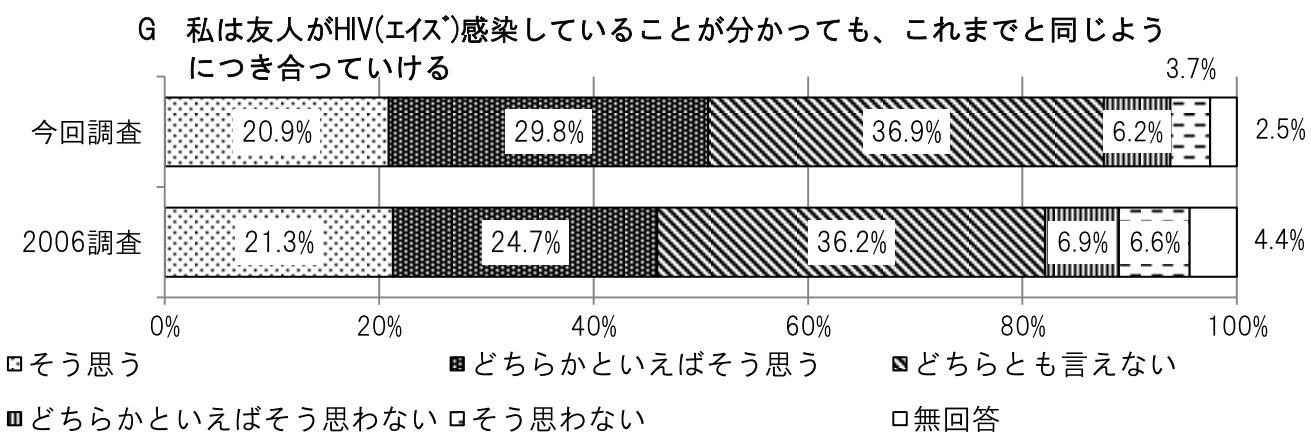


		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと も言えない	どちらか といえば そう思わ ない	そう思 わない	無回答	計	
性別	男性	数	74	132	232	57	54	11	560
		%	13.2%	23.6%	41.4%	10.2%	9.6%	2.0%	100.0%
性別	女性	数	95	190	306	55	55	13	714
		%	13.3%	26.6%	42.9%	7.7%	7.7%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	4	5	5	1	0	0	15
		%	26.7%	33.3%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	14	27	44	9	9	1	104
		%	13.5%	26.0%	42.3%	8.7%	8.7%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	24	42	75	15	16	0	172
		%	14.0%	24.4%	43.6%	8.7%	9.3%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	29	54	100	19	14	2	218
		%	13.3%	24.8%	45.9%	8.7%	6.4%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	23	47	97	18	17	1	203
		%	11.3%	23.2%	47.8%	8.9%	8.4%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	38	85	117	27	24	2	293
		%	13.0%	29.0%	39.9%	9.2%	8.2%	0.7%	100.0%
	70 歳以上	数	45	71	111	23	29	18	297
		%	15.2%	23.9%	37.4%	7.7%	9.8%	6.1%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、唯一4割を超えたのは、60歳代だった。最も低かったのは、50歳代で34.5%だった。

すべての年代で3割を超える人が問題意識を持っているが、2015年(平成27年)1月に国際労働機関(ILO)から発表された女性管理職比率ランキングによれば、日本は108位中96位と世界的にみても、日本は女性管理職の割合が低いという現状にある。

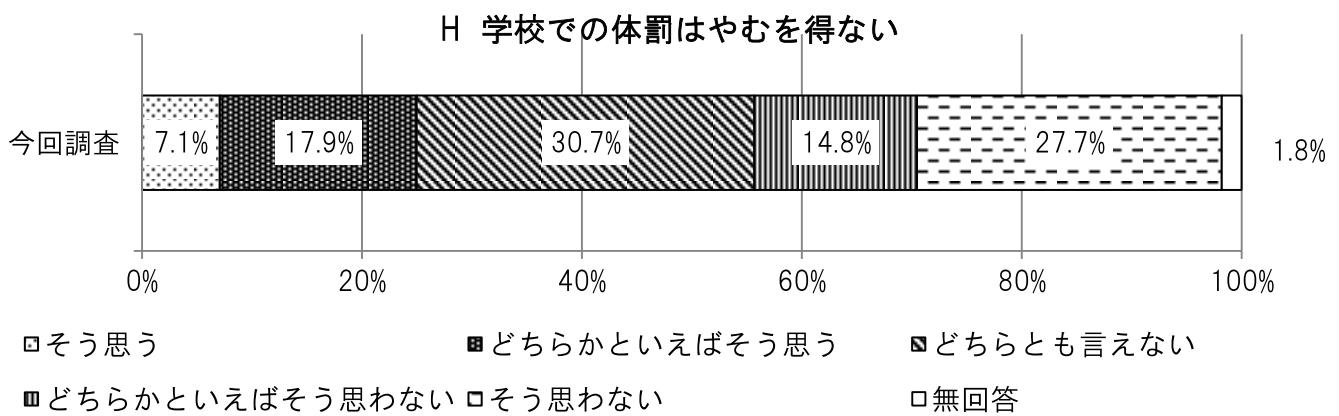


			そう思う	どちらか といえれば そう思う	どちらと も言えない	どちらかとい えればそ う思わ ない	そう思 わない	無回答	計
性別	男性	数	121	146	205	46	27	15	560
		%	21.6%	26.1%	36.6%	8.2%	4.8%	2.7%	100.0%
性別	女性	数	145	233	268	33	20	15	714
		%	20.3%	32.6%	37.5%	4.6%	2.8%	2.1%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	6	5	2	1	0	1	15
		%	40.0%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	36	37	23	4	3	1	104
		%	34.6%	35.6%	22.1%	3.8%	2.9%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	51	58	45	11	6	1	172
		%	29.7%	33.7%	26.2%	6.4%	3.5%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	45	75	75	16	4	3	218
		%	20.6%	34.4%	34.4%	7.3%	1.8%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	38	68	73	17	6	1	203
		%	18.7%	33.5%	36.0%	8.4%	3.0%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	54	86	118	17	16	2	293
		%	18.4%	29.4%	40.3%	5.8%	5.5%	0.7%	100.0%
	70 歳以上	数	46	61	140	15	13	22	297
		%	15.5%	20.5%	47.1%	5.1%	4.4%	7.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、4.7 ポイント高くなっている。

性別では、男性より女性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、5.2 ポイント高くなっている。

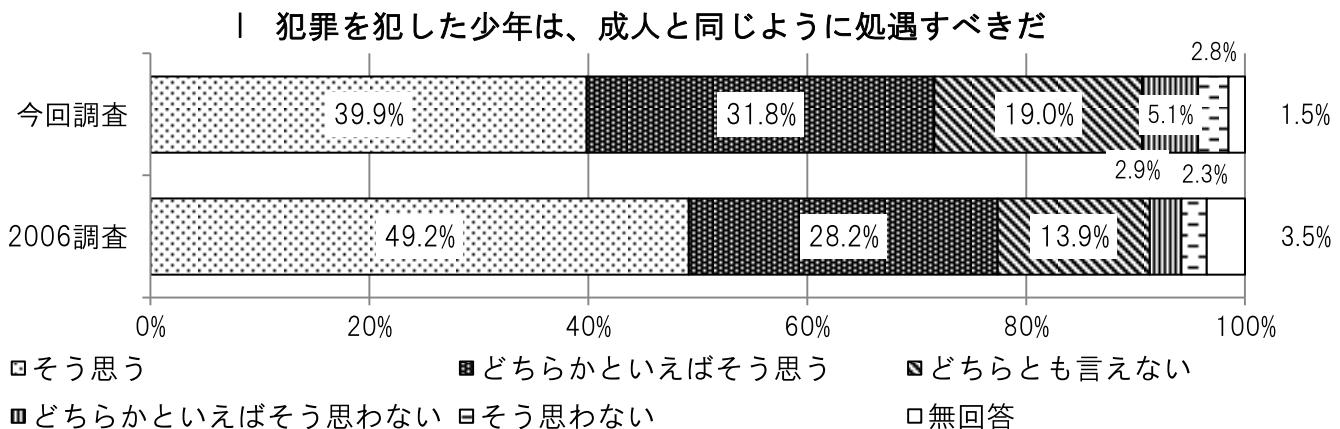
年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、唯一 20 歳代が 7 割を超え、次いで 30 歳代が約 6 割となっており、年齢が下がるにつれ、割合が高くなっている。これは若い世代が HIV(エイズ)に対する正しい知識を持っているためだと考えられる。世代間での知識の差により、意識の差が生じているため、年齢が上の世代の知識取得が課題である。



		そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち ら と も 言 え な い	どち ら か とい え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無回答	計	
性別	男性	数	61	131	153	75	131	9	560
		%	10.9%	23.4%	27.3%	13.4%	23.4%	1.6%	100.0%
	女性	数	32	96	238	114	221	13	714
		%	4.5%	13.4%	33.3%	16.0%	31.0%	1.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人		数	0	3	5	3	0	15
			%	0.0%	20.0%	33.3%	20.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	6	13	31	15	38	1	104
		%	5.8%	12.5%	29.8%	14.4%	36.5%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	11	25	53	27	56	0	172
		%	6.4%	14.5%	30.8%	15.7%	32.6%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	13	36	81	29	58	1	218
		%	6.0%	16.5%	37.2%	13.3%	26.6%	0.5%	100.0%
	50 歳代	数	19	34	67	33	49	1	203
		%	9.4%	16.7%	33.0%	16.3%	24.1%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	15	60	93	46	77	2	293
		%	5.1%	20.5%	31.7%	15.7%	26.3%	0.7%	100.0%
	70 歳以上	数	29	62	68	41	80	17	297
		%	9.8%	20.9%	22.9%	13.8%	26.9%	5.7%	100.0%

性別では、女性より男性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、16.4ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、唯一 70 歳以上が約 3 割となっており、年齢が上がるごとに割合が高くなる傾向にある。



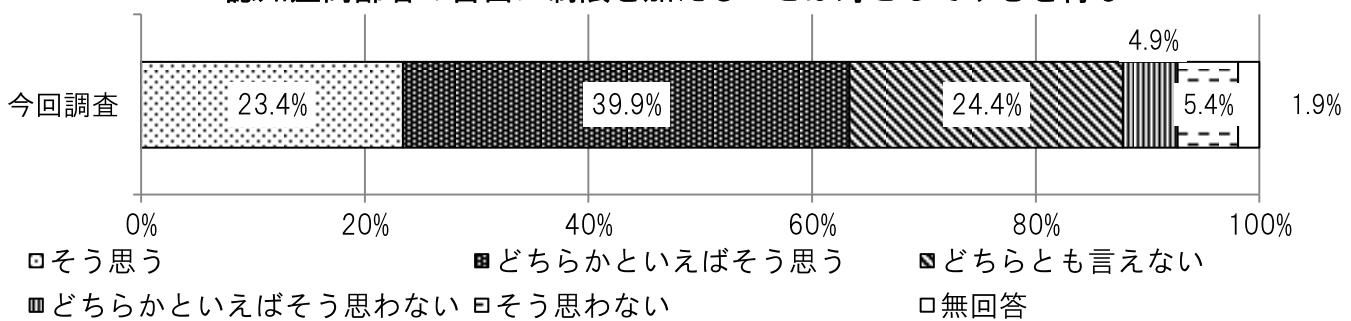
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと も言えな い	どち らかとい えばそ う思わ ない	そ う思 わない	無回答	計	
性別	男性	数	239	182	84	30	17	8	560
		%	42.7%	32.5%	15.0%	5.4%	3.0%	1.4%	100.0%
	女性	数	273	218	160	35	18	10	714
		%	38.2%	30.5%	22.4%	4.9%	2.5%	1.4%	100.0%
年齢	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	5	6	3	1	0	0	15
		%	33.3%	40.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	20 歳代	数	49	30	20	4	0	1	104
		%	47.1%	28.8%	19.2%	3.8%	0.0%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	94	48	17	9	4	0	172
		%	54.7%	27.9%	9.9%	5.2%	2.3%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	95	78	31	6	6	2	218
		%	43.6%	35.8%	14.2%	2.8%	2.8%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	72	68	52	7	3	1	203
		%	35.5%	33.5%	25.6%	3.4%	1.5%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	98	105	62	17	10	1	293
		%	33.4%	35.8%	21.2%	5.8%	3.4%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	108	79	62	23	12	13	297
		%	36.4%	26.6%	20.9%	7.7%	4.0%	4.4%	100.0%

前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、5.7 ポイント低くなっている。

性別では、女性より男性の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、6.5 ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、唯一 30 歳代が 82.6% と 8 割を超えており、一番低かったのは、70 歳以上の 63.0% で、その差は 19.6 ポイントだった。20 歳代～40 歳代の若い世代の方が、成人と同じように処遇するべきだという意見に「そう思う」としている人が多くなっている。

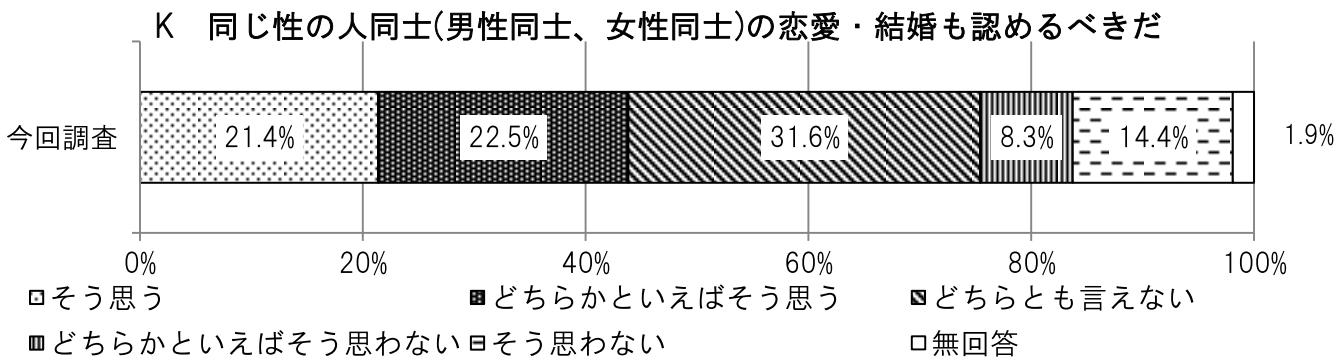
J 認知症高齢者の自由に制限を加えることは時としてやむを得ない



			そう思う	どちらか といえれば そう思う	どちらと も言えな い	どち らかと いえればそ う思わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計
性別	男性	数	147	223	123	24	32	11	560
		%	26.3%	39.8%	22.0%	4.3%	5.7%	2.0%	100.0%
	女性	数	155	286	184	38	38	13	714
		%	21.7%	40.1%	25.8%	5.3%	5.3%	1.8%	100.0%
	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	2	7	4	1	1	0	15
		%	13.3%	46.7%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	38	38	25	0	2	1	104
		%	36.5%	36.5%	24.0%	0.0%	1.9%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	53	65	42	7	5	0	172
		%	30.8%	37.8%	24.4%	4.1%	2.9%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	49	101	51	7	8	2	218
		%	22.5%	46.3%	23.4%	3.2%	3.7%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	47	87	51	11	6	1	203
		%	23.2%	42.9%	25.1%	5.4%	3.0%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	62	127	63	17	22	2	293
		%	21.2%	43.3%	21.5%	5.8%	7.5%	0.7%	100.0%
	70 歳以上	数	56	96	79	21	28	17	297
		%	18.9%	32.3%	26.6%	7.1%	9.4%	5.7%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、6割を超えたのは、20 歳代～60 歳代で、その中で一番高かったのは、20 歳代の 73.0% だった。年齢が下がるにつれ、制限を加えることは時としてやむを得ないという意見に「そう思う」とする人が多い傾向にある。



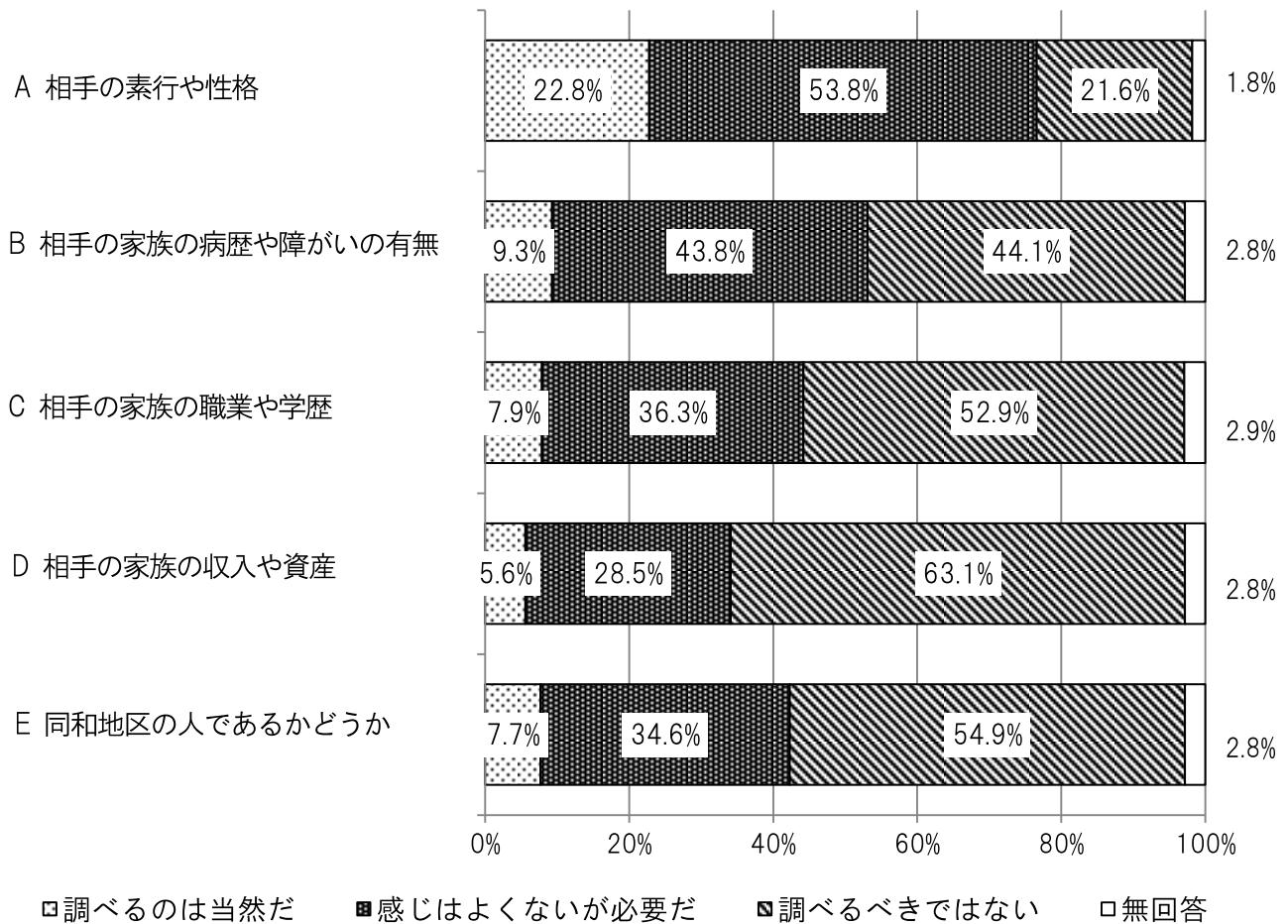
		そう思 う	どち ら かとい え ばそ う思 う	どち ら とも言 え ない	どち ら かとい え ばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計	
性別	男性	数	97	102	185	55	109	12	560
		%	17.3%	18.2%	33.0%	9.8%	19.5%	2.1%	100.0%
	女性	数	173	185	219	49	76	12	714
		%	24.2%	25.9%	30.7%	6.9%	10.6%	1.7%	100.0%
	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	7	2	5	1	0	0	15
		%	46.7%	13.3%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	41	28	24	2	8	1	104
		%	39.4%	26.9%	23.1%	1.9%	7.7%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	63	49	46	6	7	1	172
		%	36.6%	28.5%	26.7%	3.5%	4.1%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	58	64	69	7	18	2	218
		%	26.6%	29.4%	31.7%	3.2%	8.3%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	45	61	68	14	14	1	203
		%	22.2%	30.0%	33.5%	6.9%	6.9%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	41	61	103	35	52	1	293
		%	14.0%	20.8%	35.2%	11.9%	17.7%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	26	24	101	42	86	18	297
		%	8.8%	8.1%	34.0%	14.1%	29.0%	6.1%	100.0%

性別では、男性より女性のほうが、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、14.6ポイント高くなっている。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、20 歳代、30 歳代は 6 割を超えており、年齢が上がるにつれ低くなっています。また、「そう思わない」で最も高かったのは 70 歳以上で 29.0% と、最も低い 30 歳代との差は 24.9 ポイントと大きな差が見られた。年齢が上がるにつれ理解が進んでいないことが伺え、多様な性のあり方があるということを伝える必要がある。

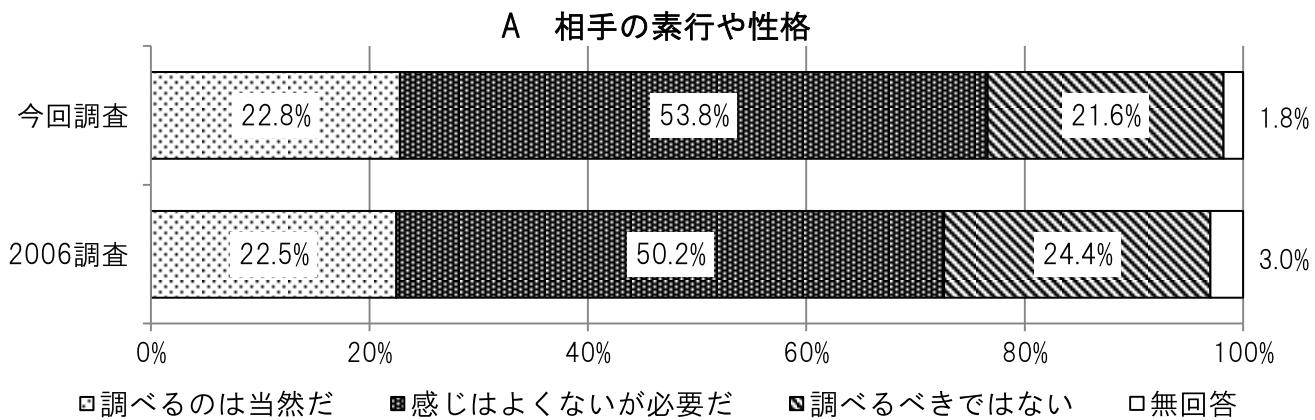
問4 あなたの身内に、結婚(縁談)の話があったときに、あなたの家族が相手に気づかれないよう
に次のようなことを調べようとしたとすると、あなたはどのようにお感じになりますか。

結婚(縁談)相手の調査



A～Eで「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせた、身元調査を肯定する人は、「A 相手の素行や性格」76.6%、「B 相手の家族の病歴や障がいの有無」53.1%、「C 相手の家族の職業や学歴」44.2%、「D 相手の家族の収入や資産」34.1%、「E 同和地区の人であるかどうか」42.3%となっている。身元調査を肯定する中で、最も高かったのは「A 相手の素行や性格」で7割を超えており、次いで「B 相手の家族の病歴や障がいの有無」は、5割の人が調べるのが必要だと回答している。

「調べるべきではない」と身元調査への明確な反対意識で最も高かったのは、「D 相手の家族の収入や資産」約6割、次いで「E 同和地区の人であるかどうか」が5割を超えている。



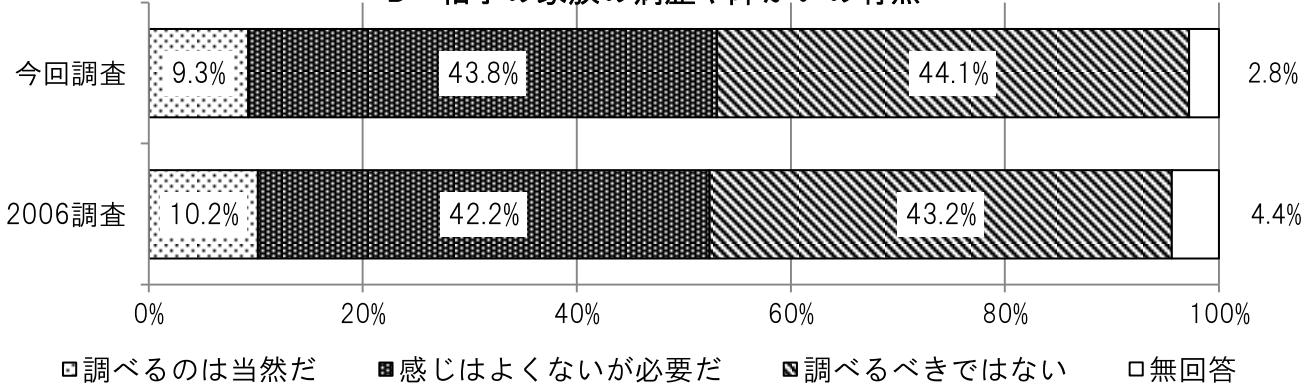
			調べるのは当然だ	感じはよくないが必要だ	調べるべきではない	無回答	計
性別	男性	数	150	277	123	10	560
		%	26.8%	49.5%	22.0%	1.8%	100.0%
性別	女性	数	144	406	152	12	714
		%	20.2%	56.9%	21.3%	1.7%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	10	3	0	15
		%	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	41	47	14	2	104
		%	39.4%	45.2%	13.5%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	38	86	48	0	172
		%	22.1%	50.0%	27.9%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	41	118	57	2	218
		%	18.8%	54.1%	26.1%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	41	100	60	2	203
		%	20.2%	49.3%	29.6%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	44	178	68	3	293
		%	15.0%	60.8%	23.2%	1.0%	100.0%
	70 歳以上	数	90	162	32	13	297
		%	30.3%	54.5%	10.8%	4.4%	100.0%

前回調査との比較では、大きな差は見られない。

性別では、「調べるのは当然だ」で女性より男性のほうが、6.6 ポイント高くなっている。

年齢では、「調べるのは当然だ」で、20 歳代が約 4 割となっており最も高くなっている。次に高いのは 70 歳以上で 3 割である。また、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせると、20 歳代と 70 歳以上が、8 割を超えており。

B 相手の家族の病歴や障がいの有無



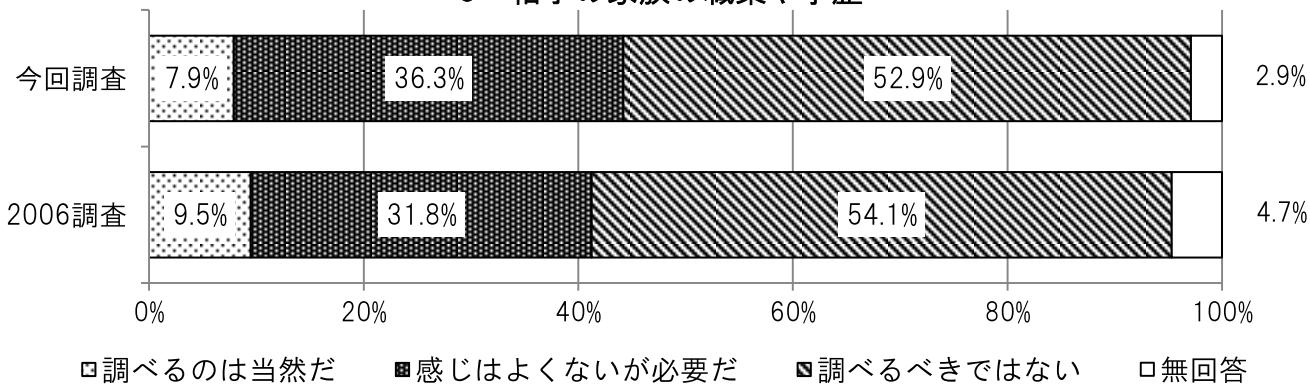
			調べるのは 当然だ	感じはよく ないが必要 だ	調べるべき ではない	無回答	計
性別	男性	数	65	239	243	13	560
		%	11.6%	42.7%	43.4%	2.3%	100.0%
性別	女性	数	54	316	323	21	714
		%	7.6%	44.3%	45.2%	2.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	2	7	6	0	15
		%	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	11	51	41	1	104
		%	10.6%	49.0%	39.4%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	10	71	91	0	172
		%	5.8%	41.3%	52.9%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	12	84	119	3	218
		%	5.5%	38.5%	54.6%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	22	83	94	4	203
		%	10.8%	40.9%	46.3%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	20	130	139	4	293
		%	6.8%	44.4%	47.4%	1.4%	100.0%
	70 歳以上	数	46	142	87	22	297
		%	15.5%	47.8%	29.3%	7.4%	100.0%

前回調査との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「調べるのは当然だ」で、70 歳以上が最も高く 15.5% となっている。また、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせると、20 歳代と 70 歳以上が、6 割前後となっている。

C 相手の家族の職業や学歴



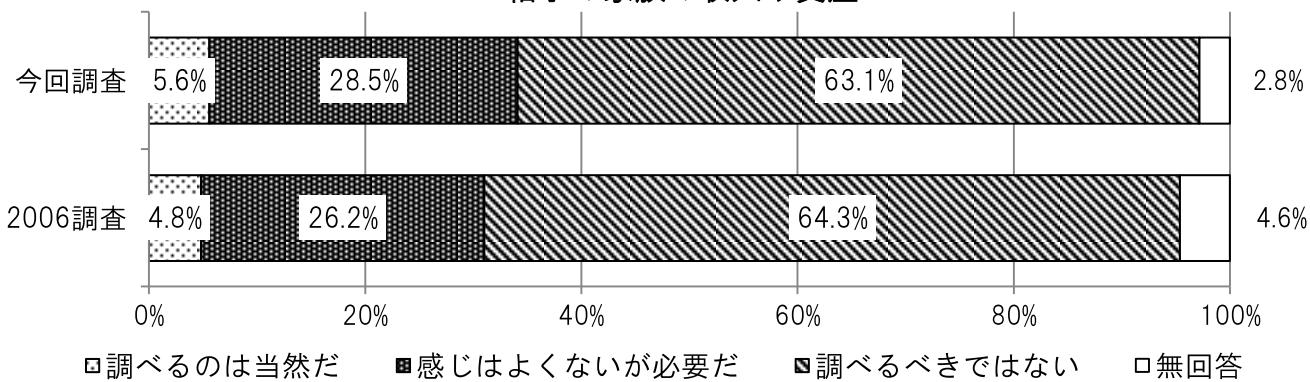
			調べるのは 当然だ	感じはよく ないが必要 だ	調べるべき ではない	無回答	計
性別	男性	数	57	189	299	15	560
		%	10.2%	33.8%	53.4%	2.7%	100.0%
性別	女性	数	45	273	376	20	714
		%	6.3%	38.2%	52.7%	2.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	1	7	7	0	15
		%	6.7%	46.7%	46.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	12	43	47	2	104
		%	11.5%	41.3%	45.2%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	8	63	101	0	172
		%	4.7%	36.6%	58.7%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	13	80	122	3	218
		%	6.0%	36.7%	56.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	17	65	118	3	203
		%	8.4%	32.0%	58.1%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	20	102	167	4	293
		%	6.8%	34.8%	57.0%	1.4%	100.0%
	70 歳以上	数	33	115	126	23	297
		%	11.1%	38.7%	42.4%	7.7%	100.0%

前回調査との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせると、20 歳代と 70 歳以上が 5 割前後となっている。

D 相手の家族の収入や資産



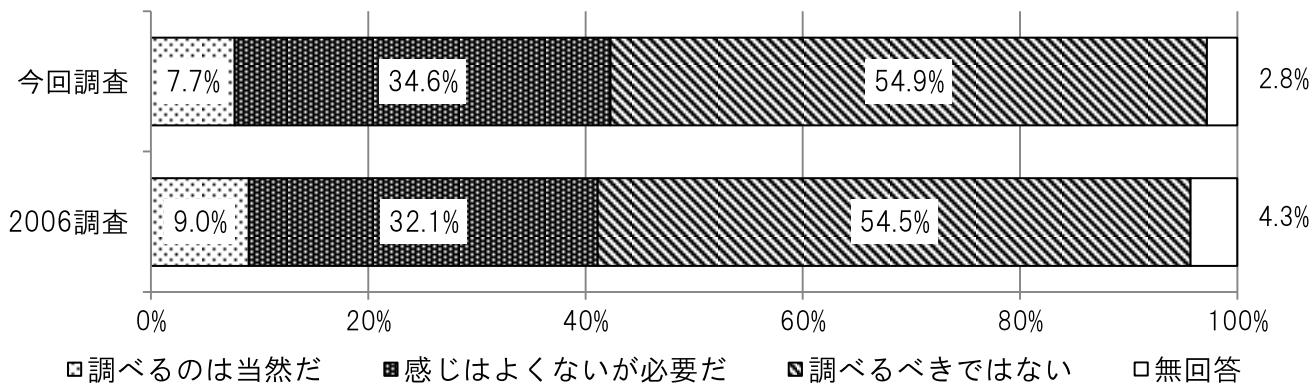
			調べるのは 当然だ	感じはよく ないが必要 だ	調べるべき ではない	無回答	計
性別	男性	数	40	152	353	15	560
		%	7.1%	27.1%	63.0%	2.7%	100.0%
性別	女性	数	31	214	450	19	714
		%	4.3%	30.0%	63.0%	2.7%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	2	2	11	0	15
		%	13.3%	13.3%	73.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	12	44	46	2	104
		%	11.5%	42.3%	44.2%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	7	65	99	1	172
		%	4.1%	37.8%	57.6%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	10	61	144	3	218
		%	4.6%	28.0%	66.1%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	14	51	136	2	203
		%	6.9%	25.1%	67.0%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	11	72	207	3	293
		%	3.8%	24.6%	70.6%	1.0%	100.0%
	70 歳以上	数	19	76	179	23	297
		%	6.4%	25.6%	60.3%	7.7%	100.0%

前回調査との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせると、唯一 20 歳代が 53.8% と 5 割を超えており。次に高いのは、30 歳代で 41.9% と約 4 割となっている。年齢が上がるにつれ、「調べるべきではない」とする割合が高くなる傾向にある。

E 同和地区の人であるかどうか



			調べるのは 当然だ	感じはよく ないが必要 だ	調べるべき ではない	無回答	計
性別	男性	数	52	189	303	16	560
		%	9.3%	33.8%	54.1%	2.9%	100.0%
性別	女性	数	48	252	397	17	714
		%	6.7%	35.3%	55.6%	2.4%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	1	4	10	0	15
		%	6.7%	26.7%	66.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	4	26	71	3	104
		%	3.8%	25.0%	68.3%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	7	50	115	0	172
		%	4.1%	29.1%	66.9%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	9	81	124	4	218
		%	4.1%	37.2%	56.9%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	21	72	109	1	203
		%	10.3%	35.5%	53.7%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	23	109	158	3	293
		%	7.8%	37.2%	53.9%	1.0%	100.0%
	70 歳以上	数	36	107	132	22	297
		%	12.1%	36.0%	44.4%	7.4%	100.0%

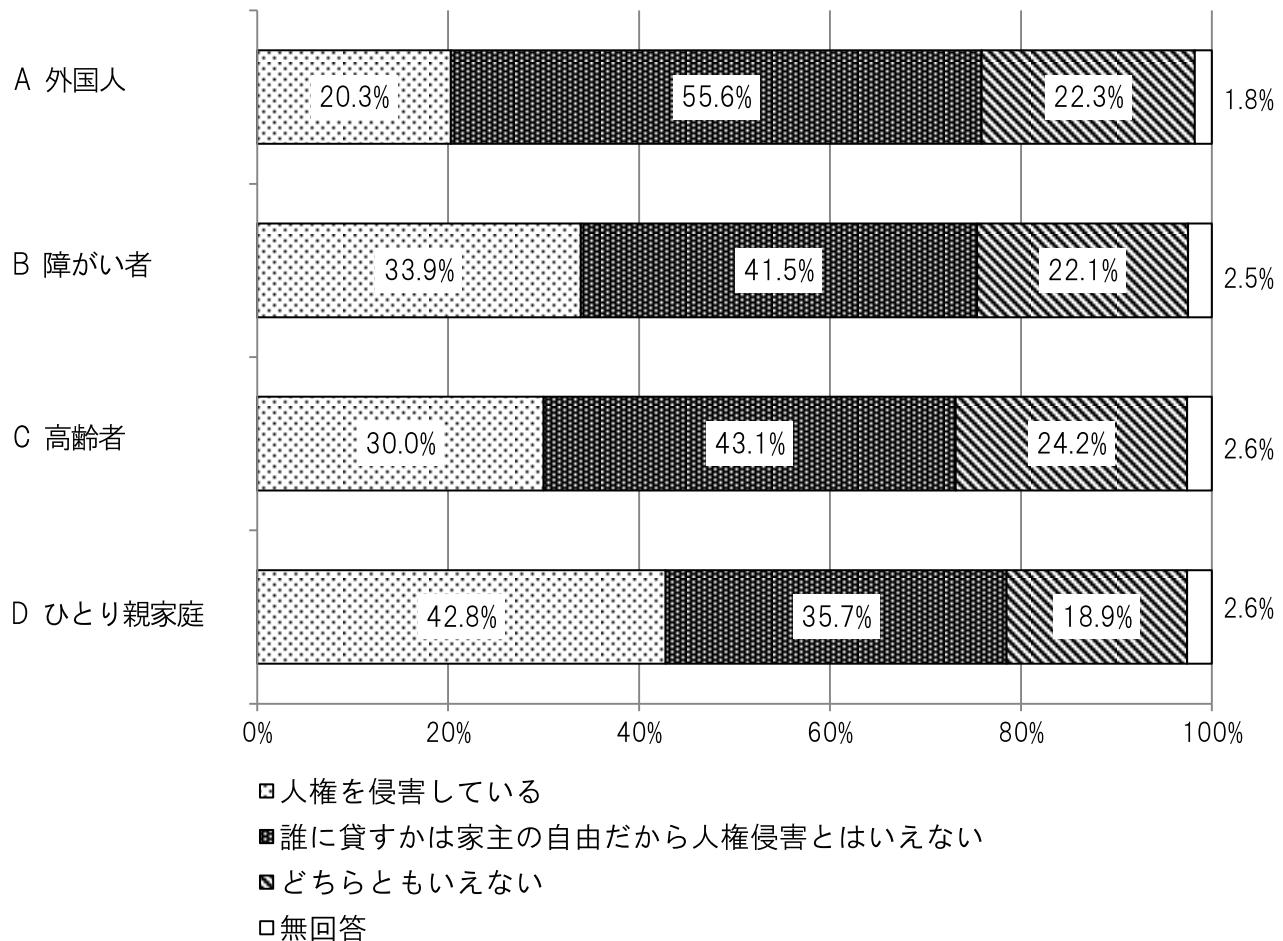
前回調査との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」を合わせると、最も高かったのは、70 歳以上で 48.1%、次いで 50 歳代の 45.8% となっている。年齢が上がるにつれ、同和地区の人か
どうか調べることは必要とする割合が高くなる傾向にある。

問5 家主が賃貸マンションをA～Dの人であることを理由に貸すことを断ることについて、あなたはどう思いますか。

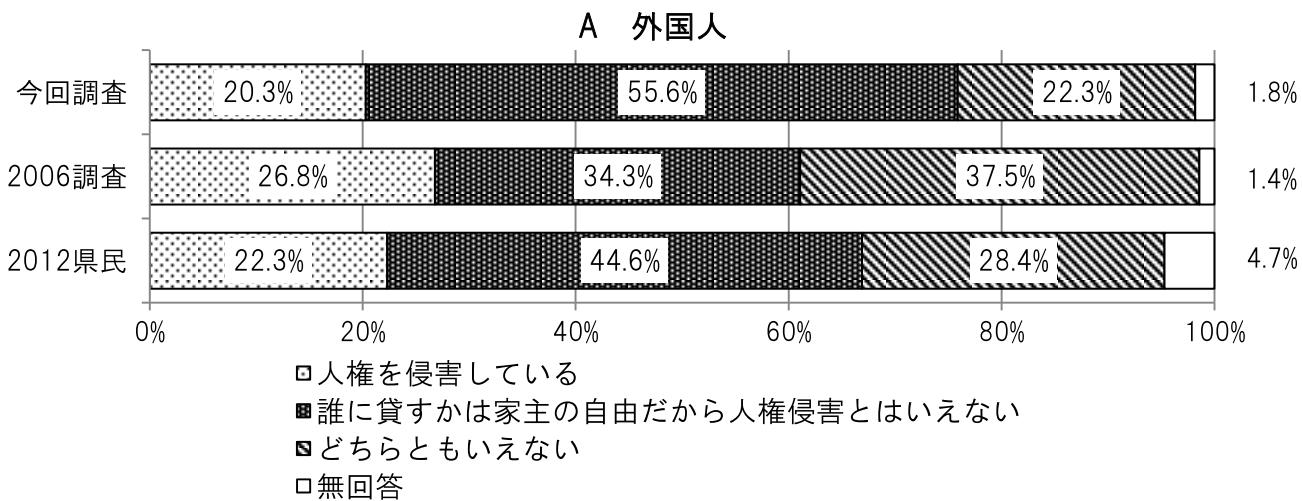
家主による入居拒否への考え方



A～D の「人権を侵害している」について、「A 外国人」20.3%、「B 障がい者」33.9%、「C 高齢者」30.0%、「D ひとり親家庭」42.8%となっている。

「A 外国人」については、唯一 5 割を超える人が「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」としている。

この設問において、「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」という考え方を肯定する人がいることが明らかになった。しかし属性を理由に入居拒否をすることは人権侵害であるため、理解を深めることが必要である。



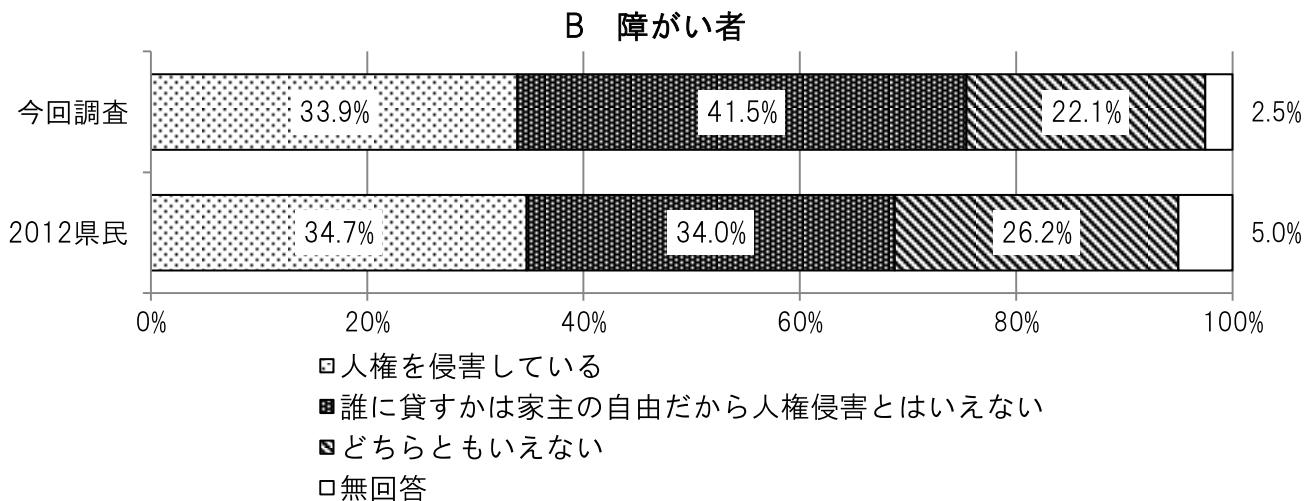
性別			人権を侵害している	誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない	どちらともいえない	無回答	計
			数	%	%		
男性		数	114	323	114	9	560
		%	20.4%	57.7%	20.4%	1.6%	100.0%
女性		数	149	384	169	12	714
		%	20.9%	53.8%	23.7%	1.7%	100.0%
男性・女性と答えることに抵抗を感じる人		数	2	10	3	0	15
		%	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	33	51	17	3	104
		%	31.7%	49.0%	16.3%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	44	109	19	0	172
		%	25.6%	63.4%	11.0%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	46	130	40	2	218
		%	21.1%	59.6%	18.3%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	41	117	44	1	203
		%	20.2%	57.6%	21.7%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	64	153	76	0	293
		%	21.8%	52.2%	25.9%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	数	37	156	89	15	297
		%	12.5%	52.5%	30.0%	5.1%	100.0%

前回調査との比較では、「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」が 21.3 ポイント高くなっている。

「2012 県民」との比較では、「人権を侵害している」ではほとんど差はないが、「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」は今回調査のほうが 11.0 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「人権を侵害している」で 20 歳代が 3 割を超えており、最も割合が低かったのは 70 歳以上で約 1 割だった。

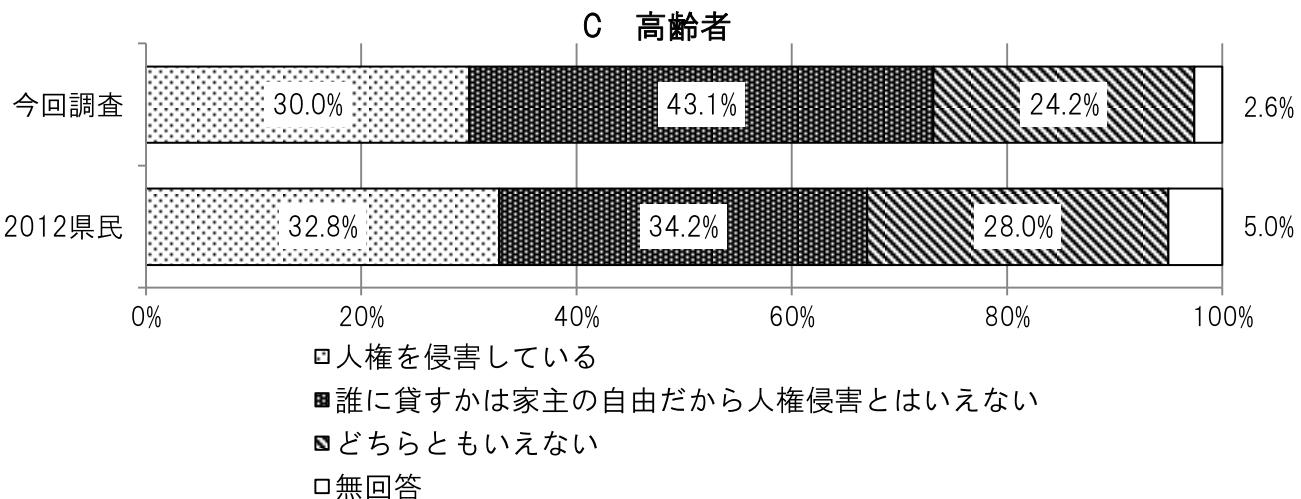


		人權を侵害している	誰に貸すかは家主の自由だから人權侵害とはいえない	どちらともいえない	無回答	計	
性別	男性	数	190	251	108	11	560
		%	33.9%	44.8%	19.3%	2.0%	100.0%
性別	女性	数	249	272	174	19	714
		%	34.9%	38.1%	24.4%	2.7%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	9	3	0	15
		%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	36	46	19	3	104
		%	34.6%	44.2%	18.3%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	63	86	22	1	172
		%	36.6%	50.0%	12.8%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	79	98	40	1	218
		%	36.2%	45.0%	18.3%	0.5%	100.0%
	50 歳代	数	63	90	49	1	203
		%	31.0%	44.3%	24.1%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	113	105	75	0	293
		%	38.6%	35.8%	25.6%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	数	86	109	79	23	297
		%	29.0%	36.7%	26.6%	7.7%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「人權を侵害している」ではほとんど差はないが、「誰に貸すかは家主の自由だから人權侵害とはいえない」は今回調査のほうが 7.5 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「人權を侵害している」では、すべての年齢で 3 割前後となっている。その中で、最も割合が高かったのは、60 歳代の 38.6% で 4 割に近い。

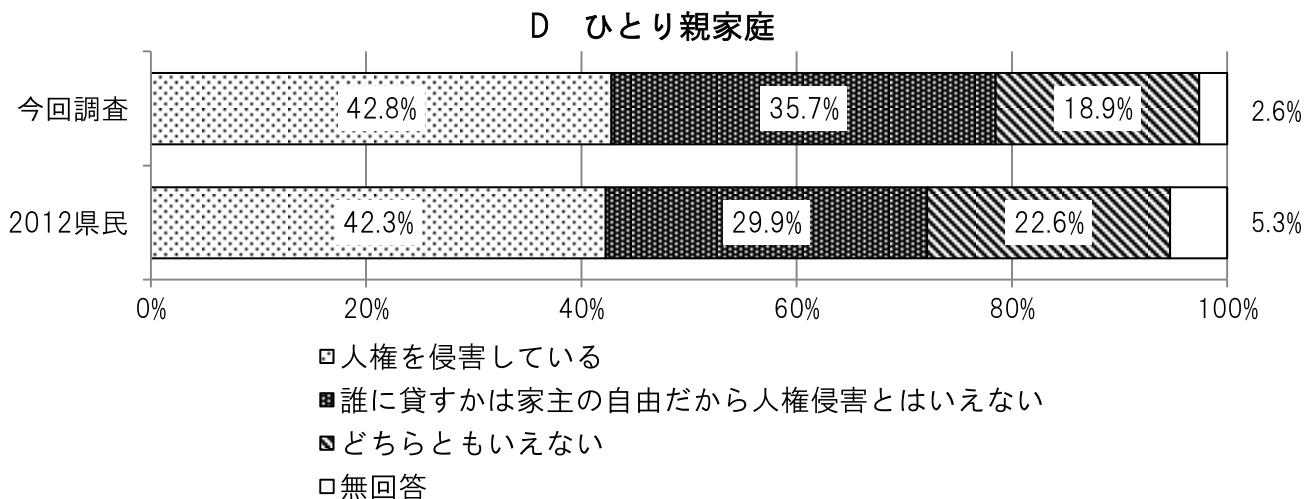


		人権を侵害している	誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない	どちらともいえない	無回答	計	
性別	男性	数	176	256	118	10	560
		%	31.4%	45.7%	21.1%	1.8%	100.0%
性別	女性	数	211	291	191	21	714
		%	29.6%	40.8%	26.8%	2.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	4	9	2	0	15
		%	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	34	48	19	3	104
		%	32.7%	46.2%	18.3%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	57	90	25	0	172
		%	33.1%	52.3%	14.5%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	70	97	49	2	218
		%	32.1%	44.5%	22.5%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	57	91	54	1	203
		%	28.1%	44.8%	26.6%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	97	116	80	0	293
		%	33.1%	39.6%	27.3%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	数	74	116	83	24	297
		%	24.9%	39.1%	27.9%	8.1%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「人権を侵害している」ではほとんど差はないが、「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」は今回調査のほうが 8.9 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「人権を侵害している」は 20 歳代～60 歳代で 3 割前後となっている。また「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」で、30 歳代が唯一 5 割を超えていている。



		人権を侵害している	誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない	どちらともいえない	無回答	計	
性別	男性	数	238	210	100	12	560
		%	42.5%	37.5%	17.9%	2.1%	100.0%
性別	女性	数	313	242	139	20	714
		%	43.8%	33.9%	19.5%	2.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	5	8	2	0	15
		%	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	49	36	17	2	104
		%	47.1%	34.6%	16.3%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	83	77	12	0	172
		%	48.3%	44.8%	7.0%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	93	87	36	2	218
		%	42.7%	39.9%	16.5%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	84	76	42	1	203
		%	41.4%	37.4%	20.7%	0.5%	100.0%
	60 歳代	数	145	91	57	0	293
		%	49.5%	31.1%	19.5%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	数	101	93	77	26	297
		%	34.0%	31.3%	25.9%	8.8%	100.0%

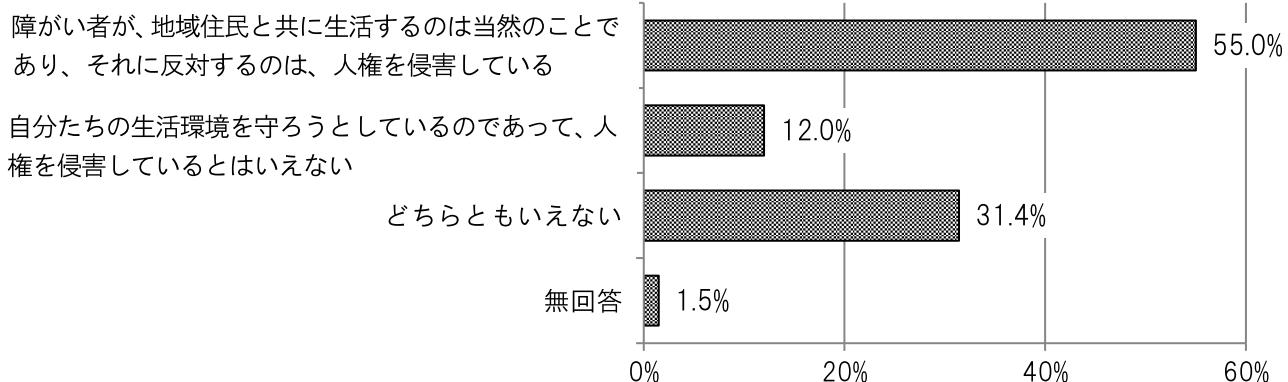
「2012 県民」との比較では、「人権を侵害している」ではほとんど差はないが、「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」は今回調査のほうが 5.8 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「人権を侵害している」は 20 歳代～60 歳代で 4 割を超えており、また「誰に貸すかは家主の自由だから人権侵害とはいえない」で、30 歳代が唯一 4 割を超えており。

問6 ある市が、住宅地域の中心に、障がい者が利用する生活施設の建設を計画したところ、地元の住民から反対運動が起こりました。こうした住民の態度について、あなたはどう思いますか。

障がい者の人権



		障がい者が、地域住民と共に生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している	自分たちの生活環境を守ろうとしているのであって、人権を侵害しているとはいえない	どちらともいえない	無回答	計	
性別	男性	数	321	67	166	6	560
		%	57.3%	12.0%	29.6%	1.1%	100.0%
	女性	数	382	87	233	12	714
		%	53.5%	12.2%	32.6%	1.7%	100.0%
年齢	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	2	7	0	15
		%	40.0%	13.3%	46.7%	0.0%	100.0%
	20歳代	数	50	14	39	1	104
		%	48.1%	13.5%	37.5%	1.0%	100.0%
	30歳代	数	81	33	58	0	172
		%	47.1%	19.2%	33.7%	0.0%	100.0%
	40歳代	数	100	27	89	2	218
		%	45.9%	12.4%	40.8%	0.9%	100.0%
	50歳代	数	119	23	60	1	203
		%	58.6%	11.3%	29.6%	0.5%	100.0%
	60歳代	数	181	27	84	1	293
		%	61.8%	9.2%	28.7%	0.3%	100.0%
	70歳以上	数	179	32	73	13	297
		%	60.3%	10.8%	24.6%	4.4%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「障がい者が、地域住民と共に生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」は、60歳代、70歳以上が6割を超えてい。

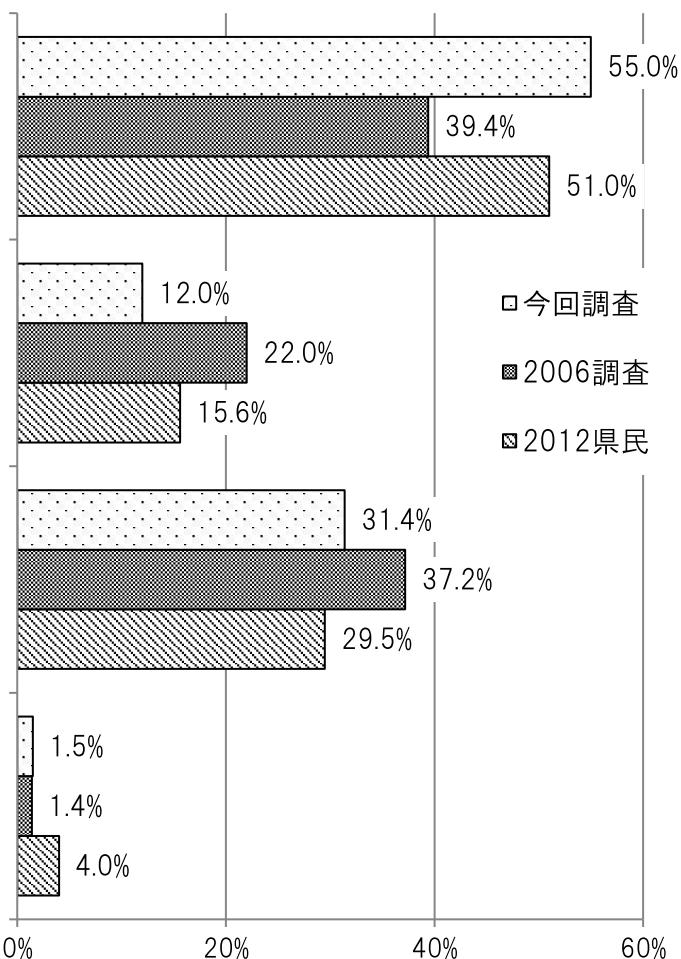
障がい者の人権

障がい者が、地域住民と共に生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している

自分たちの生活環境を守ろうとしているのであって、人権を侵害しているとはいえない

どちらともいえない

無回答



設問の「障がい者」が、前回調査では「精神障がい者」、「2012 県民」では「知的障がい者」となっているため、正確な比較とはならないが「障がい者」に対しての考え方の違いを捉えるために比較検討をしている。

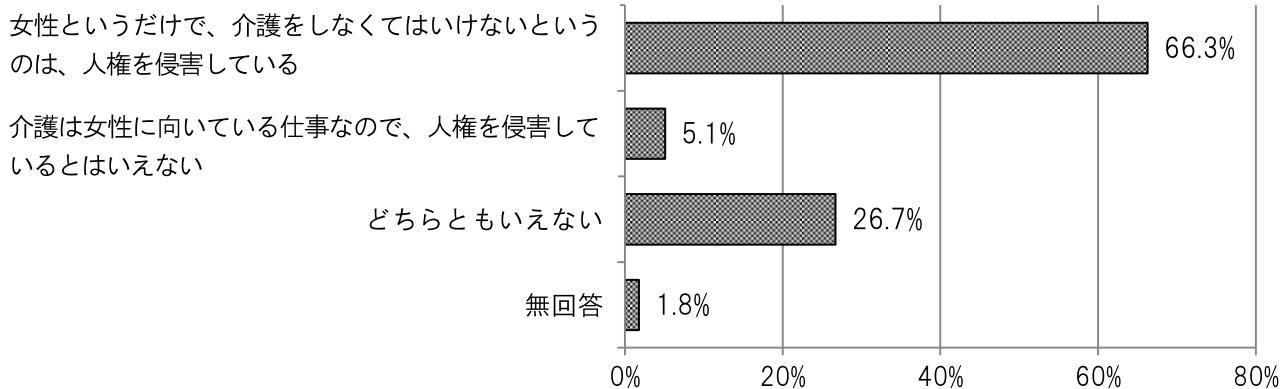
前回調査との比較では、「障がい者が、地域住民と共に生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」が、15.6 ポイント高くなっている。

「2012 県民」との比較では、「障がい者が、地域住民と共に生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」は今回調査のほうが 4 ポイント高くなっている。

このような反対運動は、障がい者やその家族が地域の中で生活することを拒むことにつながる。人権のまちづくりの視点からみても、多様な人が住む地域社会の中で豊かな関係性を築くことを阻むことになる。前回調査との比較では、大きな差があった。また「2012 県民」との比較では大きな差があるとはいえないが、「人権を侵害している」が「2012 県民」より 4 ポイント高くなっている。いずれも今回調査のほうが「人権を侵害している」とするポイントが高くなっている。このように、反対運動をするのは「人権侵害だ」とする市民の増加は、市民の人権意識向上や人権啓発の取組によるものといえる。

問7 ある家族で、身体が不自由になった父親の介護を誰がするかで、意見が分かれました。男性は、介護のような仕事は女性がするべきだと主張し、結局男性の妻と妹が世話をすることになりました。このような男性の態度について、あなたはどう思いますか。

固定的性別役割分担に対する意識

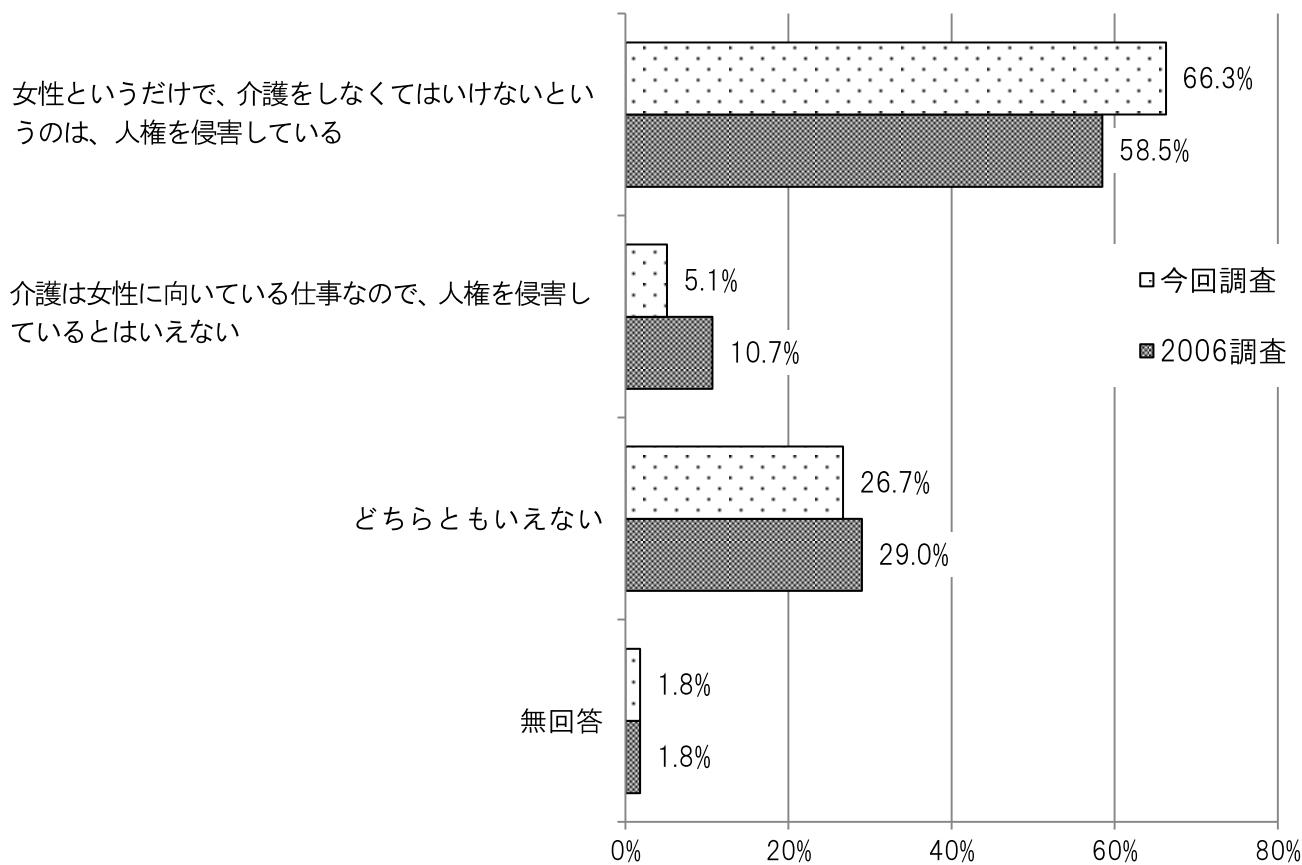


		女性というだけで、介護をしなくてはいけないというのは、人権を侵害している	介護は女性に向いている仕事なので、人権を侵害しているとはいえない	どちらともいえない	無回答	計	
性別	男性	数	340	32	181	7	560
	%	60.7%	5.7%	32.3%	1.3%	100.0%	
性別	女性	数	509	35	157	13	714
	%	71.3%	4.9%	22.0%	1.8%	100.0%	
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	9	0	5	1	15
	%	60.0%	0.0%	33.3%	6.7%	100.0%	
年齢	20 歳代	数	83	4	15	2	104
		%	79.8%	3.8%	14.4%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	1028	4	38	2	1072
		%	95.9%	0.4%	3.5%	0.2%	100.0%
	40 歳代	数	159	6	50	3	218
		%	72.9%	2.8%	22.9%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	143	8	50	2	203
		%	70.4%	3.9%	24.6%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	185	20	84	4	293
		%	63.1%	6.8%	28.7%	1.4%	100.0%
	70 歳以上	数	158	25	106	8	297
		%	53.2%	8.4%	35.7%	2.7%	100.0%

性別では、「女性というだけで、介護をしなくてはいけないというのは、人権を侵害している」で男性より女性のほうが、10.6 ポイント高い。

年齢では、「女性というだけで、介護をしなくてはいけないというのは、人権を侵害している」は、唯一 30 歳代が 9 割を超えており、一番割合が低い 70 歳以上とは 42.7 ポイント差がある。

固定的性別役割分担に対する意識



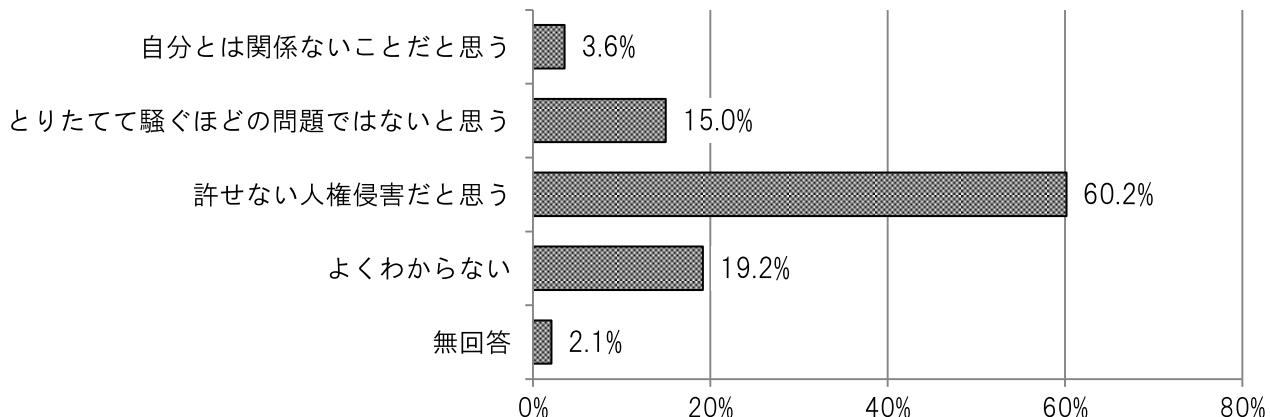
前回調査との比較では、「女性というだけで、介護をしなくてはいけないというのは、人権を侵害している」が、7.8 ポイント高くなっている。

男女共同参画社会といわれて数十年が経ち、社会意識として男の仕事、女の仕事というように決めつけることからの脱却が見られる。家事・育児・介護は「女性の仕事」という決めつけから、家庭内の役割分担であるという教育・啓発の成果が現れていると考えられる。

しかし、年齢で見てみると、「女性というだけで、介護をしなくてはいけないというのは、人権を侵害している」で、70歳以上では53.2%と約5割にとどまっている。60歳代では63.1%と約6割となっており、この世代においては「どちらともいえない」とする人が3割前後となっている。

問8-1 インターネット上で、他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの情報が掲載されることがあります。このようなことについて、あなたはどう思いますか。

インターネット上の人権侵害に対する意識

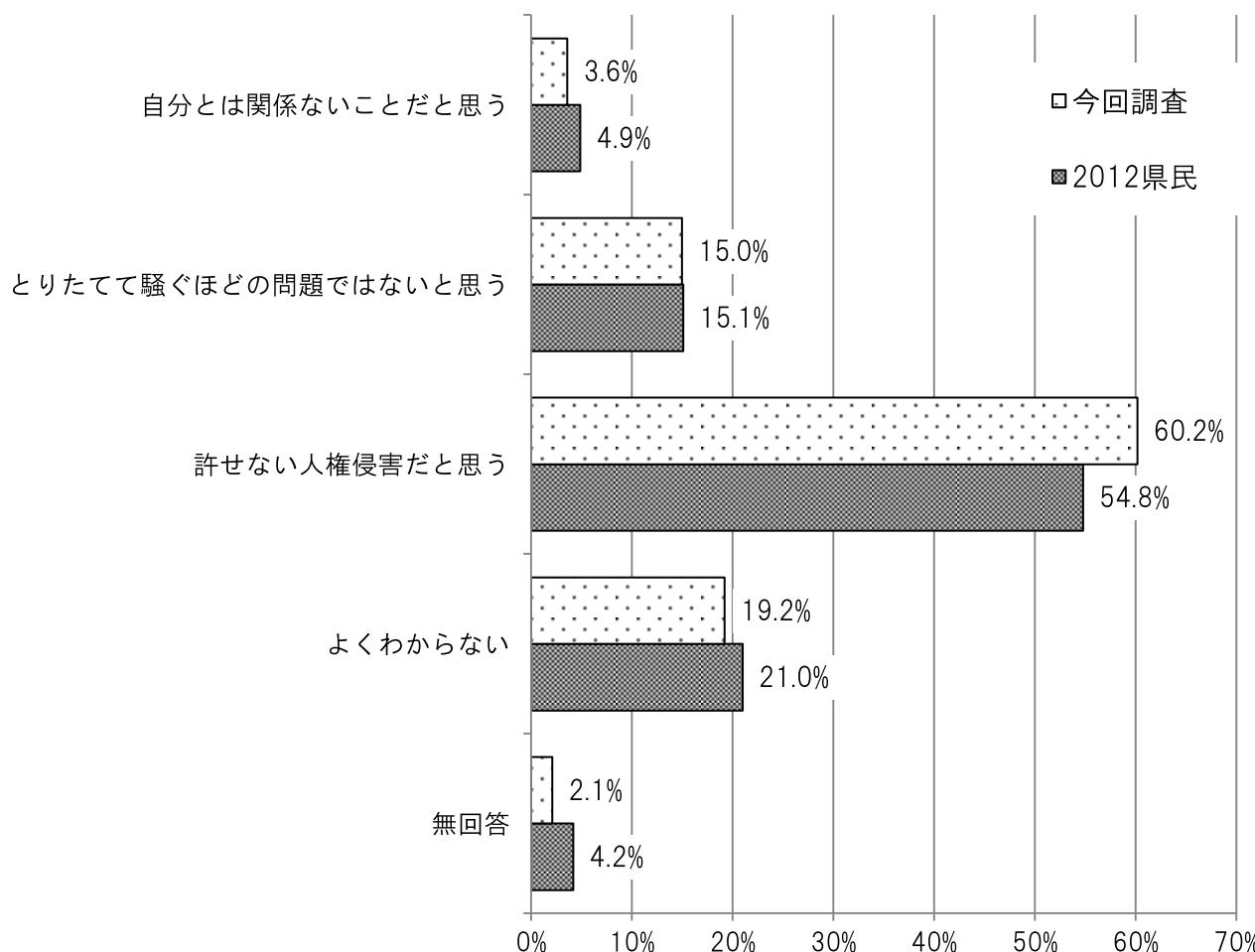


		自分とは関係ないことだと思う	とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う	許せない人権侵害だと思う	よくわからない	無回答	計	
性別	男性	数	22	94	347	88	9	560
	女性	%	3.9%	16.8%	62.0%	15.7%	1.6%	100.0%
年齢	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	0	0	14	1	0	15
	性別	%	0.0%	0.0%	93.3%	6.7%	0.0%	100.0%
性別	20 歳代	数	5	32	49	15	3	104
	20 歳代	%	4.8%	30.8%	47.1%	14.4%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	9	37	92	33	1	172
	30 歳代	%	5.2%	21.5%	53.5%	19.2%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	9	36	129	39	5	218
	40 歳代	%	4.1%	16.5%	59.2%	17.9%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	11	23	128	39	2	203
	50 歳代	%	5.4%	11.3%	63.1%	19.2%	1.0%	100.0%
	60 歳代	数	4	30	207	49	3	293
	60 歳代	%	1.4%	10.2%	70.6%	16.7%	1.0%	100.0%
	70 歳以上	数	8	37	171	71	10	297
	70 歳以上	%	2.7%	12.5%	57.6%	23.9%	3.4%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」は、20 歳代が最も高く 30.8% と約 3 割が問題ではないとしている。次に 30 歳代が 21.5% と続き、若い世代が「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」とする意識が他の年齢より高くなっている。「許せない人権侵害だと思う」は、最も高かったのは 60 歳代で約 7 割になっている。

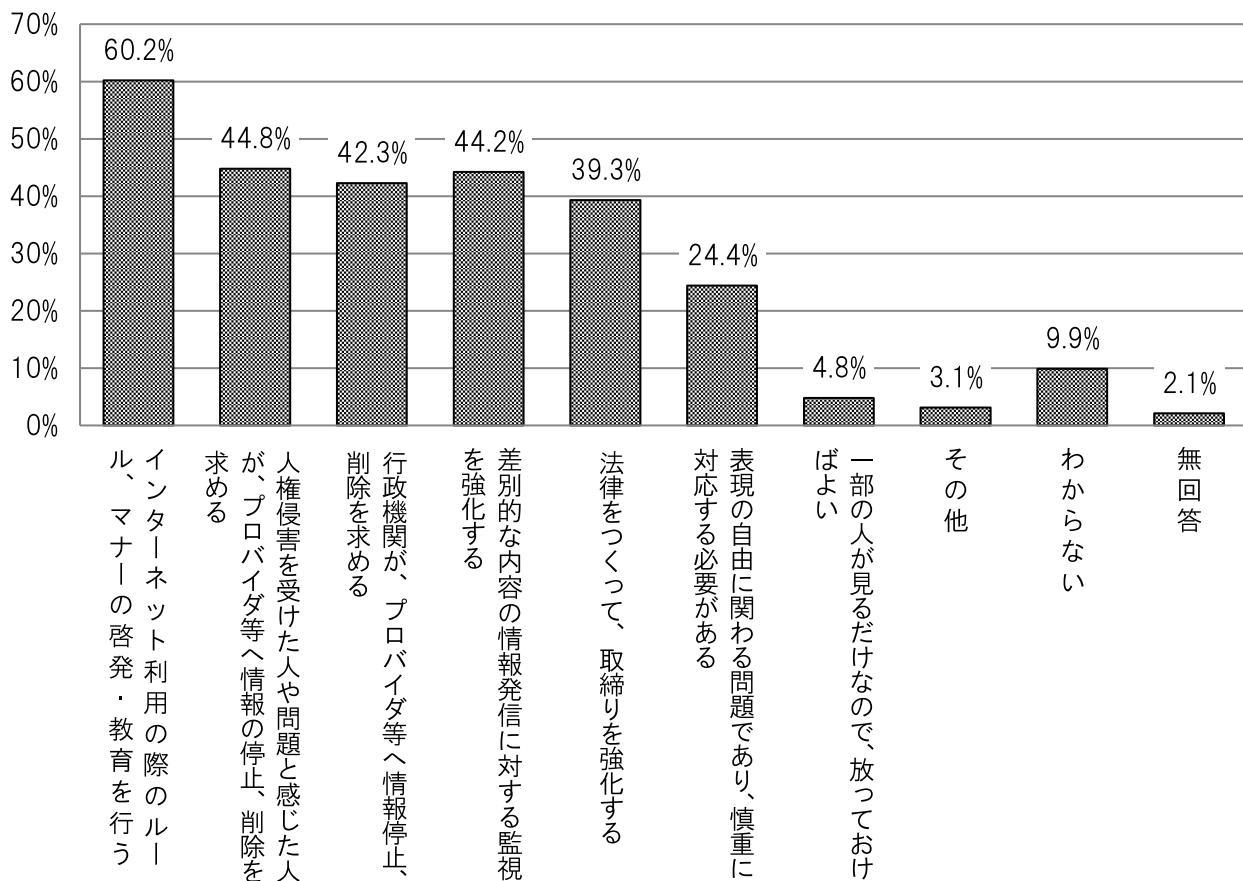
インターネット上の人権侵害に対する意識



「2012 県民」との比較では、「許せない人権侵害だと思う」は、今回調査のほうが 5.4 ポイント高くなっている。

問 8-2 インターネット上での差別的な書き込みなどを解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

インターネット上で人権侵害に対する解決に必要なこと



インターネット上の差別的な書き込みなどを解決するために必要なことについて、「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」が最も高く、6割に達している。次いで、「人権侵害を受けた人や問題と感じた人が、プロバイダ等へ情報の停止、削除を求める」44.8%、「差別的な内容の情報発信に対する監視を強化する」44.2%、「行政機関が、プロバイダ等へ情報停止、削除を求める」42.3%と4割を超えており、また、「法律をつくって、取締りを強化する」は39.3%と約4割となっている。

また、「法律をつくって、取締りを強化する」は39.3%と約4割となっている。

		インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う	人権侵害を受けた人や問題と感じた人がプロバイダ等へ情報の停止、削除を求める	行政機関が、プロバイダ等へ情報停止、削除を求める	差別的な内容の情報発信に対する監視を強化する	法律をつくって、取締りを強化する	表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応する必要がある	一部の人が見るだけなので放つておけばよい	その他	わからない	無回答	計	
性別	男性	数	334	263	260	263	244	138	25	25	48	6	560
		%	59.6%	47.0%	46.4%	47.0%	43.6%	24.6%	4.5%	4.5%	8.6%	1.1%	100.0%
	女性	数	433	312	282	303	258	171	35	16	78	20	714
		%	60.6%	43.7%	39.5%	42.4%	36.1%	23.9%	4.9%	2.2%	10.9%	2.8%	100.0%
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	13	8	8	9	8	5	0	0	0	0	15
		%	86.7%	53.3%	53.3%	60.0%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20歳代	数	67	55	49	40	20	36	9	8	3	1	104
		%	64.4%	52.9%	47.1%	38.5%	19.2%	34.6%	8.7%	7.7%	2.9%	1.0%	100.0%
	30歳代	数	115	88	72	75	72	55	7	11	8	1	172
		%	66.9%	51.2%	41.9%	43.6%	41.9%	32.0%	4.1%	6.4%	4.7%	0.6%	100.0%
	40歳代	数	149	122	105	117	96	55	12	6	10	2	218
		%	68.3%	56.0%	48.2%	53.7%	44.0%	25.2%	5.5%	2.8%	4.6%	0.9%	100.0%
	50歳代	数	123	100	100	103	86	48	10	5	16	2	203
		%	60.6%	49.3%	49.3%	50.7%	42.4%	23.6%	4.9%	2.5%	7.9%	1.0%	100.0%
	60歳代	数	180	126	126	137	139	61	10	6	26	6	293
		%	61.4%	43.0%	43.0%	46.8%	47.4%	20.8%	3.4%	2.0%	8.9%	2.0%	100.0%
	70歳以上	数	142	93	97	103	96	57	12	5	64	13	297
		%	47.8%	31.3%	32.7%	34.7%	32.3%	19.2%	4.0%	1.7%	21.5%	4.4%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、すべての年齢で最も高かったのは「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」で20歳代～60歳代は6割を超えており、70歳以上は4割強だった。

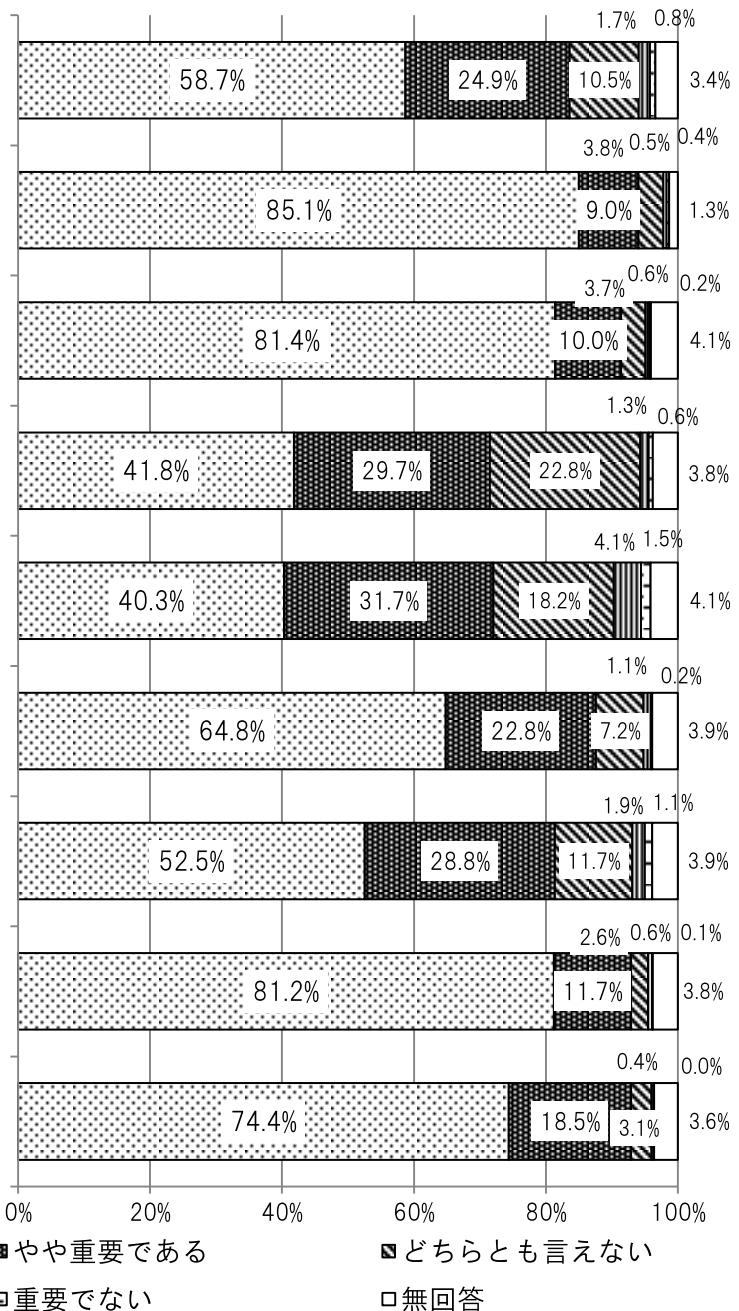
20歳代～40歳代で2番目に高かったのは、「人権侵害を受けた人や問題と感じた人が、プロバイダ等へ情報の停止、削除を求める」で5割を超えていた。50歳代と70歳以上で2番目に高かったのは「差別的な内容の情報発信に対する監視を強化する」で50歳代が約5割、70歳以上が約3割であった。60歳代で2番目に高かったのは「法律をつくって、取締りを強化する」47.4%と4割強となっている。

インターネット上の人権侵害について消極的な「表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応する必要がある」や「一部の人が見るだけなので、放つておけばよい」が解決に必要なことだとする20歳代が他の年齢に比べていずれも高くなっている。

問 9 企業の社会的責任について、次のA～Iの項目について、あなたの考えに近い回答の数字に1つだけ○をつけてください。

企業の社会的責任に対する意識

A 差別のない公正な採用



□ 重要である

■ やや重要である

■ どちらとも言えない

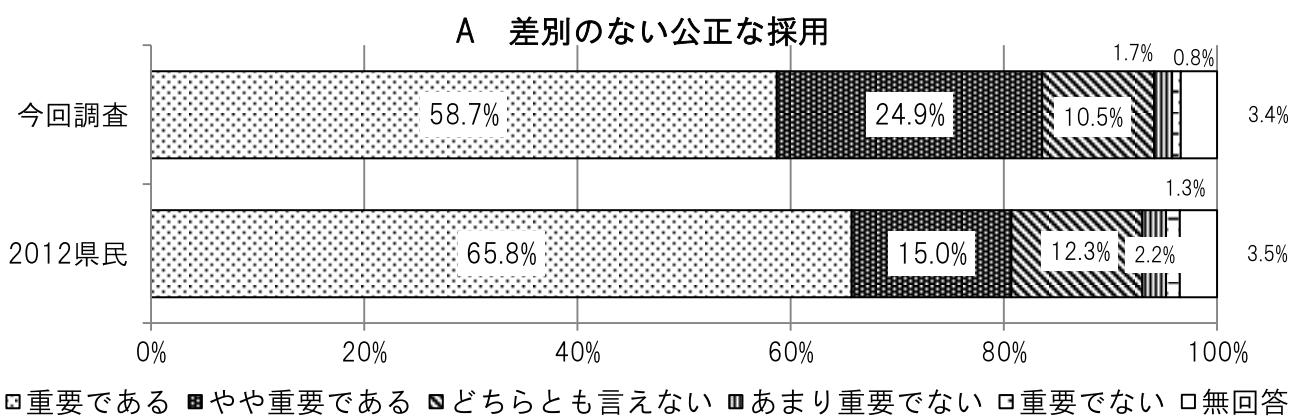
■ あまり重要でない

□ 重要でない

□ 無回答

企業の社会的責任について、「重要である」「やや重要である」を合わせると、最も割合が高かったのは、「B 男女間の公平な処遇」94.1%、2番目は「H 製品・サービスの安全性」「I 環境への配慮」いずれも92.9%、4番目は「C 顧客の個人情報の適切な管理」91.4%となっている。最も割合が低かったのは「D 障がい者雇用」71.5%となっている。

社会的責任の国際規格であるISO26000が2010年(平成22年)11月に発行されている。この規格では「人権」が中核であり、企業のみならず組織等が持続可能な発展をするために、社会的責任を担うことが社会のためになるとしている。しかし「E 社員を対象とした人権研修」は72.0%と、2番目に低い割合となっており、企業の社会的責任と人権の関係性を市民に周知する必要がある。



□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

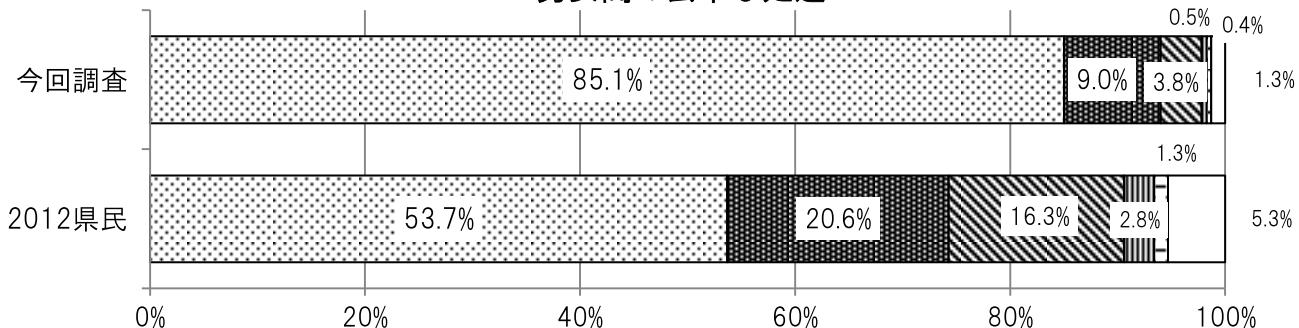
			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	325	136	63	11	7	18	560
		%	58.0%	24.3%	11.3%	2.0%	1.3%	3.2%	100.0%
性別	女性	数	420	184	73	10	2	25	714
		%	58.8%	25.8%	10.2%	1.4%	0.3%	3.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	13	2	0	0	0	0	15
		%	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	63	22	12	2	3	2	104
		%	60.6%	21.2%	11.5%	1.9%	2.9%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	105	43	20	1	2	1	172
		%	61.0%	25.0%	11.6%	0.6%	1.2%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	117	60	30	5	2	4	218
		%	53.7%	27.5%	13.8%	2.3%	0.9%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	116	55	23	3	2	4	203
		%	57.1%	27.1%	11.3%	1.5%	1.0%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	179	81	27	0	0	6	293
		%	61.1%	27.6%	9.2%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%
	70 歳以上	数	176	59	23	10	2	27	297
		%	59.3%	19.9%	7.7%	3.4%	0.7%	9.1%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 2.8 ポイント高くなっている。

性別では、「男性・女性」での性別では大きな差は見られないが、「男性・女性と答えることに抵抗を感じる人」が「重要である」「やや重要である」を合わせると 100%が回答している。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、すべての年齢で 8 割前後となっている。その中で最も割合が高かったのは、60 歳代で 88.7% と 9 割近くになっている。

B 男女間の公平な処遇



□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

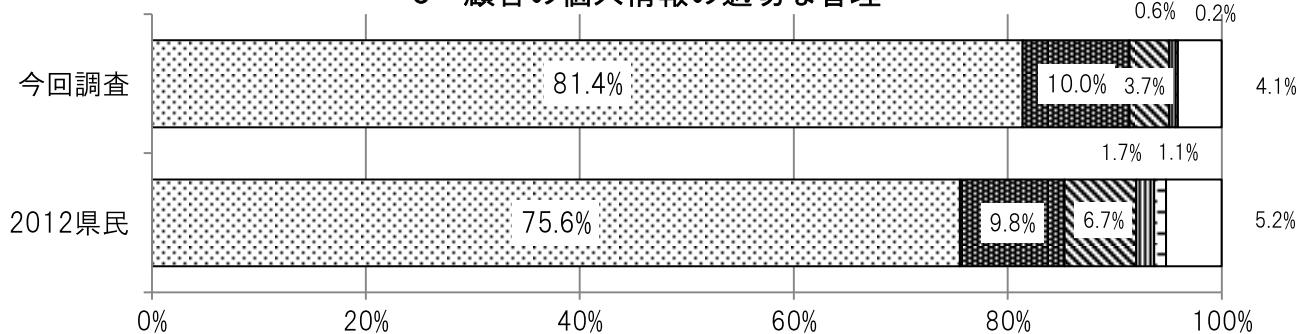
			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	470	52	24	4	4	6	560
		%	83.9%	9.3%	4.3%	0.7%	0.7%	1.1%	100.0%
性別	女性	数	614	63	23	2	1	11	714
		%	86.0%	8.8%	3.2%	0.3%	0.1%	1.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	12	1	2	0	0	0	15
		%	80.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	96	5	0	0	3	0	104
		%	92.3%	4.8%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	151	15	6	0	0	0	172
		%	87.8%	8.7%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	190	20	5	0	1	2	218
		%	87.2%	9.2%	2.3%	0.0%	0.5%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	178	17	8	0	0	0	203
		%	87.7%	8.4%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	60 歳代	数	244	31	15	2	0	1	293
		%	83.3%	10.6%	5.1%	0.7%	0.0%	0.3%	100.0%
	70 歳以上	数	236	28	14	4	1	14	297
		%	79.5%	9.4%	4.7%	1.3%	0.3%	4.7%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 19.8 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、すべての年齢で 9 割前後となっている。「重要である」だけみると、年齢が上がるごとに割合が低くなる傾向にある。

C 顧客の個人情報の適切な管理



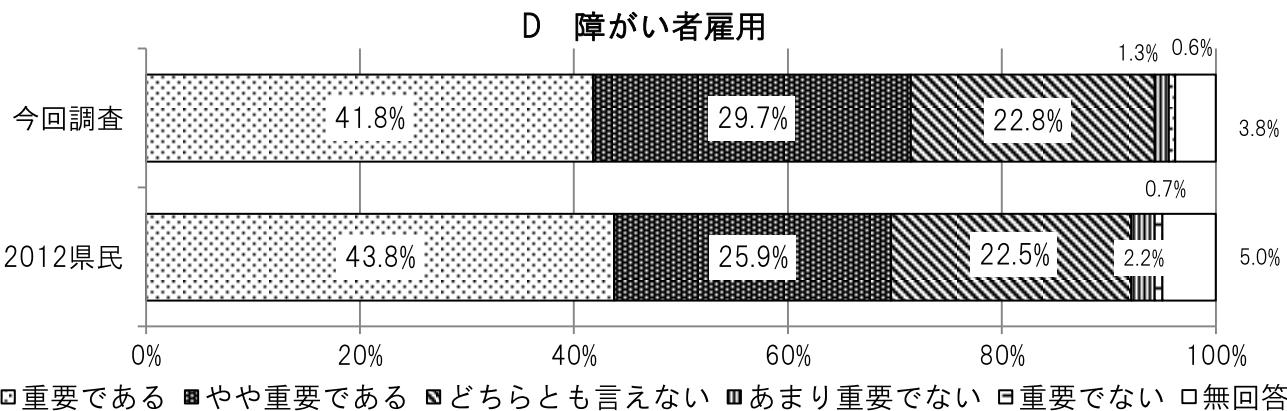
□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	450	64	17	2	3	24	560
		%	80.4%	11.4%	3.0%	0.4%	0.5%	4.3%	100.0%
性別	女性	数	587	62	31	6	0	28	714
		%	82.2%	8.7%	4.3%	0.8%	0.0%	3.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	13	2	0	0	0	0	15
		%	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	91	8	2	0	1	2	104
		%	87.5%	7.7%	1.9%	0.0%	1.0%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	156	12	3	0	0	1	172
		%	90.7%	7.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	190	19	5	0	0	4	218
		%	87.2%	8.7%	2.3%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	175	14	9	0	1	4	203
		%	86.2%	6.9%	4.4%	0.0%	0.5%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	230	43	13	1	0	6	293
		%	78.5%	14.7%	4.4%	0.3%	0.0%	2.0%	100.0%
	70 歳以上	数	207	30	16	7	1	36	297
		%	69.7%	10.1%	5.4%	2.4%	0.3%	12.1%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 6.0 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 9 割を超えている。70 歳以上だけ 79.8% と約 8 割になっている。



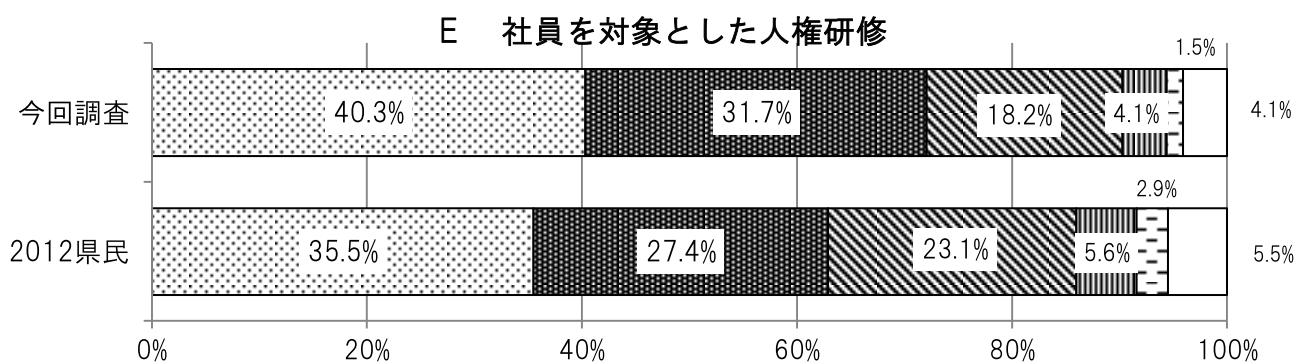
□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	231	171	127	8	4	19	560
		%	41.3%	30.5%	22.7%	1.4%	0.7%	3.4%	100.0%
性別	女性	数	307	205	162	9	3	28	714
		%	43.0%	28.7%	22.7%	1.3%	0.4%	3.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに対する抵抗感	数	5	5	5	0	0	0	15
		%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	47	28	23	2	2	2	104
		%	45.2%	26.9%	22.1%	1.9%	1.9%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	70	53	43	3	2	1	172
		%	40.7%	30.8%	25.0%	1.7%	1.2%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	77	80	54	4	1	2	218
		%	35.3%	36.7%	24.8%	1.8%	0.5%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	99	55	41	2	2	4	203
		%	48.8%	27.1%	20.2%	1.0%	1.0%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	134	86	65	0	1	7	293
		%	45.7%	29.4%	22.2%	0.0%	0.3%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	114	79	66	6	0	32	297
		%	38.4%	26.6%	22.2%	2.0%	0.0%	10.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 7 割を超えており、70 歳以上だけ 65.0% となっている。



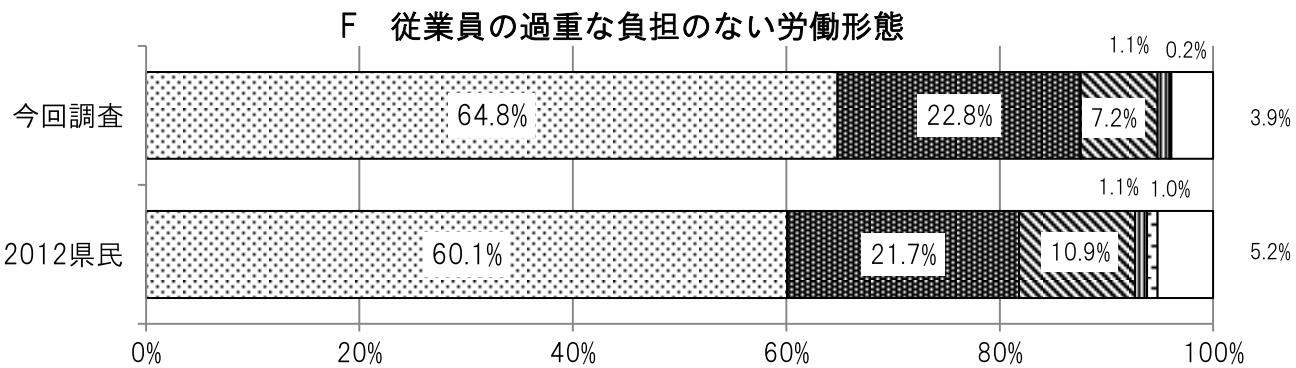
□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

		重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計	
性別	男性	数	216	179	100	31	11	23	560
		%	38.6%	32.0%	17.9%	5.5%	2.0%	4.1%	100.0%
性別	女性	数	299	222	135	23	7	28	714
		%	41.9%	31.1%	18.9%	3.2%	1.0%	3.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	8	6	0	0	0	1	15
		%	53.3%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	37	36	20	7	2	2	104
		%	35.6%	34.6%	19.2%	6.7%	1.9%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	58	62	40	8	3	1	172
		%	33.7%	36.0%	23.3%	4.7%	1.7%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	88	72	42	9	2	5	218
		%	40.4%	33.0%	19.3%	4.1%	0.9%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	88	62	39	6	4	4	203
		%	43.3%	30.5%	19.2%	3.0%	2.0%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	138	87	48	11	2	7	293
		%	47.1%	29.7%	16.4%	3.8%	0.7%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	113	85	47	13	6	33	297
		%	38.0%	28.6%	15.8%	4.4%	2.0%	11.1%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 9.1 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 7 割前後だが、70 歳以上だけ 66.6% と最も低かった。最も割合が高かったのは、60 歳代で 76.8% となっている。70 歳以上を除く年齢で見てみると、年齢が上がるにつれ人権研修が重要であるという割合が高くなる傾向にある。



□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない □あまり重要でない □重要でない □無回答

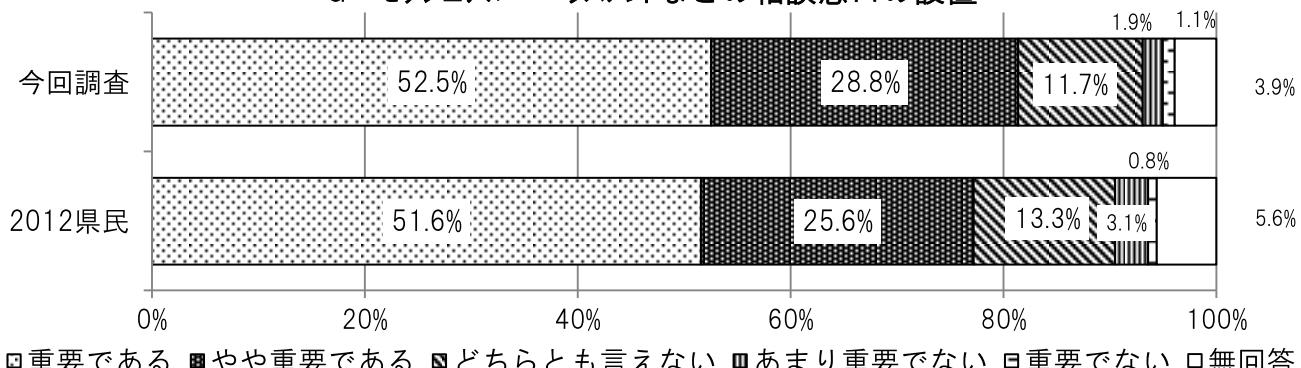
			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	338	143	51	9	2	17	560
		%	60.4%	25.5%	9.1%	1.6%	0.4%	3.0%	100.0%
性別	女性	数	484	150	42	5	1	32	714
		%	67.8%	21.0%	5.9%	0.7%	0.1%	4.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人	数	14	1	0	0	0	0	15
		%	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	81	17	4	0	1	1	104
		%	77.9%	16.3%	3.8%	0.0%	1.0%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	130	32	7	2	0	1	172
		%	75.6%	18.6%	4.1%	1.2%	0.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	147	55	10	3	0	3	218
		%	67.4%	25.2%	4.6%	1.4%	0.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	139	47	11	1	1	4	203
		%	68.5%	23.2%	5.4%	0.5%	0.5%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	174	79	31	2	0	7	293
		%	59.4%	27.0%	10.6%	0.7%	0.0%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	163	64	30	6	1	33	297
		%	54.9%	21.5%	10.1%	2.0%	0.3%	11.1%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 5.8 ポイント高くなっている。

性別では、「男性・女性」での性別では大きな差は見られないが、「男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人」が「重要である」「やや重要である」を合わせると 100%が回答している。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～50 歳代で 9 割を超えており。最も割合が低いのは 70 歳以上で 76.4% となっている。「重要である」だけみると、年齢が上がるごとに割合が低くなる傾向にある。

G セクシュアル・ハラスメントなどの相談窓口の設置



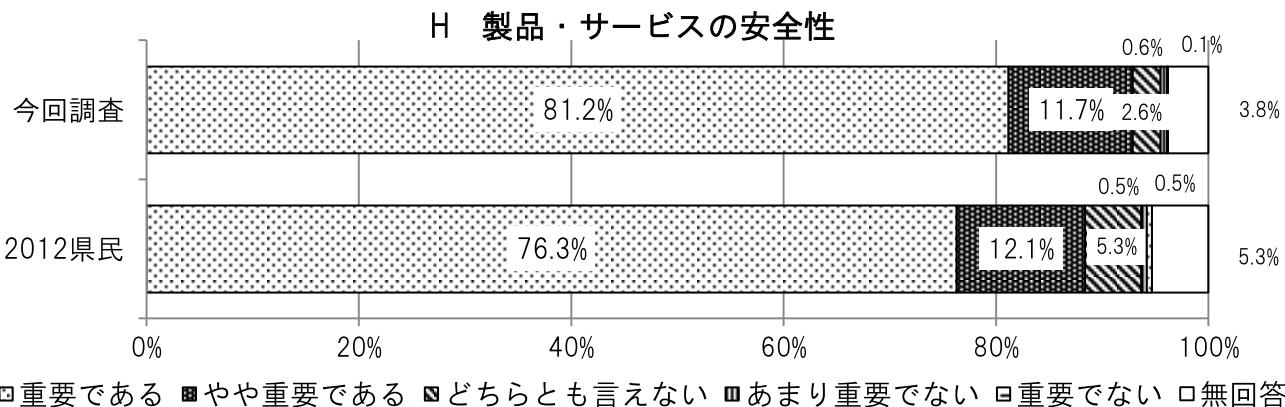
□重要である ■やや重要である ▨どちらとも言えない ▨あまり重要でない □重要でない □無回答

			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	283	175	58	14	11	19	560
		%	50.5%	31.3%	10.4%	2.5%	2.0%	3.4%	100.0%
性別	女性	数	386	191	93	10	4	30	714
		%	54.1%	26.8%	13.0%	1.4%	0.6%	4.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人	数	11	3	1	0	0	0	15
		%	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	54	38	9	0	1	2	104
		%	51.9%	36.5%	8.7%	0.0%	1.0%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	88	57	20	3	3	1	172
		%	51.2%	33.1%	11.6%	1.7%	1.7%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	124	62	23	6	0	3	218
		%	56.9%	28.4%	10.6%	2.8%	0.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	120	53	22	2	3	3	203
		%	59.1%	26.1%	10.8%	1.0%	1.5%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	172	78	27	5	3	8	293
		%	58.7%	26.6%	9.2%	1.7%	1.0%	2.7%	100.0%
	70 歳以上	数	119	81	52	8	5	32	297
		%	40.1%	27.3%	17.5%	2.7%	1.7%	10.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 4.1 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 8 割を超えている。最も割合が低いのは 70 歳以上で 67.4% となっている。

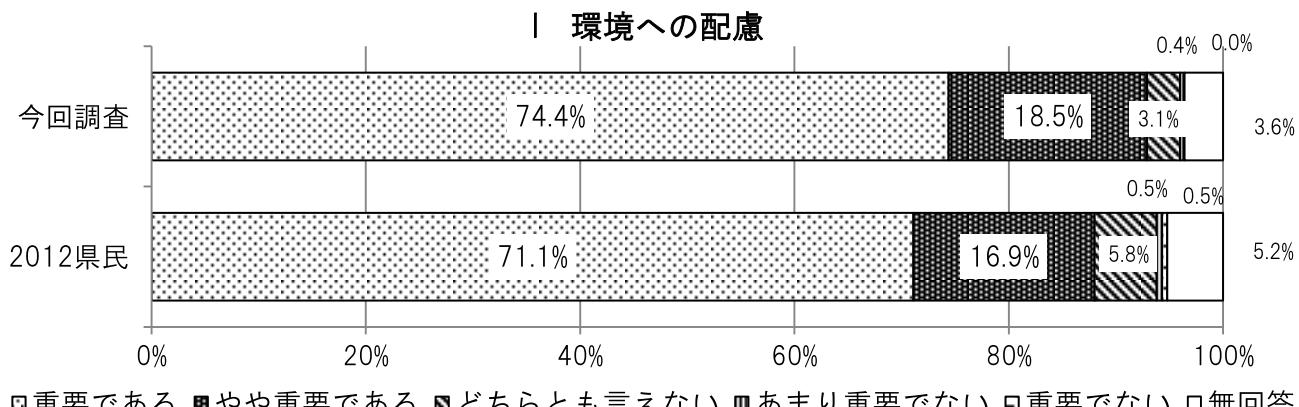


			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	454	71	13	3	0	19	560
		%	81.1%	12.7%	2.3%	0.5%	0.0%	3.4%	100.0%
性別	女性	数	580	79	21	5	1	28	714
		%	81.2%	11.1%	2.9%	0.7%	0.1%	3.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人	数	14	1	0	0	0	0	15
		%	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	83	16	3	0	0	2	104
		%	79.8%	15.4%	2.9%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	146	22	3	0	0	1	172
		%	84.9%	12.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	179	31	4	1	0	3	218
		%	82.1%	14.2%	1.8%	0.5%	0.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	177	19	3	1	0	3	203
		%	87.2%	9.4%	1.5%	0.5%	0.0%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	244	34	6	2	0	7	293
		%	83.3%	11.6%	2.0%	0.7%	0.0%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	216	30	15	4	1	31	297
		%	72.7%	10.1%	5.1%	1.3%	0.3%	10.4%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが4.5ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で9割を超えている。最も割合が低いのは70 歳以上で82.8%となっている。



			重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
性別	男性	数	411	111	18	1	0	19	560
		%	73.4%	19.8%	3.2%	0.2%	0.0%	3.4%	100.0%
性別	女性	数	536	126	22	4	0	26	714
		%	75.1%	17.6%	3.1%	0.6%	0.0%	3.6%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人	数	13	2	0	0	0	0	15
		%	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	78	22	2	0	0	2	104
		%	75.0%	21.2%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	131	35	5	0	0	1	172
		%	76.2%	20.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	165	45	5	0	0	3	218
		%	75.7%	20.6%	2.3%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	165	30	5	0	0	3	203
		%	81.3%	14.8%	2.5%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	228	49	7	2	0	7	293
		%	77.8%	16.7%	2.4%	0.7%	0.0%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	189	59	16	3	0	30	297
		%	63.6%	19.9%	5.4%	1.0%	0.0%	10.1%	100.0%

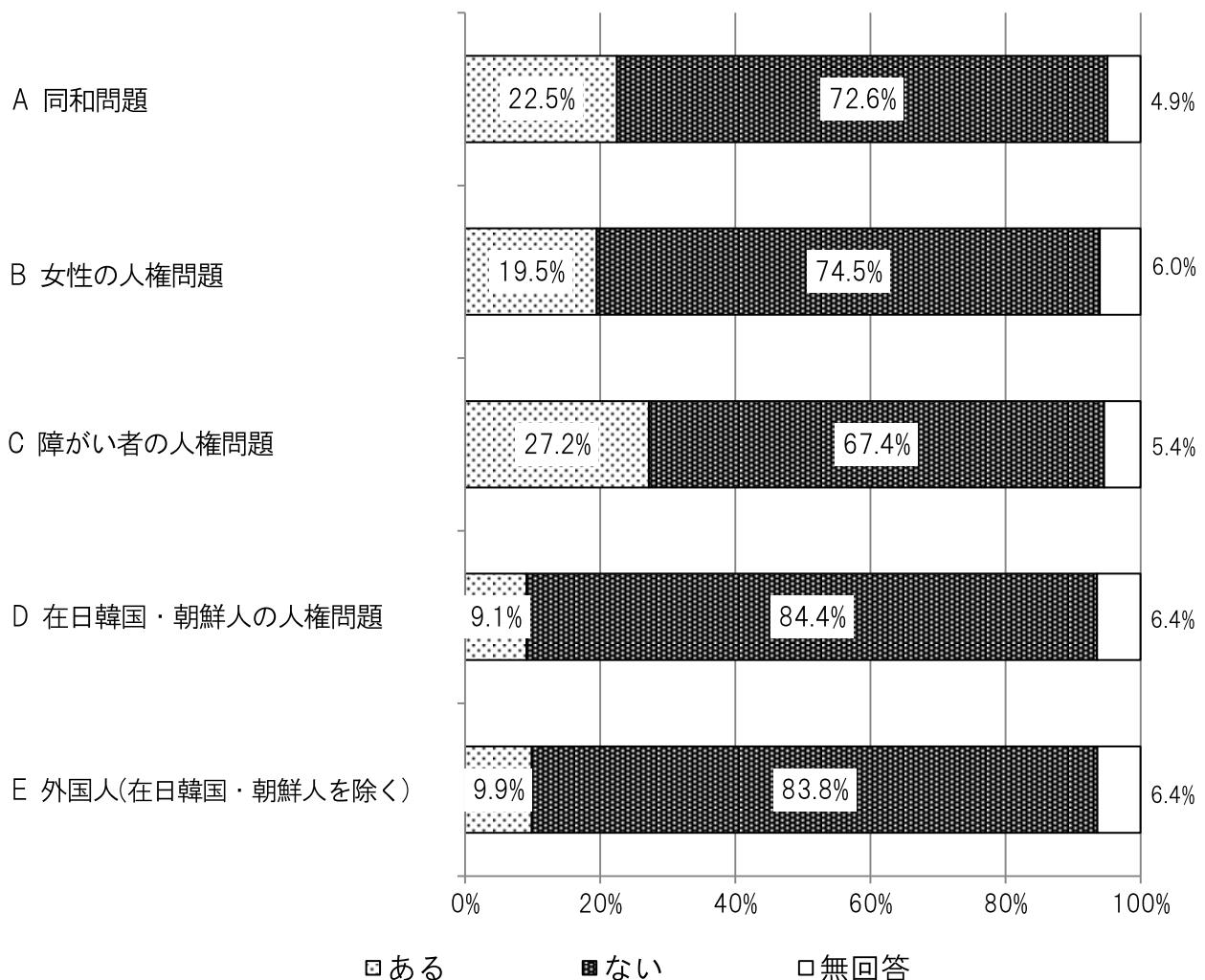
「2012 県民」との比較では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、今回調査のほうが 4.9 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「重要である」「やや重要である」を合わせると、20 歳代～60 歳代で 9 割を超えている。最も割合が低いのは 70 歳以上で 83.5% となっている。

問10 これまで、学校、職場、地域などで、次のような人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人に出会ったことがありますか。

人権問題解決に熱心に取り組んでいる人の出会い

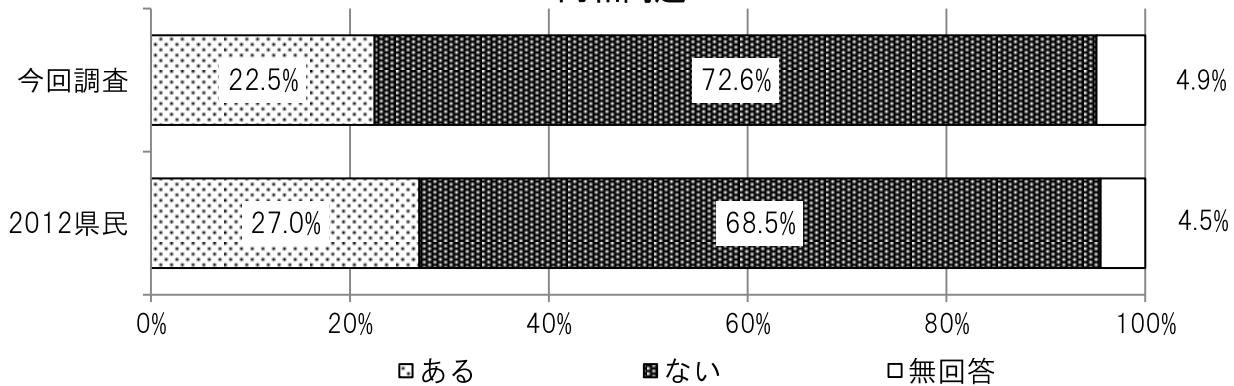


人権問題解決に熱心に取り組んでいる人の出会いについて、「ある」で最も割合が高かったのは「C 障がい者の人権問題」27.2%、2番目は「A 同和問題」22.5%、3番目は「B 女性の人権問題」19.5%となっている。

障がい者の人権問題解決に熱心に取り組む人と出会ったことのある市民は、約3割となっているのに対して、在日韓国・朝鮮人の人権問題や外国人問題解決に熱心に取り組む人と出会ったことのある市民は1割にも満たないという現状が見られる。

全体的には、人権問題解決に熱心に取り組んでいる人の出会いが少ないという結果となっていることから、さまざまな場面で取り組んでいる人の出会いの場づくりも必要となってくる。

A 同和問題

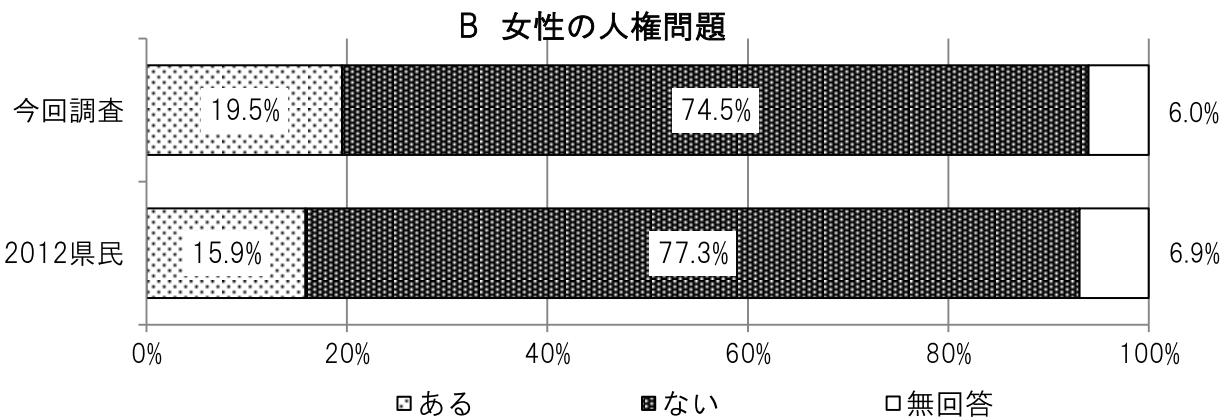


			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	135	403	22	560
		%	24.1%	72.0%	3.9%	100.0%
性別	女性	数	148	527	39	714
		%	20.7%	73.8%	5.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	8	1	15
		%	40.0%	53.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	22	80	2	104
		%	21.2%	76.9%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	36	135	1	172
		%	20.9%	78.5%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	46	169	3	218
		%	21.1%	77.5%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	54	144	5	203
		%	26.6%	70.9%	2.5%	100.0%
	60 歳代	数	71	211	11	293
		%	24.2%	72.0%	3.8%	100.0%
	70 歳以上	数	62	195	40	297
		%	20.9%	65.7%	13.5%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「ある」では、今回調査のほうが 4.5 ポイント低くなっている。

性別では、「ある」で女性より男性のほうが 3.4 ポイント高くなっている。

年齢では、「ある」がすべての年齢で 2 割前後となっている。最も割合が高かったのは、50 歳代で 26.6% となっている。

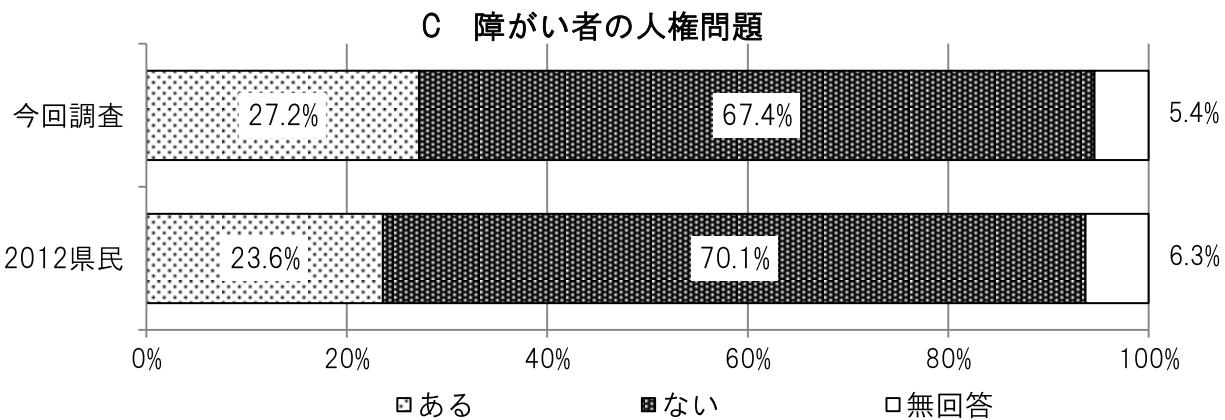


			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	119	411	30	560
		%	21.3%	73.4%	5.4%	100.0%
性別	女性	数	130	540	44	714
		%	18.2%	75.6%	6.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	11	1	15
		%	20.0%	73.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	31	71	2	104
		%	29.8%	68.3%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	32	139	1	172
		%	18.6%	80.8%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	38	175	5	218
		%	17.4%	80.3%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	46	151	6	203
		%	22.7%	74.4%	3.0%	100.0%
	60 歳代	数	58	217	18	293
		%	19.8%	74.1%	6.1%	100.0%
	70 歳以上	数	49	204	44	297
		%	16.5%	68.7%	14.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「ある」では、今回調査のほうが 3.6 ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「ある」が、20 歳代と 50 歳代で 2 割を超えており、特に 20 歳代は 29.8% と 3 割近くになっている。



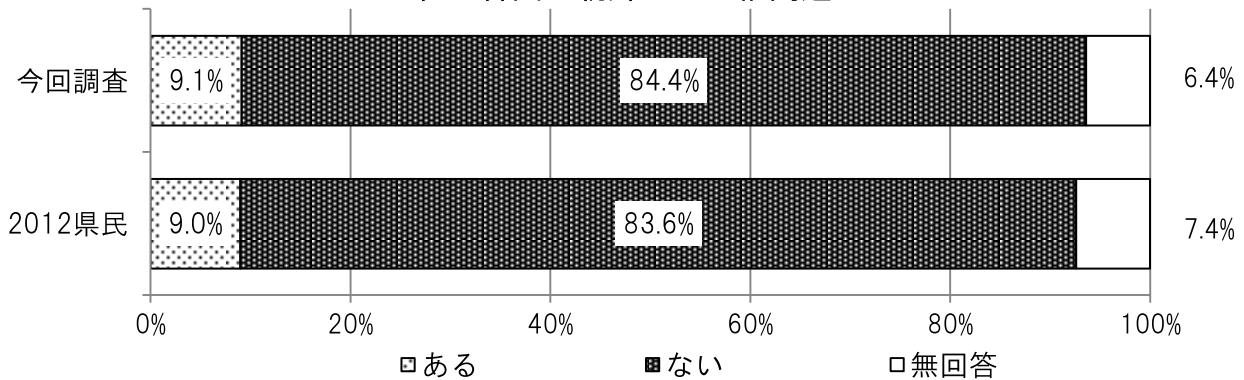
			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	172	364	24	560
		%	30.7%	65.0%	4.3%	100.0%
性別	女性	数	173	497	44	714
		%	24.2%	69.6%	6.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	5	9	1	15
		%	33.3%	60.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	45	58	1	104
		%	43.3%	55.8%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	36	135	1	172
		%	20.9%	78.5%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	55	158	5	218
		%	25.2%	72.5%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	59	139	5	203
		%	29.1%	68.5%	2.5%	100.0%
	60 歳代	数	83	194	16	293
		%	28.3%	66.2%	5.5%	100.0%
	70 歳以上	数	73	183	41	297
		%	24.6%	61.6%	13.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「ある」では、今回調査のほうが 3.6 ポイント高くなっている。

性別では、「ある」で女性より男性のほうが 6.5 ポイント高くなっている

年齢では、「ある」が、30 歳代～70 歳以上で 2～3 割弱となっているが、20 歳代は最も高く、43.3% と 4 割を超えて取り組んでいる人の出会いがある。

D 在日韓国・朝鮮人の人権問題



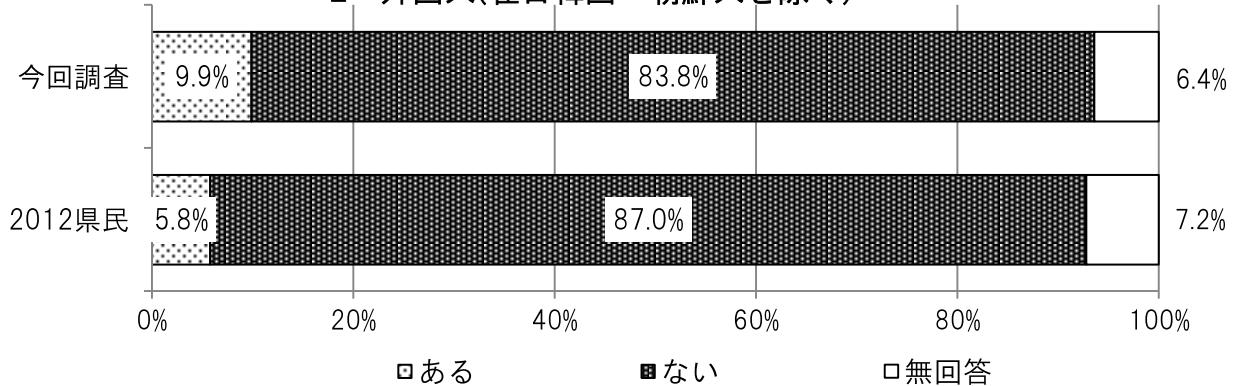
			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	61	468	31	560
		%	10.9%	83.6%	5.5%	100.0%
性別	女性	数	57	608	49	714
		%	8.0%	85.2%	6.9%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	0	14	1	15
		%	0.0%	93.3%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	17	85	2	104
		%	16.3%	81.7%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	10	161	1	172
		%	5.8%	93.6%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	16	197	5	218
		%	7.3%	90.4%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	25	172	6	203
		%	12.3%	84.7%	3.0%	100.0%
	60 歳代	数	24	251	18	293
		%	8.2%	85.7%	6.1%	100.0%
	70 歳以上	数	26	221	50	297
		%	8.8%	74.4%	16.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られない。

性別では、「ある」で女性より男性のほうが 2.9 ポイント高くなっている。

年齢では、「ある」が、20 歳代と 50 歳代が 1 割を超えており、特に 20 歳代は、16.3% と最も割合が高くなっている。

E 外国人(在日韓国・朝鮮人を除く)



			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	65	463	32	560
		%	11.6%	82.7%	5.7%	100.0%
性別	女性	数	62	605	47	714
		%	8.7%	84.7%	6.6%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	1	13	1	15
		%	6.7%	86.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	22	80	2	104
		%	21.2%	76.9%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	18	153	1	172
		%	10.5%	89.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	24	191	3	218
		%	11.0%	87.6%	1.4%	100.0%
	50 歳代	数	26	172	5	203
		%	12.8%	84.7%	2.5%	100.0%
	60 歳代	数	14	260	19	293
		%	4.8%	88.7%	6.5%	100.0%
	70 歳以上	数	24	222	51	297
		%	8.1%	74.7%	17.2%	100.0%

「2012 県民」との比較では、「ある」で今回調査のほうが 4.1 ポイント高くなっている。

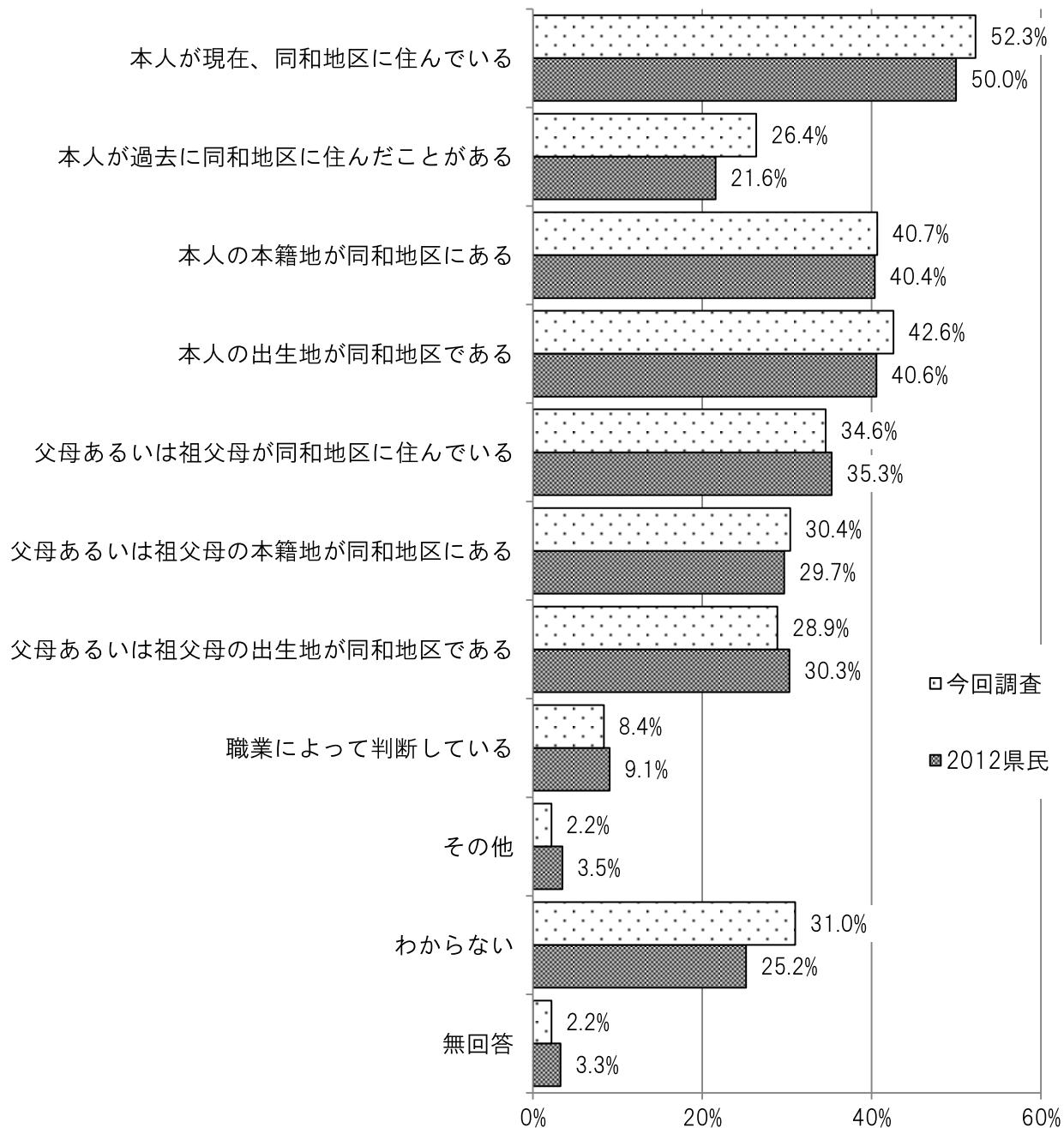
性別では、「ある」で女性より男性のほうが 2.9 ポイント高くなっている

年齢では、「ある」が、30 歳代～50 歳代で 1 割、70 歳以上が 8.1% と 1 割弱、最も割合が低かったのは 60 歳代で 4.8% となっている。20 歳代は最も高く、21.2% と 2 割を超えてい

問11 世間では、どのようなことで「同和地区出身者」と判断していると思いますか。

(複数回答)

同和地区出身者の判断基準



最も割合が高かったのは、「本人が現在、同和地区に住んでいる」52.3%と5割を超えていた。次いで、「本人の出生地が同和地区である」42.6%、「本人の本籍地が同和地区にある」40.7%と約4割になっている。市民の大半は、「本人」の現住所や出生地、本籍地が判断しているとしている。しかし、「父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる」「父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある」と「父母」や「祖父母」の現住所、本籍地で判断している市民が、約3割いる。

			本人が現在、同和地区に住んでいる	本人が過去に同和地区に住んだことがある	本人の本籍地が同和地区にある	本人の出生地が同和地区である	父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる	父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある	父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である	職業によって判断している	その他	わからない	無回答	計
性別	男性	数	296	148	231	244	194	171	164	45	17	158	11	560
		%	52.9%	26.4%	41.3%	43.6%	34.6%	30.5%	29.3%	8.0%	3.0%	28.2%	2.0%	100.0%
	女性	数	376	193	289	302	250	218	206	61	12	233	18	714
		%	52.7%	27.0%	40.5%	42.3%	35.0%	30.5%	28.9%	8.5%	1.7%	32.6%	2.5%	100.0%
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	0	4	5	4	3	3	2	0	6	0	15
		%	40.0%	0.0%	26.7%	33.3%	26.7%	20.0%	20.0%	13.3%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	44	26	32	38	30	22	19	2	3	44	1	104
		%	42.3%	25.0%	30.8%	36.5%	28.8%	21.2%	18.3%	1.9%	2.9%	42.3%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	96	50	70	75	65	54	47	14	3	49	1	172
		%	55.8%	29.1%	40.7%	43.6%	37.8%	31.4%	27.3%	8.1%	1.7%	28.5%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	119	59	97	110	71	65	70	23	3	61	2	218
		%	54.6%	27.1%	44.5%	50.5%	32.6%	29.8%	32.1%	10.6%	1.4%	28.0%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	116	62	101	98	82	76	71	24	7	54	4	203
		%	57.1%	30.5%	49.8%	48.3%	40.4%	37.4%	35.0%	11.8%	3.4%	26.6%	2.0%	100.0%
	60 歳代	数	168	81	139	133	112	101	94	26	5	76	9	293
		%	57.3%	27.6%	47.4%	45.4%	38.2%	34.5%	32.1%	8.9%	1.7%	25.9%	3.1%	100.0%
	70 歳以上	数	135	63	86	97	88	75	73	20	8	110	12	297
		%	45.5%	21.2%	29.0%	32.7%	29.6%	25.3%	24.6%	6.7%	2.7%	37.0%	4.0%	100.0%

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られないが「わからない」が、今回調査のほうが5.8 ポイント高くなっている。

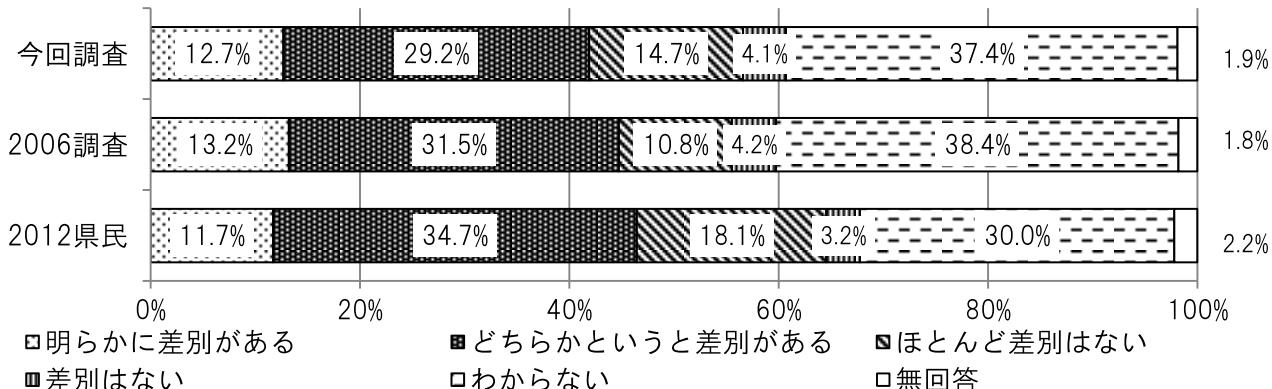
性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「本人が現在、同和地区に住んでいる」では30 歳代～60 歳代が5割を超えており、「本人の本籍地」は50 歳代、「本人の出生地」は40 歳代が5割前後となっている。20 歳代においては、「本人が現在、同和地区に住んでいる」と「わからない」が同じ割合で約4割となっている。

問12 部落差別の現状や、なくなる見通しについて、様々な見方がありますが、あなたは、どのようにお考えですか。

部落差別の現状認識と解消への見通し

A) 同和地区出身者を対象とする結婚差別の現状について



		明らかに差別がある	どちらかというと差別がある	ほとんど差別はない	差別はない	わからない	無回答	計	
性別	男性	数	86	167	91	28	181	7	560
		%	15.4%	29.8%	16.3%	5.0%	32.3%	1.3%	100.0%
性別	女性	数	74	208	96	24	295	17	714
		%	10.4%	29.1%	13.4%	3.4%	41.3%	2.4%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	4	4	2	0	5	0	15
		%	26.7%	26.7%	13.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	15	30	12	7	39	1	104
		%	14.4%	28.8%	11.5%	6.7%	37.5%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	23	54	20	3	70	2	172
		%	13.4%	31.4%	11.6%	1.7%	40.7%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	23	72	19	6	96	2	218
		%	10.6%	33.0%	8.7%	2.8%	44.0%	0.9%	100.0%
	50 歳代	数	34	63	24	9	70	3	203
		%	16.7%	31.0%	11.8%	4.4%	34.5%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	36	91	56	10	93	7	293
		%	12.3%	31.1%	19.1%	3.4%	31.7%	2.4%	100.0%
	70 歳以上	数	35	69	58	17	108	10	297
		%	11.8%	23.2%	19.5%	5.7%	36.4%	3.4%	100.0%

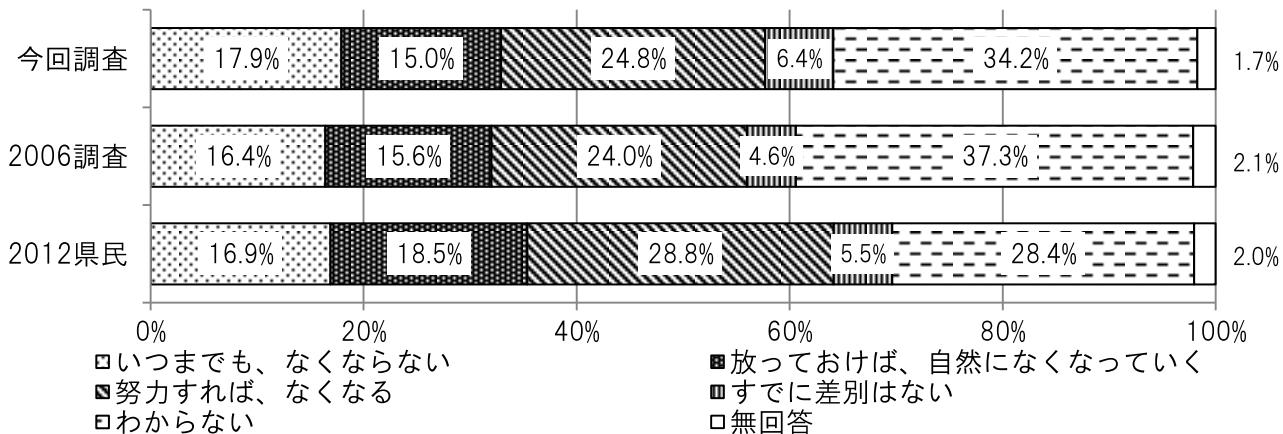
前回調査との比較では、「ほとんど差別はない」が3.9ポイント高くなっている。

「2012 県民」との比較では、「わからない」が今回調査のほうが7.4ポイント高くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「明らかに差別がある」「どちらかというと差別がある」を合わせると、20 歳代～60 歳代は4割を超えており、70 歳以上のみ35%となっている。また、「差別はない」で20 歳代が6.7%と最も高くなっている。

B) 結婚差別がなくなる見通しについて



		いつまでも、なくならない	放っておけば、自然になくなっていく	努力すれば、なくなる	すでに差別はない	わからない	無回答	計	
性別	男性	数	109	101	153	34	156	7	560
		%	19.5%	18.0%	27.3%	6.1%	27.9%	1.3%	100.0%
性別	女性	数	120	86	167	49	278	14	714
		%	16.8%	12.0%	23.4%	6.9%	38.9%	2.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	4	4	3	0	4	0	15
		%	26.7%	26.7%	20.0%	0.0%	26.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	22	10	37	5	29	1	104
		%	21.2%	9.6%	35.6%	4.8%	27.9%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	48	22	36	4	60	2	172
		%	27.9%	12.8%	20.9%	2.3%	34.9%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	53	24	50	7	83	1	218
		%	24.3%	11.0%	22.9%	3.2%	38.1%	0.5%	100.0%
	50 歳代	数	37	24	60	9	70	3	203
		%	18.2%	11.8%	29.6%	4.4%	34.5%	1.5%	100.0%
	60 歳代	数	42	49	75	28	93	6	293
		%	14.3%	16.7%	25.6%	9.6%	31.7%	2.0%	100.0%
	70 歳以上	数	31	63	64	30	100	9	297
		%	10.4%	21.2%	21.5%	10.1%	33.7%	3.0%	100.0%

前回調査との比較では、大きな差は見られない。

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られない。

性別では、「わからない」で男性より女性の方が 11.0 ポイント高くなっている。

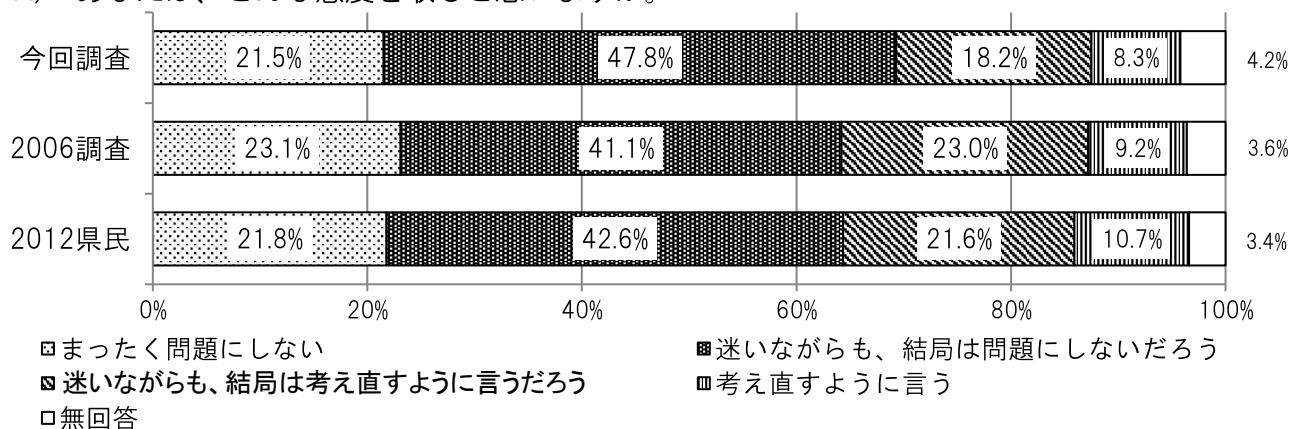
年齢では、「いつまでも、なくならない」では 30 歳代が最も高く 27.9% となっている。「放っておけば、自然になくなっていく」は 20 歳代～60 歳代では 1 割前後になっているが、70 歳以上の約 21.2% と約 2 割となっている。差別解消に対して消極的な意見として「いつまでも、なくならない」「放っておけば、自然になくなっていく」を合わせると、30 歳代が唯一 4 割を超えており、70 歳以上が 3 割超である。

差別解消に対して積極的な意見として「努力すれば、なくなる」は、20 歳代が最も高く 35.6% となっている。

問13 もし仮に、あなたのお子さんが、恋愛をし、結婚したいといっている相手が同和地区の人だとわかった場合、

子どもの結婚希望相手が同和地区出身者だった場合の態度

A) あなたは、どんな態度を取ると思いますか。



		まったく問題にしない	迷いながらも、結局は問題にしないだろう	迷いながらも、結局は考え直すように言うだろう	考え直すように言う	無回答	計	
性別	男性	数	135	254	103	48	20	560
		%	24.1%	45.4%	18.4%	8.6%	3.6%	100.0%
	女性	数	140	350	134	55	35	714
		%	19.6%	49.0%	18.8%	7.7%	4.9%	100.0%
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	10	1	2	0	15
		%	13.3%	66.7%	6.7%	13.3%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	35	52	10	4	3	104
		%	33.7%	50.0%	9.6%	3.8%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	57	80	24	6	5	172
		%	33.1%	46.5%	14.0%	3.5%	2.9%	100.0%
	40 歳代	数	53	100	40	16	9	218
		%	24.3%	45.9%	18.3%	7.3%	4.1%	100.0%
	50 歳代	数	39	102	40	13	9	203
		%	19.2%	50.2%	19.7%	6.4%	4.4%	100.0%
	60 歳代	数	44	152	63	22	12	293
		%	15.0%	51.9%	21.5%	7.5%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	49	127	59	45	17	297
		%	16.5%	42.8%	19.9%	15.2%	5.7%	100.0%

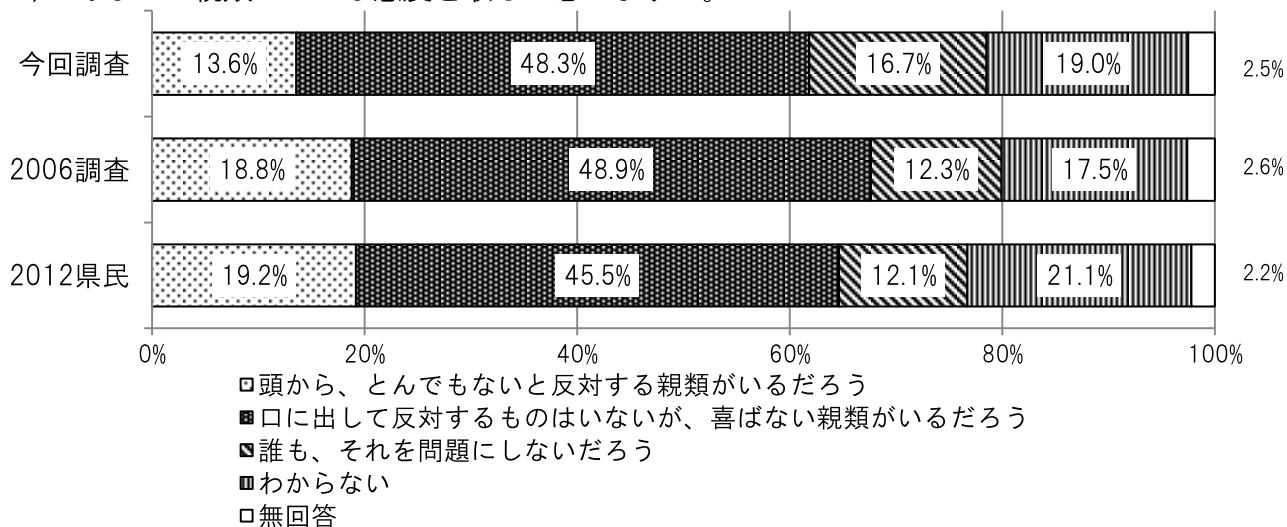
前回調査との比較では、「迷いながらも、結局は考え直すように言うだろう」「考え直すように言う」を合わせた「結婚に反対する」は今回調査のほうが 5.7 ポイント低くなっている。

「2012 県民」との比較では、「結婚に反対する」が今回調査のほうが 5.8 ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」を合わせると、年齢が上がるにつれ低くなっている。「結婚に反対する」を見ると、20 歳代が 13.4%に対し 70 歳以上は 35.1%と約 2.5 倍高くなっている。

B) あなたの親類はどんな態度を取ると思いますか。



		頭から、とんでもないと反対する親類がいるだろう	口に出して反対するものはいないが、喜ばない親類がいるだろう	誰も、それを問題にしないだろう	わからない	無回答	計	
性別	男性	数	77	277	94	102	10	560
		%	13.8%	49.5%	16.8%	18.2%	1.8%	100.0%
性別	女性	数	95	340	118	139	22	714
		%	13.3%	47.6%	16.5%	19.5%	3.1%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人		数	3	6	2	4	15
			%	20.0%	40.0%	13.3%	26.7%	0.0%
年齢	20 歳代	数	16	39	28	20	1	104
		%	15.4%	37.5%	26.9%	19.2%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	29	68	43	29	3	172
		%	16.9%	39.5%	25.0%	16.9%	1.7%	100.0%
	40 歳代	数	38	110	20	49	1	218
		%	17.4%	50.5%	9.2%	22.5%	0.5%	100.0%
	50 歳代	数	39	96	26	35	7	203
		%	19.2%	47.3%	12.8%	17.2%	3.4%	100.0%
	60 歳代	数	31	159	46	49	8	293
		%	10.6%	54.3%	15.7%	16.7%	2.7%	100.0%
	70 歳以上	数	23	151	52	59	12	297
		%	7.7%	50.8%	17.5%	19.9%	4.0%	100.0%

前回調査との比較では、「頭から、とんでもないと反対する親類がいるだろう」は今回調査のほうが 5.2 ポイント低くなっている。

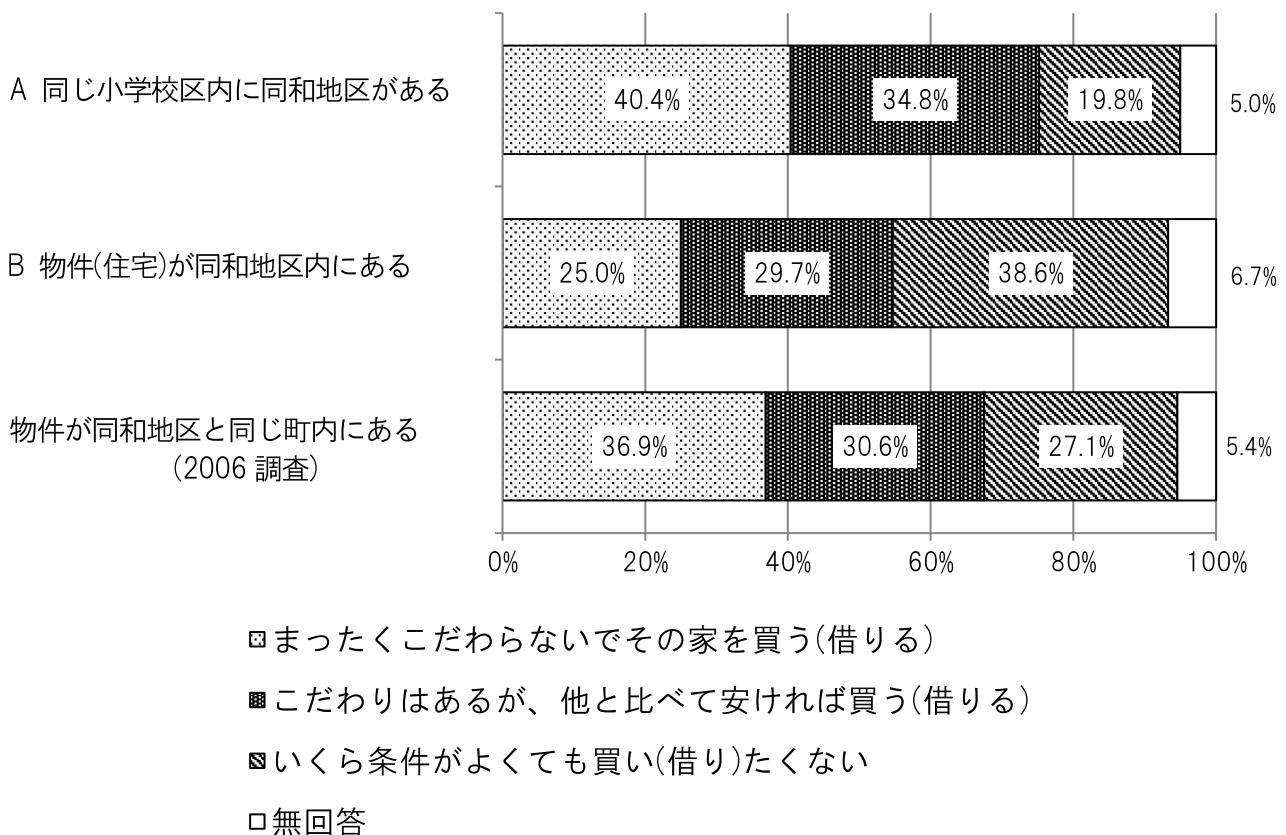
「2012 県民」との比較では、「頭から、とんでもないと反対する親類がいるだろう」は今回調査のほうが 5.6 ポイント低くなっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「頭から、とんでもないと反対する親類がいるだろう」では、50 歳代が最も高く 19.2% と約 2 割となっている。20 歳代と 30 歳代では、「誰も、それを問題にしないだろう」が 2 割を超えていている。

問14 もし仮に、あなたが、住宅を探しているとした場合に、間取り、交通の便、環境、値段など、自分の目で確かめ、気に入ったとします。その後、その家のすぐ近くに次のような条件があることがわかった場合、あなたはどうしますか。

同和地区周辺の住居購入に対する意向



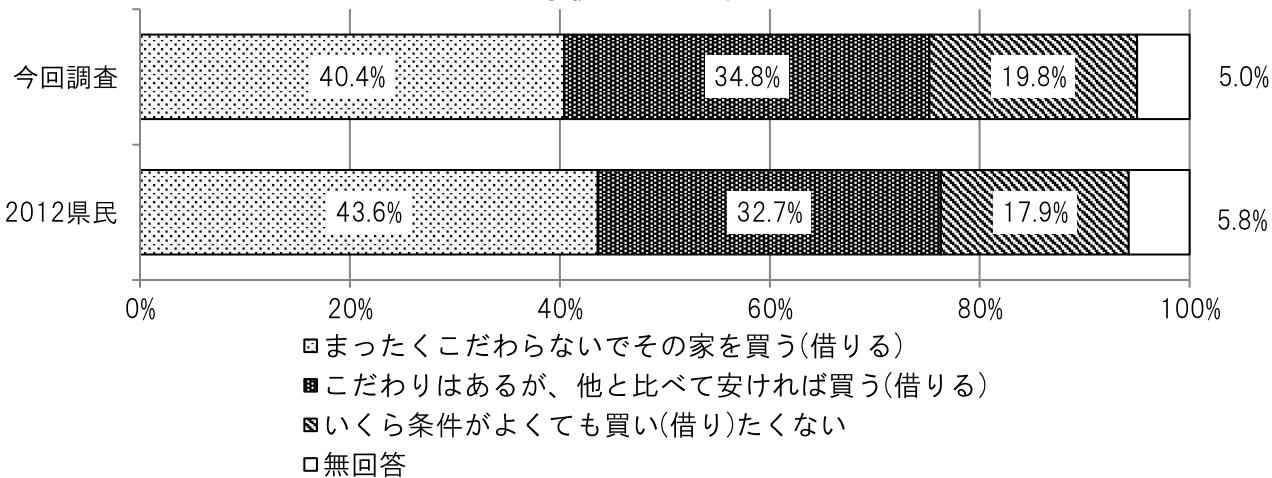
「A 同じ小学校区内に同和地区がある」では、「まったくこだわらないでその家を買う(借りる)」40.4%、「こだわりはあるが、他と比べて安ければ買う(借りる)」34.8%、「いくら条件がよくても買(借り)たくない」19.8%となっている。

「B 物件(住宅)が同和地区内にある」では、「まったくこだわらないでその家を買う(借りる)」25.0%、「こだわりはあるが、他と比べて安ければ買う(借りる)」29.7%、「いくら条件がよくても買(借り)たくない」38.6%となっている。

「A 同じ小学校区内に同和地区がある」と「B 物件(住宅)が同和地区内にある」を比較すると、「いくら条件がよくても買(借り)たくない」は、A より B のほうが 18.8 ポイント、約 2 倍高くなっている。

前回調査での設問は、「物件が同和地区と同じ町内にある」としているため、単純に今回調査と比較はできないが、「いくら条件がよくても買(借り)たくない」を見ると、今回調査 A は 19.8% と 7.3 ポイント低く、B は 38.6% と 11.5 ポイント高くなっている。

A 同じ小学校区内に同和地区がある



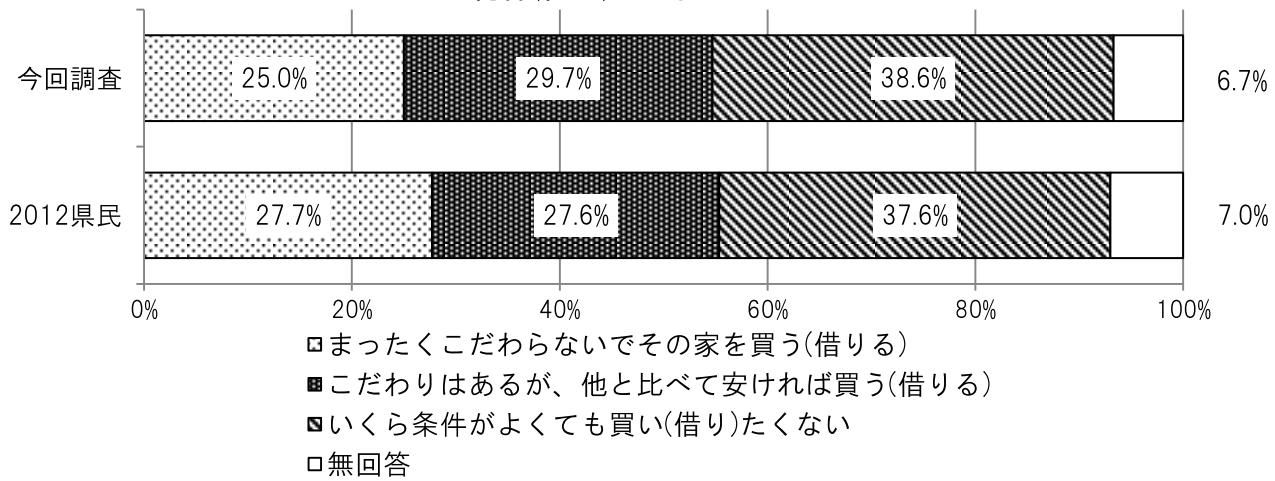
		まったくこだわらないでその家を買う(借りる)	こだわりはあるが、他と比べて安ければ買う(借りる)	いくら条件がよくても買ひ(借り)たくない	無回答	計	
性別	男性	数	231	201	102	26	560
	女性	数	285	242	150	37	714
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	7	4	4	0	15
		%	41.3%	35.9%	18.2%	4.6%	100.0%
		%	39.9%	33.9%	21.0%	5.2%	100.0%
		%	46.7%	26.7%	26.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	53	38	11	2	104
		%	51.0%	36.5%	10.6%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	80	58	32	2	172
		%	46.5%	33.7%	18.6%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	84	87	39	8	218
		%	38.5%	39.9%	17.9%	3.7%	100.0%
	50 歳代	数	85	67	43	8	203
		%	41.9%	33.0%	21.2%	3.9%	100.0%
	60 歳代	数	111	103	63	16	293
		%	37.9%	35.2%	21.5%	5.5%	100.0%
	70 歳以上	数	111	94	66	26	297
		%	37.4%	31.6%	22.2%	8.8%	100.0%

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られない。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「まったくこだわらないでその家を買う(借りる)」で、20 歳代が約 5 割と一番高くなっている。30 歳代と 50 歳代は 4 割を超えており、年齢が上がるにつれ「いくら条件がよくても買ひ(借り)たくない」の割合が高くなる傾向にある。

B 物件(住宅)が同和地区内にある



		まったくこだわらないでその家を買う(借りる)	こだわりはあるが、他と比べて安ければ買う(借りる)	いくら条件がよくても買いたくない	無回答	計	
性別	男性	数	155	162	209	34	560
	%	27.7%	28.9%	37.3%	6.1%	100.0%	
性別	女性	数	165	216	283	50	714
	%	23.1%	30.3%	39.6%	7.0%	100.0%	
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	2	6	6	1	15
	%	13.3%	40.0%	40.0%	6.7%	100.0%	
年齢	20 歳代	数	40	35	28	1	104
		%	38.5%	33.7%	26.9%	1.0%	100.0%
	30 歳代	数	53	56	61	2	172
		%	30.8%	32.6%	35.5%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	54	68	88	8	218
		%	24.8%	31.2%	40.4%	3.7%	100.0%
	50 歳代	数	43	72	79	9	203
		%	21.2%	35.5%	38.9%	4.4%	100.0%
	60 歳代	数	70	81	124	18	293
		%	23.9%	27.6%	42.3%	6.1%	100.0%
	70 歳以上	数	65	68	118	46	297
		%	21.9%	22.9%	39.7%	15.5%	100.0%

「2012 県民」との比較では、大きな差は見られない

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「まったくこだわらないでその家を買う(借りる)」で、20 歳代と 30 歳代が 3 割を超えており、年齢が上がるにつれ「いくら条件がよくても買いたくない」の割合が高くなる傾向にあり、4 割を超えたのが 40 歳代と 60 歳代となっている。A に比べて、買いたくないという拒否、忌避意識がいずれの年齢を見ても高くなっている。

問15 同和問題について、あなたは次のようなことを聞いたことがありますか。そのときに、あなたはどのように思いましたか。

同和問題に関する情報とその受け止め方

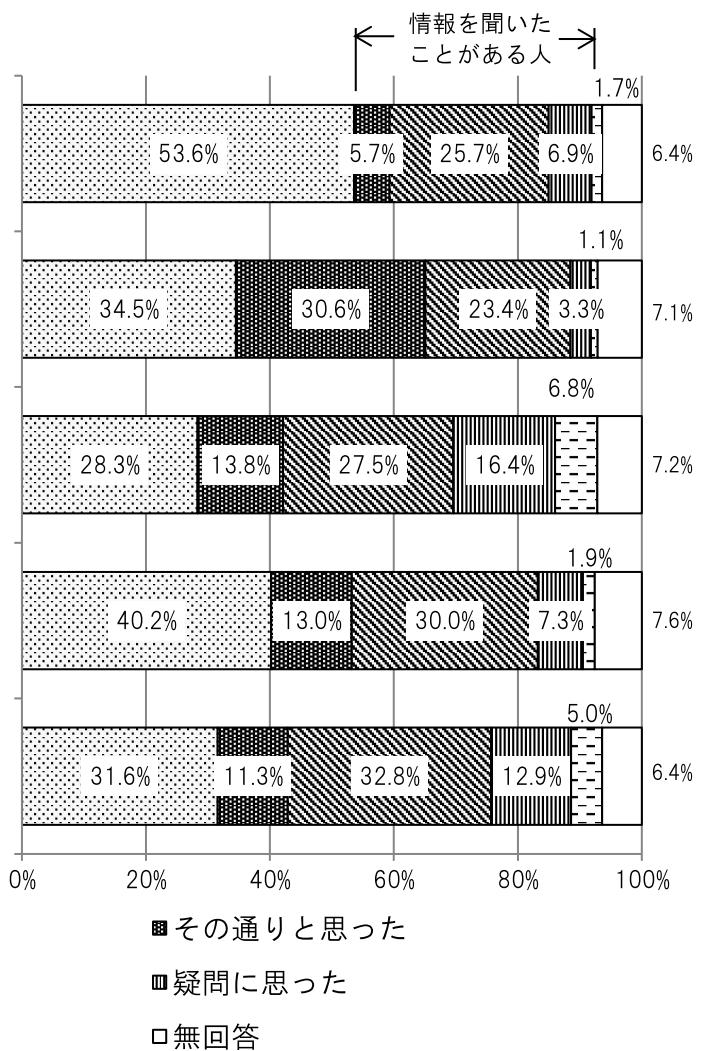
A 同和地区の人は、人権意識の高い、優しい人が多い

B 部落差別を受けた人のくやしさは、とても他人事とは思えない

C 同和問題にはかかわらない方がよい

D 同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い

E 同和地区の人は、こわい



設問のような同和問題に関する情報を聞いたことがある人(「そのような話を聞いたことはない」「無回答」を除いた人)は、「A 同和地区の人は、人権意識の高い、優しい人が多い」では、40.0%

「B 部落差別を受けた人のくやしさは、とても他人事とは思えない」では、58.4%

「C 同和問題にはかかわらない方がよい」では、64.5%

「D 同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い」では、52.2%

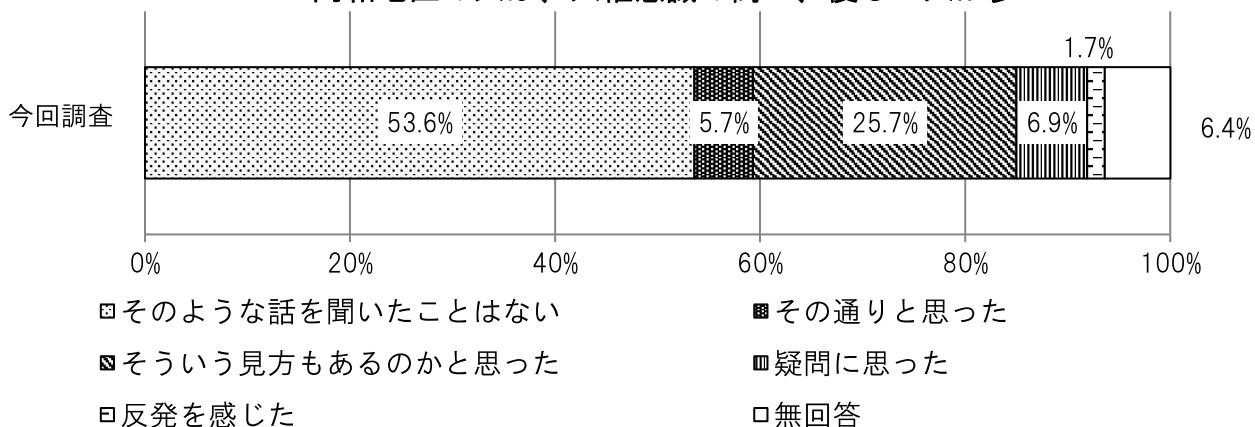
「E 同和地区の人は、こわい」では、62.0% となっている。

A～E の中で、情報が飛び交っている割合が一番高かったのは「C 同和問題にはかかわらない方がよい」、次いで「E 同和地区の人は、こわい」でいずれも 6 割を超えてる。

情報を聞いたことがある人が、どのように思ったのかについて、「その通りと思った」と肯定的に受け入れている情報で割合が一番高かったのは「B 部落差別を受けた人のくやしさは、とても他人事とは思えない」で約 3 割となっている。また「疑問に思った」「反発を感じた」と情報に対して否定的に受けとめた情報で割合が一番高かったのは「C 同和問題にはかかわらない方がよい」で 2 割を超えてる。

A～E の中で、同和問題についてマイナスイメージを含む情報は C、D、E だが、5～6 割と約 2 人に 1 人の市民がそのような情報を聞いている。

A 同和地区の人は、人権意識の高い、優しい人が多い

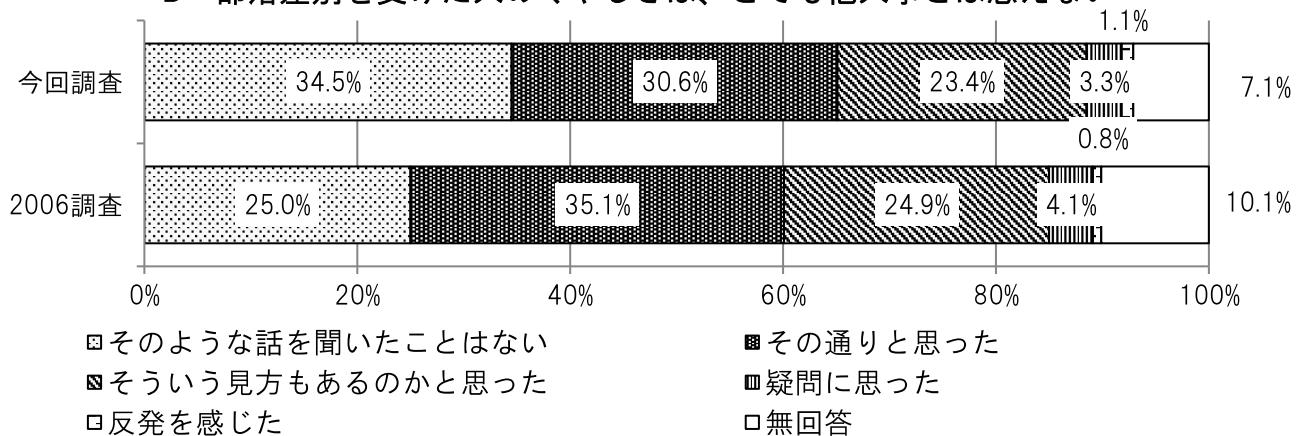


			そのような話を聞いたことはない	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問に思った	反発を感じた	無回答	計
性別	男性	数	283	45	146	49	11	26	560
		%	50.5%	8.0%	26.1%	8.8%	2.0%	4.6%	100.0%
性別	女性	数	405	29	176	41	9	54	714
		%	56.7%	4.1%	24.6%	5.7%	1.3%	7.6%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	0	9	0	0	0	15
		%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	61	2	28	6	3	4	104
		%	58.7%	1.9%	26.9%	5.8%	2.9%	3.8%	100.0%
年齢	30 歳代	数	111	2	36	18	1	4	172
		%	64.5%	1.2%	20.9%	10.5%	0.6%	2.3%	100.0%
年齢	40 歳代	数	135	10	46	15	7	5	218
		%	61.9%	4.6%	21.1%	6.9%	3.2%	2.3%	100.0%
年齢	50 歳代	数	111	10	53	18	1	10	203
		%	54.7%	4.9%	26.1%	8.9%	0.5%	4.9%	100.0%
年齢	60 歳代	数	154	18	87	18	4	12	293
		%	52.6%	6.1%	29.7%	6.1%	1.4%	4.1%	100.0%
年齢	70 歳以上	数	123	32	79	14	5	44	297
		%	41.4%	10.8%	26.6%	4.7%	1.7%	14.8%	100.0%

性別では、「そのような話を聞いたことはない」で男性より女性の方が 6.2 ポイント高くなっている。

年齢では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人は 50 歳代～70 歳以上が 3 割を超えており、また「疑問に思った」と情報を否定的に受けとめている中で最も割合が高かったのは、30 歳代で 10.5% となっている。

B 部落差別を受けた人のくやしさは、とても他人事とは思えない



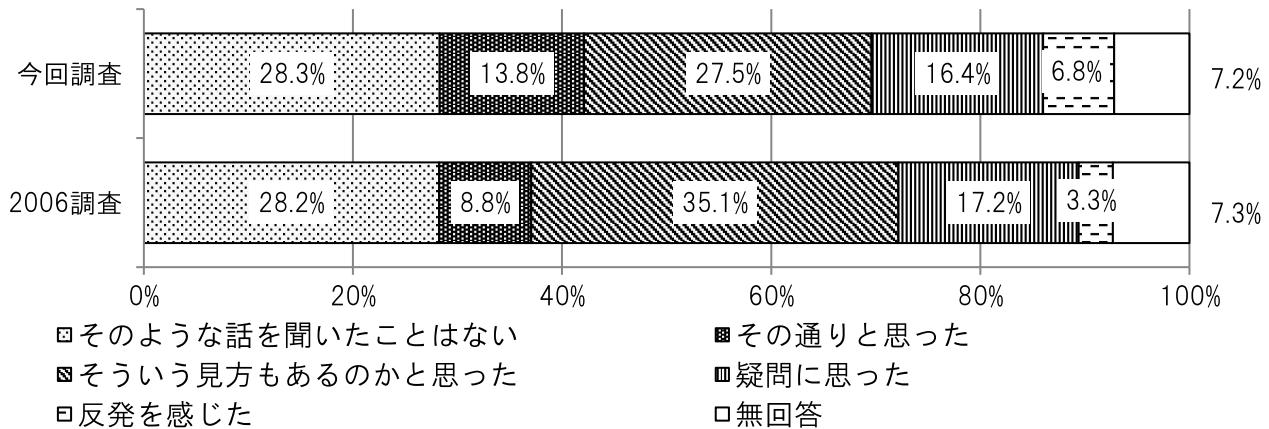
			そのような話を聞いたことはない	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問に思った	反発を感じた	無回答	計
性別	男性	数	182	186	137	17	8	30	560
		%	32.5%	33.2%	24.5%	3.0%	1.4%	5.4%	100.0%
性別	女性	数	259	200	166	24	5	60	714
		%	36.3%	28.0%	23.2%	3.4%	0.7%	8.4%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	5	6	2	0	1	1	15
		%	33.3%	40.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	36	26	28	8	2	4	104
		%	34.6%	25.0%	26.9%	7.7%	1.9%	3.8%	100.0%
	30 歳代	数	73	41	49	5	0	4	172
		%	42.4%	23.8%	28.5%	2.9%	0.0%	2.3%	100.0%
	40 歳代	数	81	55	67	4	3	8	218
		%	37.2%	25.2%	30.7%	1.8%	1.4%	3.7%	100.0%
	50 歳代	数	60	72	47	9	2	13	203
		%	29.6%	35.5%	23.2%	4.4%	1.0%	6.4%	100.0%
	60 歳代	数	116	94	66	4	1	12	293
		%	39.6%	32.1%	22.5%	1.4%	0.3%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	80	105	47	12	5	48	297
		%	26.9%	35.4%	15.8%	4.0%	1.7%	16.2%	100.0%

前回調査との比較では、情報を聞いたことがある人が、6.5 ポイント低くなっている。

性別では、「その通りと思った」で、女性より男性の方が 5.2 ポイント高くなっている。

年齢では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人はすべての年齢で 5 割を超えており、また「疑問に思った」「反発を感じた」と情報を否定的に受けとめている中で最も割合が高かったのは、20 歳代で合わせると 9.6% と約 1 割となっている。

C 同和問題にはかかわらない方がよい



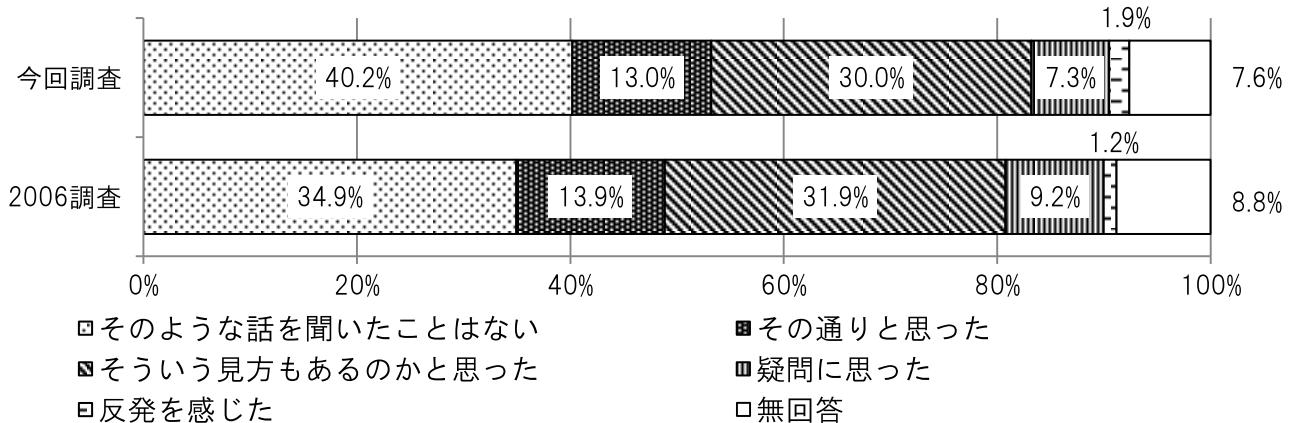
			そのような話を聞いたことはない	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問に思った	反発を感じた	無回答	計
性別	男性	数	142	89	164	96	42	27	560
		%	25.4%	15.9%	29.3%	17.1%	7.5%	4.8%	100.0%
性別	女性	数	219	85	187	115	45	63	714
		%	30.7%	11.9%	26.2%	16.1%	6.3%	8.8%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	1	6	2	1	2	15
		%	20.0%	6.7%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	100.0%
年齢	20 歳代	数	34	10	23	23	9	5	104
		%	32.7%	9.6%	22.1%	22.1%	8.7%	4.8%	100.0%
	30 歳代	数	69	20	39	31	9	4	172
		%	40.1%	11.6%	22.7%	18.0%	5.2%	2.3%	100.0%
	40 歳代	数	72	21	68	31	19	7	218
		%	33.0%	9.6%	31.2%	14.2%	8.7%	3.2%	100.0%
	50 歳代	数	45	22	58	48	19	11	203
		%	22.2%	10.8%	28.6%	23.6%	9.4%	5.4%	100.0%
	60 歳代	数	74	44	95	46	17	17	293
		%	25.3%	15.0%	32.4%	15.7%	5.8%	5.8%	100.0%
	70 歳以上	数	72	59	72	34	15	45	297
		%	24.2%	19.9%	24.2%	11.4%	5.1%	15.2%	100.0%

前回調査との比較では、情報を聞いたことがある人に大きな差はない。

性別では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人は、女性より男性の方が 7.1 ポイント高くなっている。

年齢では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人は、60 歳代が 47.4%、70 歳以上が 44.1% となっており、他の年齢と比べて高くなっている。また 20 歳代は、肯定的に受けとめる人と否定的に受けとめる人が同程度の割合になっている。

D 同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い



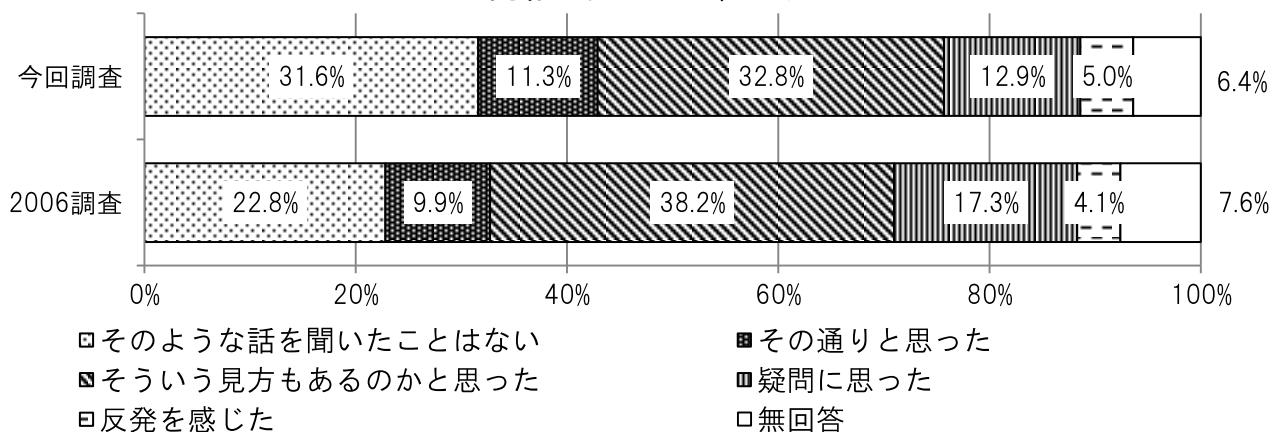
			そのような話を聞いたことはない	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問に思った	反発を感じた	無回答	計
性別	男性	数	211	95	160	44	17	33	560
		%	37.7%	17.0%	28.6%	7.9%	3.0%	5.9%	100.0%
性別	女性	数	301	71	223	50	8	61	714
		%	42.2%	9.9%	31.2%	7.0%	1.1%	8.5%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	6	1	6	0	0	2	15
		%	40.0%	6.7%	40.0%	0.0%	0.0%	13.3%	100.0%
年齢	20 歳代	数	49	13	24	11	2	5	104
		%	47.1%	12.5%	23.1%	10.6%	1.9%	4.8%	100.0%
	30 歳代	数	81	28	47	9	3	4	172
		%	47.1%	16.3%	27.3%	5.2%	1.7%	2.3%	100.0%
	40 歳代	数	91	27	79	11	4	6	218
		%	41.7%	12.4%	36.2%	5.0%	1.8%	2.8%	100.0%
	50 歳代	数	66	26	67	28	3	13	203
		%	32.5%	12.8%	33.0%	13.8%	1.5%	6.4%	100.0%
	60 歳代	数	113	41	93	20	11	15	293
		%	38.6%	14.0%	31.7%	6.8%	3.8%	5.1%	100.0%
	70 歳以上	数	119	32	77	15	2	52	297
		%	40.1%	10.8%	25.9%	5.1%	0.7%	17.5%	100.0%

前回調査との比較では、情報を聞いたことがある人が 4.0 ポイント低くなっている。

性別では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」と肯定的に受けとめている人は、女性より男性の方が 7.1 ポイント高くなっている。

年齢では、情報を聞いたことがあるのは、50 歳代が最も高く 6 割の人が聞いたことがある。その中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人は 30 歳代～60 歳代が 4 割を超えている。

E 同和地区の人は、こわい



		そのような話を聞いたことはない	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問に思った	反発を感じた	無回答	計	
性別	男性	数	171	81	190	62	29	27	560
		%	30.5%	14.5%	33.9%	11.1%	5.2%	4.8%	100.0%
性別	女性	数	235	64	227	100	35	53	714
		%	32.9%	9.0%	31.8%	14.0%	4.9%	7.4%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	1	5	5	0	1	15
		%	20.0%	6.7%	33.3%	33.3%	0.0%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	40	12	30	12	5	5	104
		%	38.5%	11.5%	28.8%	11.5%	4.8%	4.8%	100.0%
	30 歳代	数	66	18	56	19	9	4	172
		%	38.4%	10.5%	32.6%	11.0%	5.2%	2.3%	100.0%
	40 歳代	数	72	26	77	29	10	4	218
		%	33.0%	11.9%	35.3%	13.3%	4.6%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	46	26	69	39	12	11	203
		%	22.7%	12.8%	34.0%	19.2%	5.9%	5.4%	100.0%
	60 歳代	数	87	31	107	41	15	12	293
		%	29.7%	10.6%	36.5%	14.0%	5.1%	4.1%	100.0%
	70 歳以上	数	98	33	84	26	13	43	297
		%	33.0%	11.1%	28.3%	8.8%	4.4%	14.5%	100.0%

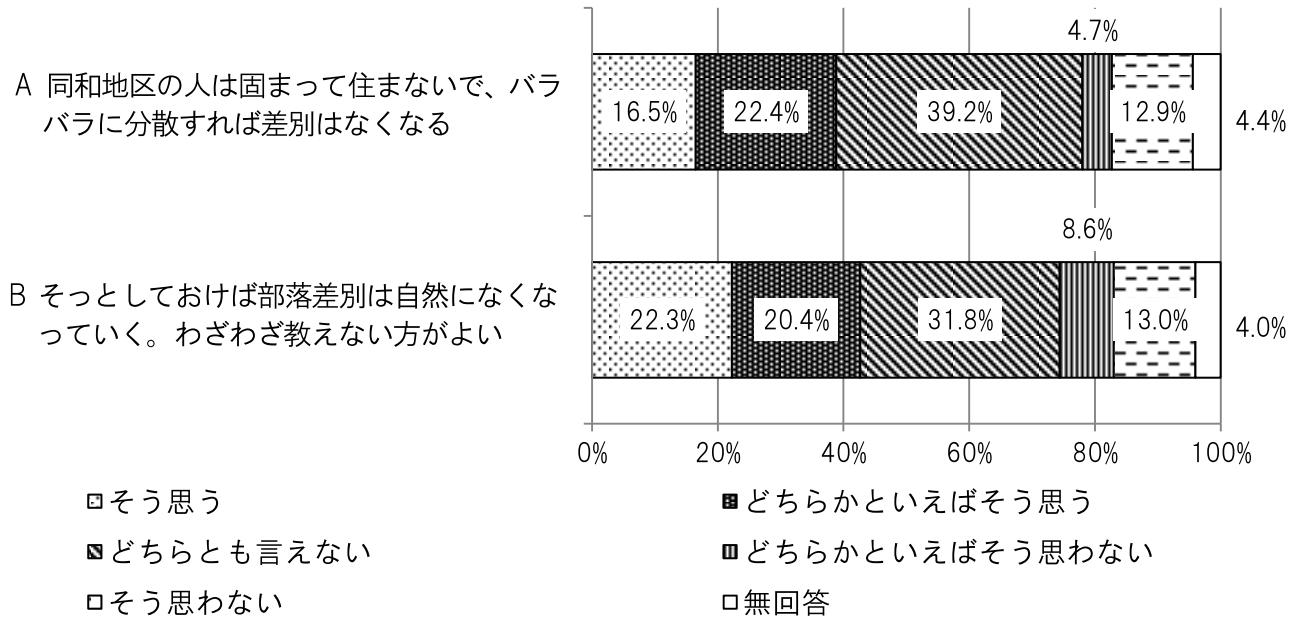
前回調査との比較では、情報を聞いたことがある人が 7.5 ポイント低くなっている。

性別では、情報を聞いたことのある人の中で、「その通りと思った」と肯定的に受けとめている人は、女性より男性の方が 5.5 ポイント高くなっている。

年齢では、情報を聞いたことがあるのは、すべての年齢で 5 割を超えており、最も高かったのは 50 歳代で 7 割の人が聞いたことがある。その中で、「その通りと思った」「そういう見方もあるのかと思った」と肯定的に受けとめている人はすべての年齢において 4 割前後となっており、40 歳代が 47.2% と最も高くなっている。「同和地区の人は、こわい」を肯定的に受けとめるのは年齢による大きな差はない。

問16 同和問題に関して次のような意見があります。あなたはどのように思いますか。

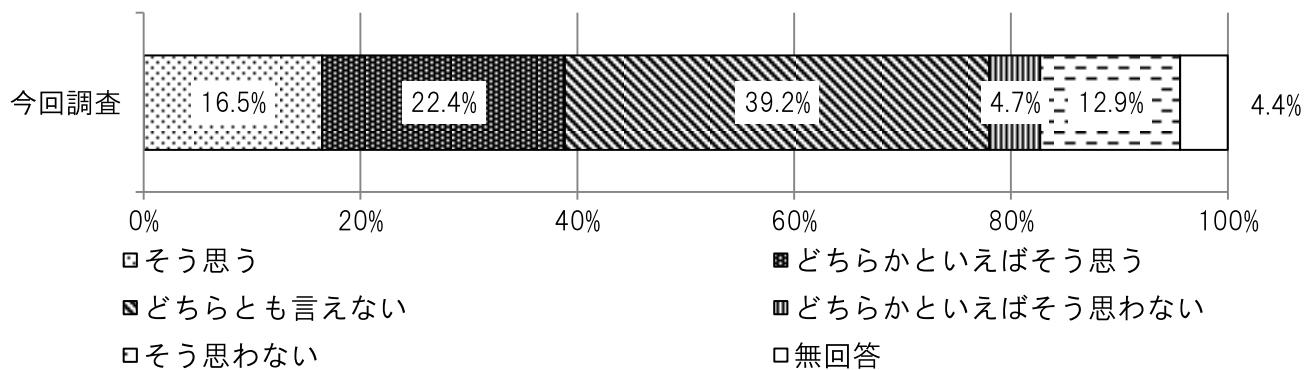
同和問題に関する意見



「A 同和地区の人は固まって住まないで、バラバラに分散すれば差別はなくなる」とする考え方について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、38.9%と約4割となっている。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、17.6%と2割に満たない。

「B そつとしておけば部落差別は自然になくなっていく。わざわざ教えない方がよい」とする考え方について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、42.7%と4割を超えている。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、21.6%と約2割となっている。

A 同和地区の人は固まって住まないで、バラバラに分散すれば差別はなくなる

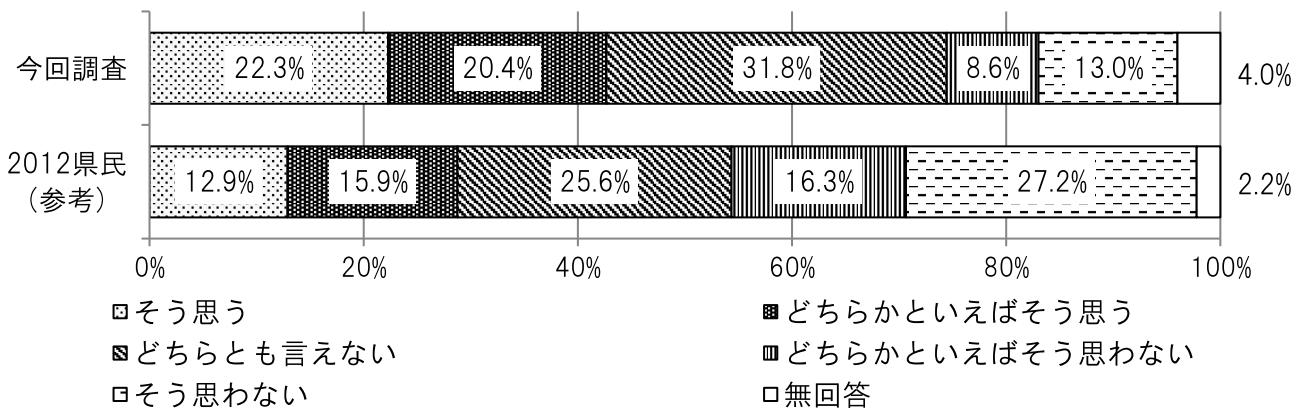


			そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ な い	そ う思 わ な い	無回答	計
性別	男性	数	88	127	217	27	81	20	560
		%	15.7%	22.7%	38.8%	4.8%	14.5%	3.6%	100.0%
性別	女性	数	121	157	284	32	83	37	714
		%	16.9%	22.0%	39.8%	4.5%	11.6%	5.2%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	2	3	6	1	3	0	15
		%	13.3%	20.0%	40.0%	6.7%	20.0%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	10	21	47	3	18	5	104
		%	9.6%	20.2%	45.2%	2.9%	17.3%	4.8%	100.0%
	30 歳代	数	26	30	76	12	27	1	172
		%	15.1%	17.4%	44.2%	7.0%	15.7%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	27	51	93	13	30	4	218
		%	12.4%	23.4%	42.7%	6.0%	13.8%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	28	48	84	9	27	7	203
		%	13.8%	23.6%	41.4%	4.4%	13.3%	3.4%	100.0%
	60 歳代	数	57	81	106	11	30	8	293
		%	19.5%	27.6%	36.2%	3.8%	10.2%	2.7%	100.0%
	70 歳以上	数	62	57	101	13	34	30	297
		%	20.9%	19.2%	34.0%	4.4%	11.4%	10.1%	100.0%

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、60 歳代は 47.1% と最も高く、次に 70 歳以上が 40.1% と 4 割を超えており、最も低かったのは、20 歳代の 29.8% で、最も割合が高かった 60 歳代と 20 歳代の差は 17.3 ポイントとなっている。

B そっとしておけば部落差別は自然になくなっていく。わざわざ教えない方がよい



			そう思 う	どちら かとい えばそ う思 う	どち らと も言 えな い	どち らか とい えばそ う思 わ ない	そ う思 わ ない	無回答	計
性別	男性	数	128	110	168	54	87	13	560
		%	22.9%	19.6%	30.0%	9.6%	15.5%	2.3%	100.0%
性別	女性	数	157	149	237	56	79	36	714
		%	22.0%	20.9%	33.2%	7.8%	11.1%	5.0%	100.0%
性別	男性・女性と答えるこ とに抵抗を感じる人	数	2	3	7	1	1	1	15
		%	13.3%	20.0%	46.7%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%
年齢	20 歳代	数	17	17	38	12	17	3	104
		%	16.3%	16.3%	36.5%	11.5%	16.3%	2.9%	100.0%
	30 歳代	数	30	33	69	11	28	1	172
		%	17.4%	19.2%	40.1%	6.4%	16.3%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	30	41	84	26	32	5	218
		%	13.8%	18.8%	38.5%	11.9%	14.7%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	27	47	62	19	39	9	203
		%	13.3%	23.2%	30.5%	9.4%	19.2%	4.4%	100.0%
	60 歳代	数	79	66	80	25	32	11	293
		%	27.0%	22.5%	27.3%	8.5%	10.9%	3.8%	100.0%
	70 歳以上	数	105	59	74	18	21	20	297
		%	35.4%	19.9%	24.9%	6.1%	7.1%	6.7%	100.0%

今回調査と「2012 県民」では、設問が同じではないが、同趣旨の設問内容のため、参考として「2012 県民」を示している。

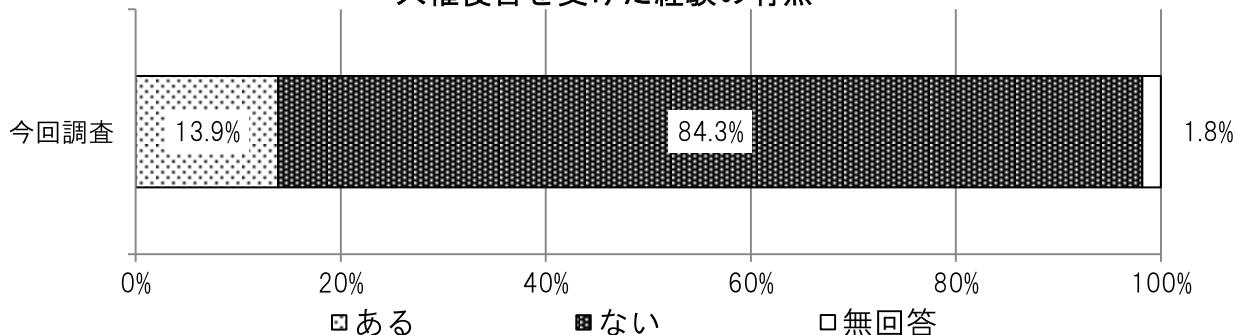
性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、70 歳以上は 55.3% と最も高く、次に 60 歳代が 49.5% と 5 割前後となっている。最も低かったのは、20 歳代、40 歳代の 32.6% で、最も高かった 70 歳以上の差は 22.7% となっている。また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせるとすべての年齢において 3 割に満たない。

問17 あなたは、最近5年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。

最近5年間の人権侵害を受けた経験と対応

人権侵害を受けた経験の有無



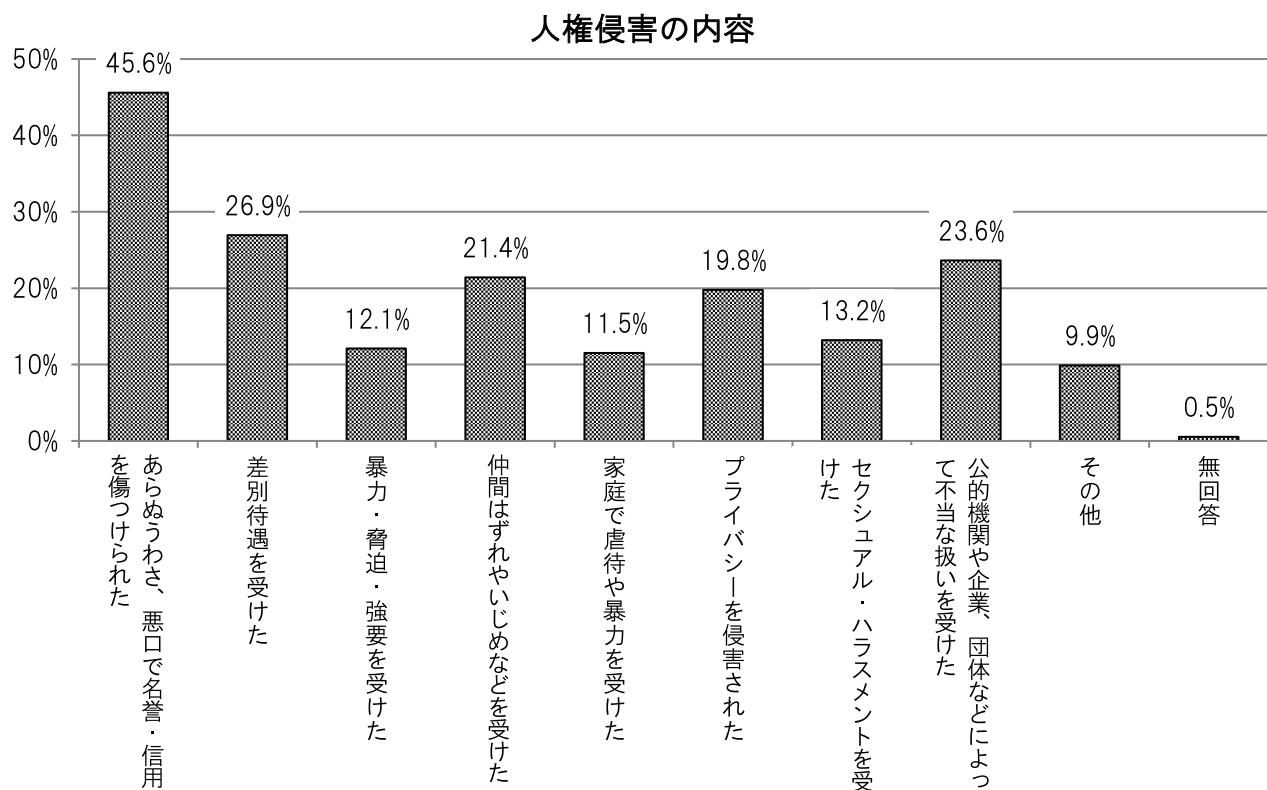
			ある	ない	無回答	計
性別	男性	数	64	487	9	560
		%	11.4%	87.0%	1.6%	100.0%
	女性	数	112	591	11	714
		%	15.7%	82.8%	1.5%	100.0%
年齢	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	3	12	0	15
		%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	数	20	83	1	104
		%	19.2%	79.8%	1.0%	100.0%
	30歳代	数	28	144	0	172
		%	16.3%	83.7%	0.0%	100.0%
	40歳代	数	39	179	0	218
		%	17.9%	82.1%	0.0%	100.0%
	50歳代	数	33	167	3	203
		%	16.3%	82.3%	1.5%	100.0%
	60歳代	数	38	250	5	293
		%	13.0%	85.3%	1.7%	100.0%
	70歳以上	数	23	263	11	297
		%	7.7%	88.6%	3.7%	100.0%

人権侵害を受けた経験の有無について、「ある」13.9%、「ない」84.3%となっている。

性別では、大きな差は見られない。

年齢では、「ある」で最も割合が高かったのは、20歳代19.2%と約2割となっている。次いで40歳代17.9%となっている。最も低かったのは、70歳以上で7.7%と1割に満たない。

問17-1 問17で「1.ある」と回答された方にお聞きします。それは、どのような人権侵害でしたか。
(複数回答)



人権侵害の内容で、最も多かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」45.6%、2番目は「差別待遇を受けた」26.9%、3番目は「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」23.6%となっている。

		あらぬ うわさ、 悪口で 名譽・信 用を傷 つけられ た	差別待 遇を受け た	暴力・ 脅迫・ 強要を 受けた	仲間は ずれや いじめ などを 受けた	家庭で 虐待や 暴力を 受けた	プライ バシー を侵害 された	セクシュー ルハラス メントを 受けた	公的機 関や企 業、団 体など によっ て不当 な扱い を受け た	その他	無回答	計	
性別	男性	数	29	21	5	11	4	14	2	18	3	1	64
		%	45.3%	32.8%	7.8%	17.2%	6.3%	21.9%	3.1%	28.1%	4.7%	1.6%	100.0%
	女性	数	51	26	17	27	16	19	22	23	14	0	112
		%	45.5%	23.2%	15.2%	24.1%	14.3%	17.0%	19.6%	20.5%	12.5%	0.0%	100.0%
	男性・女性と答 えることに抵 抗を感じる人	数	1	1	0	1	1	2	0	1	1	0	3
		%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	266.7%
年齢	20 歳代	数	10	5	2	2	1	9	5	9	2	0	20
		%	50.0%	25.0%	10.0%	10.0%	5.0%	45.0%	25.0%	45.0%	10.0%	0.0%	100.0%
	30 歳代	数	13	7	4	5	5	3	3	8	3	0	28
		%	46.4%	25.0%	14.3%	17.9%	17.9%	10.7%	10.7%	28.6%	10.7%	0.0%	100.0%
	40 歳代	数	20	9	7	9	5	6	10	8	2	0	39
		%	51.3%	23.1%	17.9%	23.1%	12.8%	15.4%	25.6%	20.5%	5.1%	0.0%	100.0%
	50 歳代	数	16	13	4	7	5	7	3	5	1	0	33
		%	48.5%	39.4%	12.1%	21.2%	15.2%	21.2%	9.1%	15.2%	3.0%	0.0%	100.0%
	60 歳代	数	13	9	2	13	3	6	1	11	5	0	38
		%	34.2%	23.7%	5.3%	34.2%	7.9%	15.8%	2.6%	28.9%	13.2%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	数	11	6	3	3	2	5	2	2	4	1	23
		%	47.8%	26.1%	13.0%	13.0%	8.7%	21.7%	8.7%	8.7%	17.4%	4.3%	100.0%

性別では「セクシアル・ハラスメントを受けた」で、男性より女性の方が 16.5 ポイント高くなっている。

年齢では、60 歳代を除いて、「あらぬうわさ、悪口で名譽・信用を傷つけられた」が最も高くなっています。この項目について各年代の特徴をみていく。

20 歳代は、「プライバシーを侵害された」「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」が他の年齢よりも高く、45.0% となっている。

30 歳代は、「家庭で虐待や暴力を受けた」が他の年齢よりも高く、17.9% となっている。

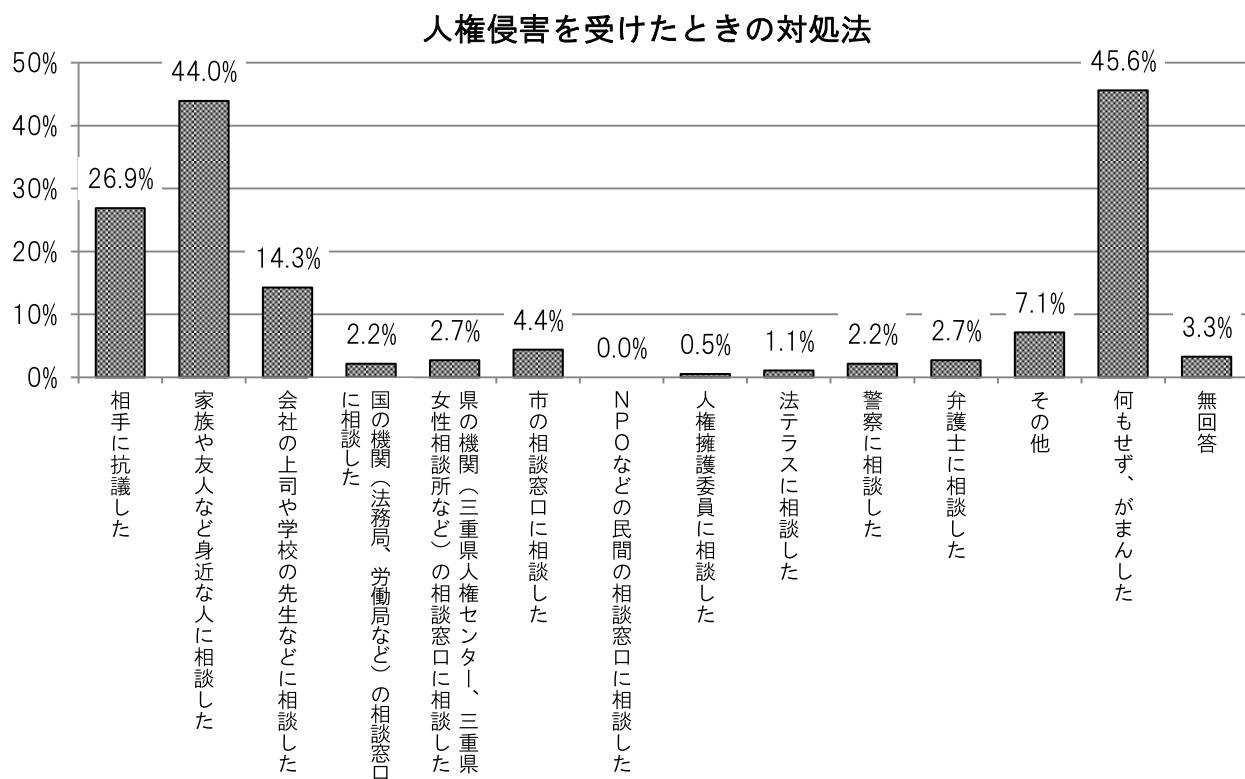
40 歳代は、「セクシアル・ハラスメントを受けた」が 2 番目に高く、25.6% と「ある」と回答した約 4 人に 1 人がセクシアル・ハラスメントの被害者となっている。

50 歳代は、「差別待遇を受けた」が他の年齢よりも高く、39.4% と約 4 割 となっている。

60 歳代は、「仲間はずれやいじめなどを受けた」が他の年齢よりも高く、34.2% となっており「あらぬうわさ、悪口で名譽・信用を傷つけられた」と同じ割合 となっている。

70 歳以上は、「差別待遇を受けた」が 2 番目に高く、26.1% となっている。

問17-2 問17で「1.ある」と回答された方にお聞きします。人権侵害を受けたとき、あなたはどうのように対応しましたか。
(複数回答)



人権侵害を受けたときの対処法で、最も多かったのは「何もせず、がまんした」45.6%、2番目は「家族や友人など身近な人に相談した」44.0%、3番目は「相手に抗議した」26.9%となっている。人権侵害を受けても、多くの人は何もせず、がまんをしているということは、人権侵害が表面化しにくいことが分かる。

		相手に抗議した	家族や友人など身近な人に相談した	会社の上司や学校の先生などに相談した	国機関法務局労働局などの相談窓口に相談した	県機関三重県人権センター、三重県女性相談所などの相談窓口に相談した	市の相談窓口に相談した	NPOなどの民間の相談窓口に相談した	人権擁護委員に相談した	法テラスに相談した	警察に相談した	弁護士に相談した	その他	何もせず、がまんした	無回答	計	
性別	男性	数	18	15	6	2	1	3	0	1	1	0	2	2	33	4	64
		%	28.1%	23.4%	9.4%	3.1%	1.6%	4.7%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	3.1%	3.1%	51.6%	6.3%	1000%
	女性	数	30	61	19	2	4	5	0	0	1	4	3	10	47	2	112
		%	26.8%	54.5%	17.0%	1.8%	3.6%	4.5%	0.0%	0.0%	0.9%	3.6%	2.7%	8.9%	42.0%	1.8%	1000%
	男性・女性どちらに相談を感じる人	数	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	1000%
年齢	20歳代	数	4	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1	20
		%	20.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	35.0%	5.0%	1000%
	30歳代	数	10	16	1	1	1	3	0	0	1	1	1	1	9	0	28
		%	35.7%	57.1%	3.6%	3.6%	3.6%	10.7%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	32.1%	0.0%	1000%
	40歳代	数	11	18	2	2	1	1	0	0	1	0	1	1	18	1	39
		%	28.2%	46.2%	5.1%	5.1%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	46.2%	2.6%	1000%
	50歳代	数	9	10	0	0	0	2	0	0	0	3	1	4	16	0	33
		%	27.3%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	3.0%	12.1%	48.5%	0.0%	1000%
	60歳代	数	8	12	1	1	1	1	0	0	0	0	2	4	22	1	38
		%	21.1%	31.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	57.9%	2.6%	1000%
	70歳以上	数	7	9	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	11	3	23
		%	30.4%	39.1%	0.0%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	47.8%	13.0%	1000%

性別では、「何もせず、がまんした」では、女性より男性のほうが 9.6 ポイント高くなっている。また「家族や友人など身近な人に相談した」では、男性より女性のほうが 31.1 ポイント高くなっている。

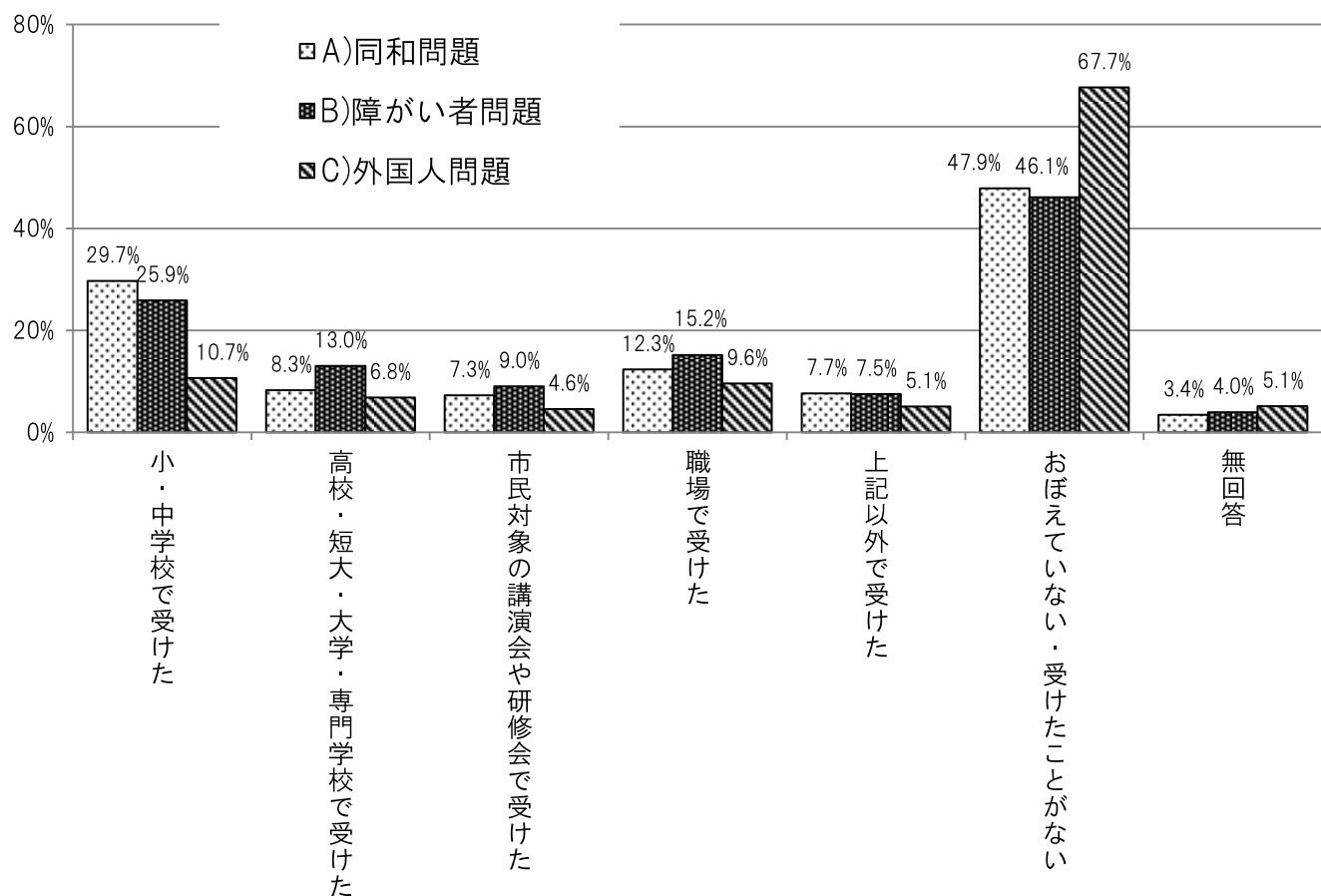
年齢では、「何もせず、がまんした」で 4 割を超えていたのは 40 歳代～70 歳以上となっている。一方、「家族や友人など身近な人に相談した」で、最も高かったのは 20 歳代の 70.0% で、2 番目は 30 歳代の 57.1% となっており、若い世代は身近な人に相談をしていることが分かる。

「相手に抗議した」で、最も高かったのは 30 歳代で 35.7%、最も低かったのは 20 歳代で 20.0% となっている。

問18 あなたは、学校や職場、地域で、次の課題について学習を受けたことがありますか。

(複数回答)

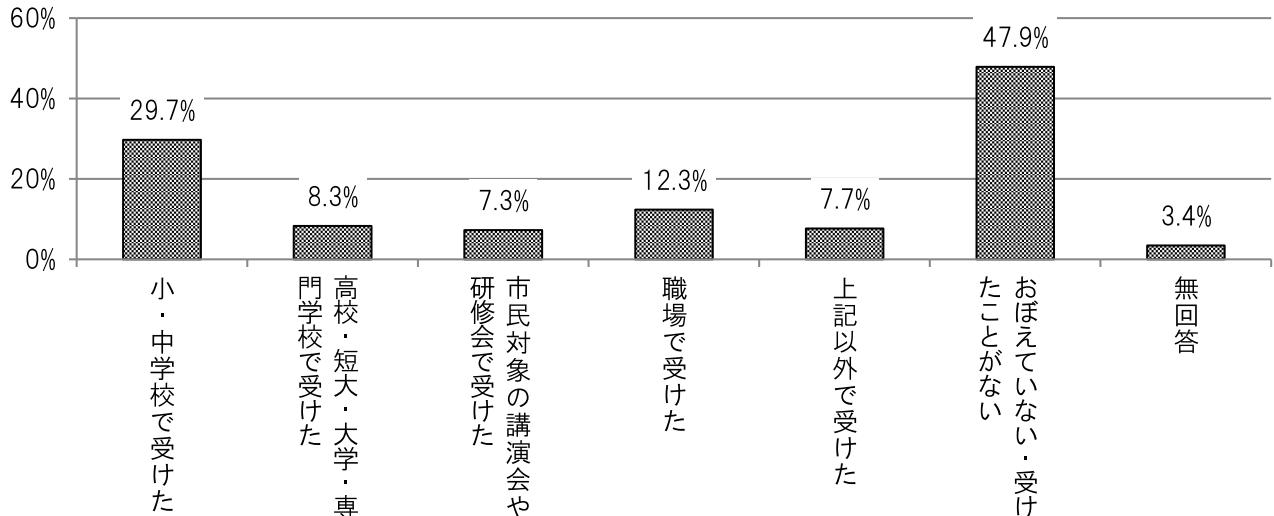
人権問題に関する学習経験



学習経験について、A～C の項目に共通して一番割合が高かったのは、「おぼえていない・受けたことがない」であった。C)外国人問題は、「おぼえていない・受けたことがない」が 67.7%と 6 割を超えており、他の項目と比べて、割合が高かった。

学習経験がある人の中では、A)同和問題は、「小・中学校で受けた」が最も高く 29.7%と約 3 割となっている。B)障がい者問題は、「小・中学校で受けた」が最も高く 25.9%となっている。また、「職場で受けた」が 15.2%と 2 番目に高くなっている。社会人になってからの学習の機会が、他の項目と比べて多いことがうかがえる。C)外国人問題は、教育現場においても社会現場においても学習の機会が非常に少ないことがうかがえる。

A) 同和問題

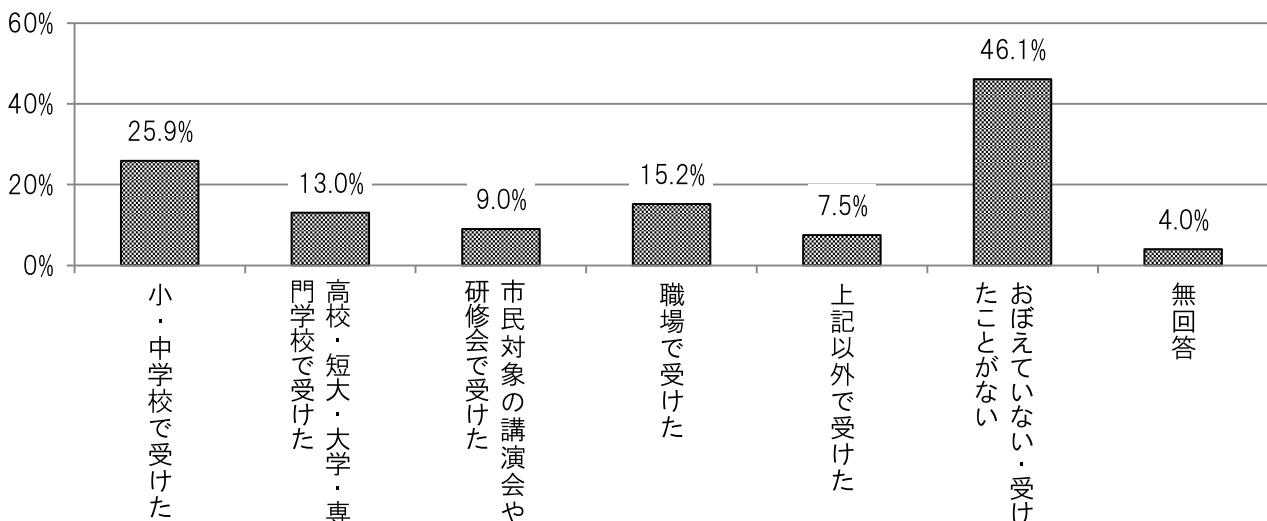


		小・中学校で受けた	高校・短大・大学・専門学校で受けた	市民対象の講演会や研修会で受けた	職場で受けた	上記以外で受けた	おぼえていない・受けたことがない	無回答	計	
性別	男性	数	147	52	40	94	48	271	16	560
	女性	%	26.3%	9.3%	7.1%	16.8%	8.6%	48.4%	2.9%	100.0%
年齢	男性・女性と答えることに対する抵抗を感じる人	数	5	2	0	2	2	7	0	15
	女性	%	33.3%	13.3%	0.0%	13.3%	13.3%	46.7%	0.0%	100.0%
年齢	20 歳代	数	56	10	4	7	4	42	2	104
	20 歳代	%	53.8%	9.6%	3.8%	6.7%	3.8%	40.4%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	104	19	3	14	5	55	1	172
	30 歳代	%	60.5%	11.0%	1.7%	8.1%	2.9%	32.0%	0.6%	100.0%
	40 歳代	数	93	19	10	33	10	88	4	218
	40 歳代	%	42.7%	8.7%	4.6%	15.1%	4.6%	40.4%	1.8%	100.0%
	50 歳代	数	50	23	17	30	18	98	7	203
	50 歳代	%	24.6%	11.3%	8.4%	14.8%	8.9%	48.3%	3.4%	100.0%
	60 歳代	数	52	23	32	45	34	151	8	293
	60 歳代	%	17.7%	7.8%	10.9%	15.4%	11.6%	51.5%	2.7%	100.0%
	70 歳以上	数	30	13	29	32	27	182	19	297
	70 歳以上	%	10.1%	4.4%	9.8%	10.8%	9.1%	61.3%	6.4%	100.0%

性別では、「職場で受けた」が女性より男性のほうが7.7ポイント高くなっている。

年齢では、「小・中学校で受けた」を見ると、30歳代が最も高く約6割となっており、20歳代が約5割、40歳代が約4割となっている。50歳代～70歳以上は約1～2割にとどまっている。

B) 障がい者問題

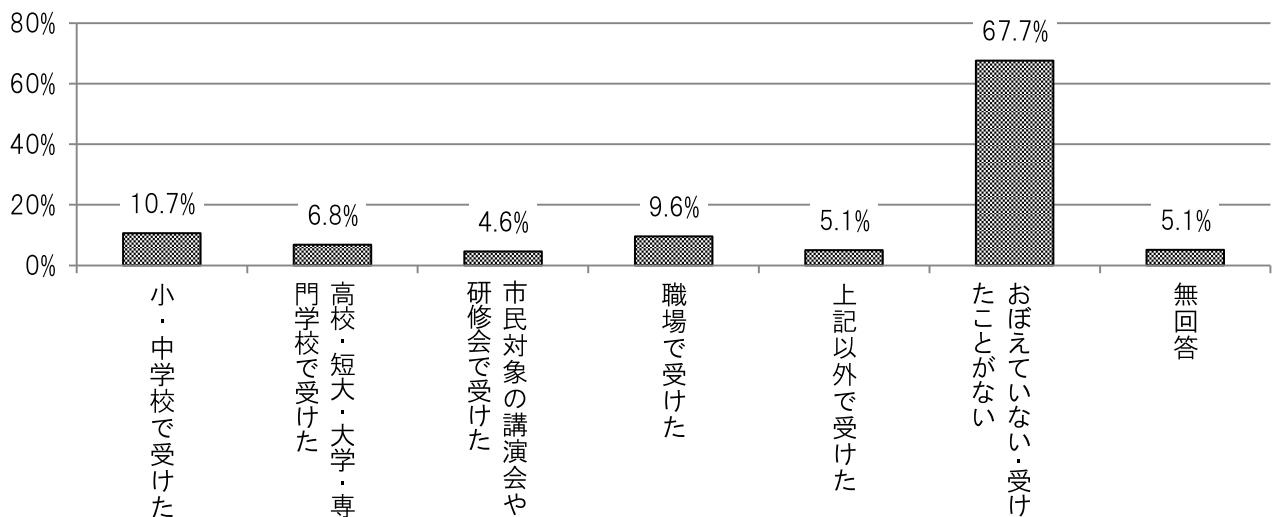


		小・中学校で受けた	高校・短大・大学・専門学校で受けた	市民対象の講演会や研修会で受けた	職場で受けた	上記以外で受けた	おぼえていない・受けたことがない	無回答	計	
性別	男性	数	144	64	52	113	46	244	22	560
	%	25.7%	11.4%	9.3%	20.2%	8.2%	43.6%	3.9%	100.0%	
性別	女性	数	188	103	66	81	50	342	26	714
	%	26.3%	14.4%	9.2%	11.3%	7.0%	47.9%	3.6%	100.0%	
男性・女性と答えることに抵抗を感じる人		数	4	3	0	3	1	8	0	15
%	26.7%	20.0%	0.0%	20.0%	6.7%	53.3%	0.0%	100.0%		
年齢	20歳代	数	77	29	6	8	4	20	2	104
		%	74.0%	27.9%	5.8%	7.7%	3.8%	19.2%	1.9%	100.0%
	30歳代	数	98	43	1	27	5	49	1	172
		%	57.0%	25.0%	0.6%	15.7%	2.9%	28.5%	0.6%	100.0%
	40歳代	数	75	35	18	43	19	95	2	218
		%	34.4%	16.1%	8.3%	19.7%	8.7%	43.6%	0.9%	131.7%
	50歳代	数	40	30	17	33	18	100	9	203
		%	19.7%	14.8%	8.4%	16.3%	8.9%	49.3%	4.4%	100.0%
	60歳代	数	28	25	41	55	24	152	8	293
		%	9.6%	8.5%	14.0%	18.8%	8.2%	51.9%	2.7%	100.0%
	70歳以上	数	18	7	35	32	27	175	26	297
		%	6.1%	2.4%	11.8%	10.8%	9.1%	58.9%	8.8%	100.0%

性別では、「職場で受けた」が女性より男性のほうが8.9ポイント高くなっている。

年齢では、「小・中学校で受けた」を見ると、20歳代が最も高く7割を超えており、30歳代が約6割、40歳代が約3割となっている。多くの若い世代は教育現場で障がい者問題の学習を受けていると考えられる。「市民対象の講演会や研修会で受けた」を見ると、最も高かったのは60歳代で14.0%、次いで70歳以上で11.8%となっている。

C) 外国人問題



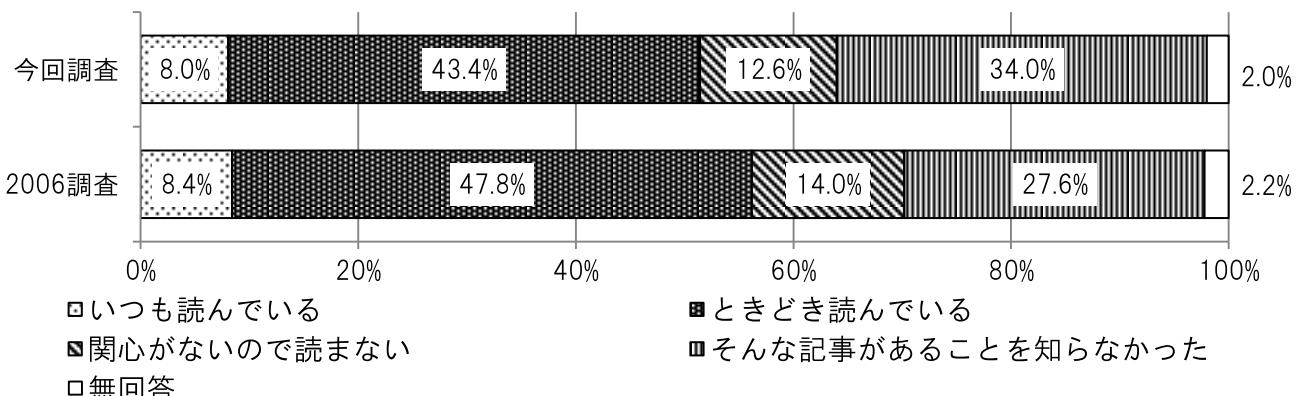
		小・中学校で受けた	高校・短大・大学・専門学校で受けた	市民対象の講演会や研修会で受けた	職場で受けた	上記以外で受けた	おぼえていない・受けたことがない	無回答	計	
性別	男性	数	61	38	27	71	33	362	27	560
	%	10.9%	6.8%	4.8%	12.7%	5.9%	64.6%	4.8%	100.0%	
性別	女性	数	75	50	33	53	32	498	36	714
	%	10.5%	7.0%	4.6%	7.4%	4.5%	69.7%	5.0%	100.0%	
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	1	0	0	1	1	13	0	15
	%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	86.7%	0.0%	100.0%	
年齢	20 歳代	数	51	18	4	8	4	44	2	104
		%	49.0%	17.3%	3.8%	7.7%	3.8%	42.3%	1.9%	100.0%
	30 歳代	数	46	24	3	8	4	107	2	172
		%	26.7%	14.0%	1.7%	4.7%	2.3%	62.2%	1.2%	100.0%
	40 歳代	数	21	12	14	32	21	145	5	218
		%	9.6%	5.5%	6.4%	14.7%	9.6%	66.5%	2.3%	100.0%
	50 歳代	数	9	14	14	25	12	137	10	203
		%	4.4%	6.9%	6.9%	12.3%	5.9%	67.5%	4.9%	100.0%
	60 歳代	数	6	16	13	35	7	217	13	293
		%	2.0%	5.5%	4.4%	11.9%	2.4%	74.1%	4.4%	100.0%
	70 歳以上	数	5	5	12	16	18	221	31	297
		%	1.7%	1.7%	4.0%	5.4%	6.1%	74.4%	10.4%	100.0%

性別では、「職場で受けた」で、女性より男性が5.3 ポイント高くなっている。

年齢では、「小・中学校で受けた」を見ると、20 歳代が最も高く5割近くになっている。また、年齢が上がるにつれ学習の経験が少なくなっている。「職場で受けた」を見ると、40 歳代～60 歳代で1割を超えている。

問19 鈴鹿市の『広報すずか』に、「ひろげよう人権尊重の輪」という記事を毎月載せていますが、それをお読みになっていますか。

広報すずかの記事「ひろげよう人権尊重の輪」閲読状況



			いつも読んでいる	ときどき読んでいる	関心がないので読まない	そんな記事があることを知らなかった	無回答	計
性別	男性	数	44	214	84	210	8	560
		%	7.9%	38.2%	15.0%	37.5%	1.4%	100.0%
性別	女性	数	60	340	77	222	15	714
		%	8.4%	47.6%	10.8%	31.1%	2.1%	100.0%
性別	男性・女性と答えること に抵抗を感じる人	数	0	7	1	6	1	15
		%	0.0%	46.7%	6.7%	40.0%	6.7%	100.0%
年齢	20歳代	数	1	21	9	71	2	104
		%	1.0%	20.2%	8.7%	68.3%	1.9%	100.0%
	30歳代	数	5	50	18	99	0	172
		%	2.9%	29.1%	10.5%	57.6%	0.0%	100.0%
	40歳代	数	12	94	24	86	2	218
		%	5.5%	43.1%	11.0%	39.4%	0.9%	100.0%
	50歳代	数	13	95	26	67	2	203
		%	6.4%	46.8%	12.8%	33.0%	1.0%	100.0%
	60歳代	数	33	151	37	65	7	293
		%	11.3%	51.5%	12.6%	22.2%	2.4%	100.0%
	70歳以上	数	40	148	48	49	12	297
		%	13.5%	49.8%	16.2%	16.5%	4.0%	100.0%

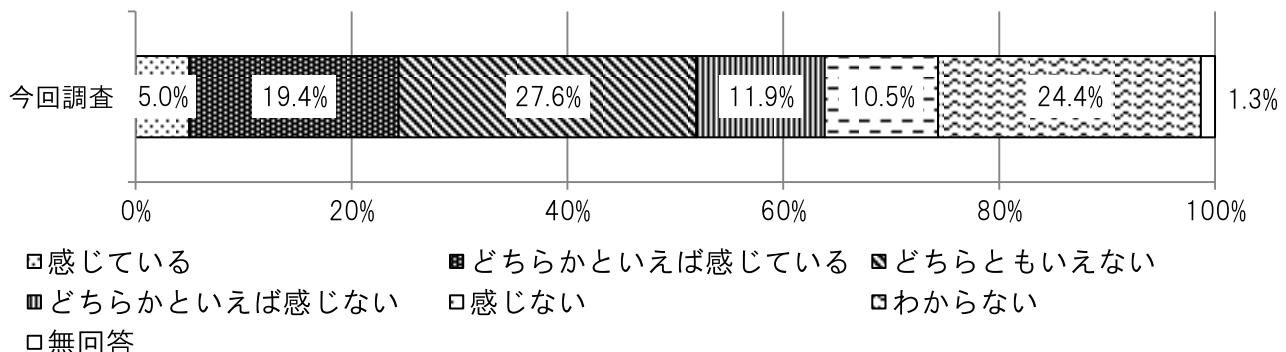
前回調査との比較では、「いつも読んでいる」「ときどき読んでいる」を合わせた記事を読んでいる市民が4.8ポイント低くなっている。

性別では、「ときどき読んでいる」で、男性より女性のほうが9.4ポイント高くなっている。

年齢では、記事を読んでいる人は、年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。20歳代は、「そんな記事があることを知らなかった」が68.3%と約7割が知らないとしている。若い世代に読んでもらうにはどうすればよいか、検討する必要がある。

問20 鈴鹿市では「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。あなたは「鈴鹿市は人権が尊重されている社会になっている」と感じますか。

「鈴鹿市が人権尊重社会になっている」ことへの感じ方



			感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない	わからない	無回答	計
性別	男性	数	34	112	158	63	67	126	0	560
		%	6.1%	20.0%	28.2%	11.3%	12.0%	22.5%	0.0%	100.0%
性別	女性	数	31	140	200	87	64	183	9	714
		%	4.3%	19.6%	28.0%	12.2%	9.0%	25.6%	1.3%	100.0%
性別	男性・女性と答えることに抵抗を感じる人	数	0	0	1	5	4	5	0	15
		%	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	26.7%	33.3%	0.0%	100.0%
年齢	20歳代	数	8	9	38	9	16	22	2	104
		%	7.7%	8.7%	36.5%	8.7%	15.4%	21.2%	1.9%	100.0%
	30歳代	数	4	26	44	27	24	47	0	172
		%	2.3%	15.1%	25.6%	15.7%	14.0%	27.3%	0.0%	100.0%
	40歳代	数	3	30	68	37	27	53	0	218
		%	1.4%	13.8%	31.2%	17.0%	12.4%	24.3%	0.0%	100.0%
	50歳代	数	7	23	65	24	29	54	1	203
		%	3.4%	11.3%	32.0%	11.8%	14.3%	26.6%	0.5%	100.0%
	60歳代	数	14	76	71	39	22	70	1	293
		%	4.8%	25.9%	24.2%	13.3%	7.5%	23.9%	0.3%	100.0%
	70歳以上	数	29	89	72	18	16	68	5	297
		%	9.8%	30.0%	24.2%	6.1%	5.4%	22.9%	1.7%	100.0%

鈴鹿市が人権尊重社会になっているかどうかについて、「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると、24.4%と約4人に1人が人権尊重社会と感じている市民がいる。

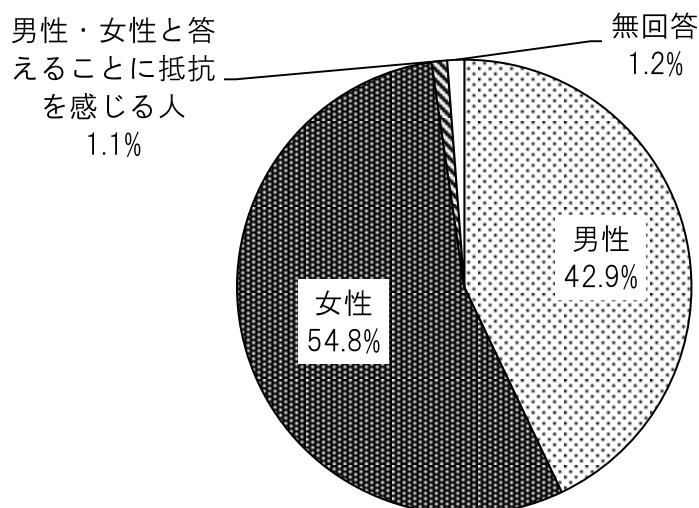
性別では、男性・女性と答えることに抵抗を感じる人は、人権尊重社会と感じている人がいない。

年齢では、「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると、最も高かったのは、70歳以上で約4割、次いで60歳代が約3割となっている。一番低かったのは50歳代で14.7%となっている。

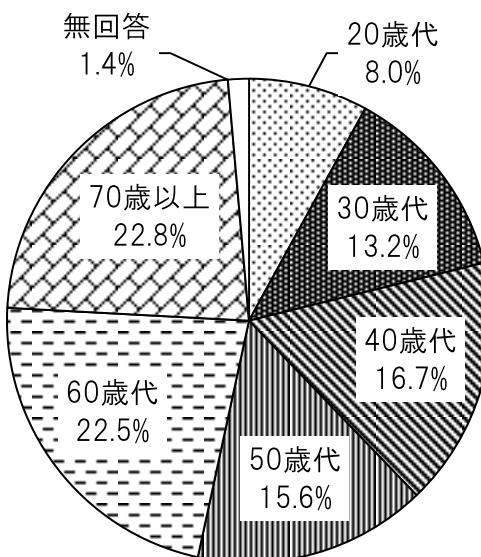
問21 最後に、あなたご自身のことについて、おたずねします。

属性

A) 性別



B) 年齢



C) 仕事

